

NFD発第3206号
令和2年 9月29日

原子力規制委員会 殿

茨城県 成田町 2 1 6 3 番地
日本核 社
代表取 濱田 昌

保安規定の変更認可申請について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第57条の第1項の規定に基づき、下記保安規定について別紙のとおり、変更の認可を申請します。

記

NFDホットラボ施設保安規定

別紙

1. 名称及び住所並びに代表者の氏名

| | |
|-------|--------------------------|
| 名 称 | 日本核燃料開発株式会社 |
| 住 所 | 茨城県東茨城郡大洗町成田町 2 1 6 3 番地 |
| 代表者氏名 | 代表取締役社長 濱田 昌彦 |
| 事業所名 | 日本核燃料開発株式会社 |
| 事業所住所 | 茨城県東茨城郡大洗町成田町 2 1 6 3 番地 |

2. 使用の場所

| | |
|-----|-------------------------|
| 名 称 | NFDホットラボ施設（施行令第41条該当施設） |
|-----|-------------------------|

3. 変更の内容

(1) 新審査基準にのっとり下記項目について記載の見直し、追加。

- ①法令及び保安規定の遵守のための体制に係る要求事項の反映
 - ア) 表記の見直し
 - イ) 要領書、手順書その他保安に関する文書の位置付けの明確化
 - ウ) 組織の見直し
- ②品質マネジメントシステムに係る要求事項の反映
 - ア) 表記の見直し
 - イ) 要求事項見直しに伴う記載内容の見直し及び削除
 - ウ) 文書体系の明確化
- ③使用施設等の管理を行うものの職務及び組織に係る要求事項の反映
 - ア) 核燃料取扱主務者の職務内容の見直し
- ④保安教育に係る要求事項の反映
 - ア) 保安教育実施方針の明確化
 - イ) 保安教育実施状況の確認及び見直しの明確化
- ⑤使用施設等の操作に係る要求事項の反映
 - ア) 表記の見直し
 - イ) 地震、火災等の発生時に講ずべき措置の追加
- ⑥管理区域及び周辺監視区域の設定等に係る要求事項の反映
 - ア) 記載内容の出入り管理への統合に伴う削除
 - イ) 管理基準の明確化
 - ウ) 人の出入り管理及び物品の移動に係る記載の明確化
- ⑦排気監視設備及び排水監視設備に係る要求事項の反映
 - ア) 排気濃度の測定頻度及び管理方法の明確化
- ⑧線量当量、汚染の除去等に係る要求事項の反映
 - ア) 放射性廃棄物でない廃棄物の取扱いに係る記載の追加
 - イ) ALARAの精神にのっとり、表記の見直し
- ⑨放射線測定器の管理及び放射線の測定の方法に係る要求事項の反映
 - ア) 放射線測定器の管理、測定及び評価方法の明確化

- ⑩核燃料物質の受払い、運搬、貯蔵等に係る要求事項の反映
 - ア) 運搬、貯蔵等に係る注意事項の明記
- ⑪放射性廃棄物の廃棄に係る要求事項の反映
 - ア) 廃棄方法及び運搬方法の明確化
- ⑫非常の場合に講ずべき処置に係る要求事項の反映
 - ア) 緊急時における核燃料物質の使用に係る記載の追加
 - イ) 被ばく管理に係る記載の追加
 - ウ) 非常時の訓練の明確化
- ⑬設計想定事象等に係る使用施設等の保全に関する措置に係る要求事項の反映
 - ア) 設計想定事象等に係る使用施設等の保全に関する措置の記載の追加
- ⑭記録及び報告に係る要求事項の反映
 - ア) 社長の関与の明確化
 - イ) 使用規則第6条の10各号に掲げる事故故障等の事象に準ずる重大な事象についての記載の追加
 - ウ) 使用規則第2条の11の変更による記録類の見直し
- ⑮使用施設等の施設管理に係る要求事項の反映
 - ア) 記載内容の施設管理への統合に伴う記載の削除
 - イ) 表記の見直し
 - ウ) 施設管理方針、施設管理目標、施設管理実施計画策定並びにこれらの評価及び改善に関する記載の追加
 - エ) 使用前検査に係る記載の追加
- ⑯技術情報の共有に係る要求事項の反映
 - ア) 技術情報の共有に係る記載の追加
- ⑰不適合発生時の情報の公開に係る要求事項の反映
 - ア) 不適合発生時の対応の明確化
- (2) 核燃料使用変更許可申請に伴う関連箇所の変更
 - ① 1F 燃料デブリ使用量等の追加、見直し
 - ② 1F 燃料デブリの追加に伴う、貯蔵施設内容の記載の見直し
 - ③ 廃棄物保管場の一部を機器保管庫に変更することに伴う見直し
- (3) 警報設定値の見直し
 - ① 線量告示、茨城県安全協定値を元にスタック排気モニタの警報設定値を見直し
- (4) 記載の見直し
 - ① 新審査基準にのっとり、条文の削除・追加による条番、条項、図番、表番、目次表記等の見直し
 - ② 誤字、脱字、誤記の修正及び表記の見直し
 - ③ 関連下部規程記載による表記の追加、削除及び見直し
 - ④ 規則条番変更に伴う見直し
 - ⑤ 表面密度の基準表の順番見直し
 - ⑥ 休日及び放射性物質を取扱う作業の無い日の線量率測定の見直し
 - ⑦ 放出管理目標値を茨城県との安全協定値に見直し
 - ⑧ 廃棄物区分の記載方法を核燃料使用許可書と整合させるため見直し

- ⑨管理区域内ゾーンの明記と寸法表記の削除による見直し
- ⑩周辺監視区域表記の見直し（等高線の削除）

4. 変更の理由

- (1) 保安規定新審査基準適合のため。
- (2) 核燃使用許可変更申請のため。
- (3) 記載の見直しのため。

5. 施行日

原子力規制委員会の認可の日以降の社長が定める日から施行する。

以上

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|--------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">日本核燃料開発株式会社</p> <p style="text-align: center;">NFD ホットラボ施設保安規定</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>第1章 総 則-----1</p> <p> 第1条 目 的-----1</p> <p> 第2条 適用範囲-----1</p> <p> 第3条 基本方針-----1</p> <p> 第4条 規定の遵守-----1</p> <p>第2章 保安管理組織-----1</p> <p> 第5条 保安に関する組織-----1</p> <p> 第6条 職 務-----2</p> <p> 第7条 核燃料取扱主務者の選任-----2</p> <p> 第8条 核燃料取扱主務者の職務-----2</p> <p> 第9条 意見等の尊重-----3</p> <p> 第10条 放射線安全委員会-----3</p> <p>第3章 品質保証-----3</p> <p> 第11条 品質保証計画の策定-----3</p> <p> 第12条 組織及び職務-----3</p> <p> 第13条 品質会議-----4</p> <p> 第14条 マネジメントレビュー会議-----4</p> <p> 第15条 品質保証活動に係る教育-----5</p> <p> 第16条 品質保証活動の実施-----5</p> <p> 第17条 品質保証活動の評価-----5</p> <p> 第18条 品質保証計画の継続的改善-----6</p> <p> 第19条 文書及び記録-----6</p> <p>第4章 保安教育-----6</p> <p> 第20条 教育訓練-----6</p> <p> 第21条 従業員以外の放射線業務従事者への教育訓練-----7</p> <p>第5章 災害防止上特に管理を必要とする設備・機器の操作-----7</p> <p> 第22条 要員の配置-----7</p> <p> 第23条 核燃料物質等の取扱計画及び報告-----7</p> <p> 第24条 機器操作に係る下部規定等-----7</p> | <p style="text-align: center;">日本核燃料開発株式会社</p> <p style="text-align: center;">NFD ホットラボ施設保安規定</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>第1章 総 則-----1</p> <p> 第1条 目 的-----1</p> <p> 第2条 適用範囲-----1</p> <p> 第3条 基本方針-----1</p> <p> 第4条 <u>関係法令及び規定の遵守</u>-----1</p> <p>第2章 保安に係る組織及び体制-----1</p> <p> 第5条 保安に係る組織-----1</p> <p> 第6条 職 務-----2</p> <p> 第7条 <u>下部規程の制定</u>-----2</p> <p> 第8条 核燃料取扱主務者の選任-----2</p> <p> 第9条 核燃料取扱主務者の職務-----3</p> <p> 第10条 意見等の尊重-----3</p> <p> 第11条 放射線安全委員会-----3</p> <p>第3章 品質マネジメント-----3</p> <p> 第12条 品質マネジメントシステムの策定-----3</p> <p> 第13条 技術情報の共有-----4</p> <p> 第14条 情報の公開-----4</p> <p>第4章 保安教育-----4</p> <p> 第15条 教育訓練-----4</p> <p> 第16条 従業員以外の放射線業務従事者への教育訓練-----5</p> <p>第5章 使用施設等の操作-----5</p> <p> 第17条 要員の配置-----5</p> <p> 第18条 核燃料物質等の取扱計画及び報告-----5</p> | <p>(4)記載見直し① (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---------------------------------------|------------------------------|
| 第25条 災害防止上特に管理を必要とする設備・機器 8 | | (4)記載見直し① (以下本頁では本変更理由のみ) |
| 第26条 臨界管理-----8 | 第19条 臨界管理-----5 | |
| 第27条 核燃料物質等の使用-----8 | 第20条 核燃料物質等の使用-----6 | |
| 第28条 使用の表示-----8 | 第21条 使用の表示-----6 | |
| 第29条 核燃料物質等の保管-----8 | 第22条 核燃料物質等の 仮 保管-----6 | |
| 第30条 設備・機器の操作-----8 | 第23条 設備・機器の操作-----6 | |
| 第31条 安全装置の作動条件-----9 | 第24条 安全装置の作動条件-----6 | |
| 第32条 警報設備の管理-----9 | 第25条 警報設備の管理-----6 | |
| | 第26条 <u>地震、火災等の発生時の措置</u> -----7 | |
| 第33条 異常時の措置-----9 | 第27条 異常時の措置-----7 | |
| 第6章 放射線管理-----9 | 第6章 放射線管理-----7 | |
| 第34条 管理区域-----9 | 第28条 管理区域-----7 | |
| 第35条 一時管理区域-----9 | 第29条 一時管理区域-----7 | |
| 第36条 管理区域における特別措置-----10 | 第30条 管理区域における特別措置-----7 | |
| 第37条 飲食及び喫煙の禁止 -----10 | | |
| 第38条 周辺監視区域-----10 | 第31条 周辺監視区域-----8 | |
| 第39条 管理上の人の区分-----10 | 第32条 管理上の人の区分-----8 | |
| 第40条 管理区域の出入り管理-----10 | 第33条 管理区域の出入り管理-----8 | |
| | 第34条 <u>管理区域内ゾーン間の物品の移動</u> -----9 | |
| 第41条 管理区域外への物品の持出-----11 | 第35条 管理区域外への物品の持出-----9 | |
| 第42条 作業に伴う放射線管理-----11 | 第36条 作業に伴う放射線管理-----9 | |
| 第43条 緊急作業上の被ばく管理-----11 | 第37条 緊急作業上の被ばく管理-----9 | |
| 第44条 請負会社等の放射線防護-----11 | 第38条 請負会社等の放射線防護-----10 | |
| 第7章 放射線測定-----11 | 第7章 放射線測定-----10 | |
| 第45条 外部放射線に係る線量率等の測定-----11 | 第39条 外部放射線に係る線量率等の測定-----10 | |
| 第46条 床、壁等の 除染 -----12 | 第40条 床、壁等の <u>表面密度の評価</u> -----10 | |
| 第47条 線量の評価-----12 | 第41条 線量の評価-----11 | |
| 第48条 放射線測定器の管理-----12 | 第42条 放射線測定器の管理-----11 | |
| | 第43条 <u>放射線測定器による測定及び評価方法</u> -----11 | |
| 第8章 <u>保守管理</u> -----13 | 第8章 <u>施設管理</u> -----11 | |
| 第49条 施設の巡視及び点検 -----13 | 第44条 <u>施設管理方針</u> -----11 | |
| 第50条 施設の定期的な自主検査 -----13 | 第45条 <u>施設管理目標及び施設管理実施計画</u> -----11 | |
| 第51条 修理及び改造 -----13 | 第46条 <u>施設管理の継続的改善</u> -----12 | |
| | 第47条 <u>特別な施設管理の実施</u> -----13 | |
| | 第48条 <u>使用前検査</u> -----13 | |
| 第9章 核燃料物質等の受け渡し、貯蔵、運搬-----13 | 第9章 核燃料物質等の受け渡し、貯蔵、運搬-----13 | |
| 第52条 核燃料物質等の受渡し管理-----13 | 第49条 核燃料物質等の受渡し管理-----13 | |
| 第53条 核燃料物質等の貯蔵-----14 | 第50条 核燃料物質等の貯蔵-----13 | |
| 第54条 周辺監視区域内に係る運搬-----14 | 第51条 周辺監視区域内に係る運搬-----14 | |
| 第55条 周辺監視区域外に係る運搬-----14 | 第52条 周辺監視区域外に係る運搬-----14 | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 第10章 放射性廃棄物の管理----- 14 | 第10章 放射性廃棄物の管理----- 14 | (4)記載見直し① |
| 第56条 気体状の放射性廃棄物の廃棄----- 14 | 第53条 気体状の放射性廃棄物の廃棄----- 14 | (以下本頁では本変更理由のみ) |
| 第57条 液体状の放射性廃棄物の廃棄----- 15 | 第54条 液体廃棄物の廃棄----- 14 | |
| 第58条 固体状の放射性廃棄物の廃棄----- 15 | 第55条 固体廃棄物の廃棄----- 15 | |
| 第56条 放射性廃棄物でない廃棄物の搬出----- 15 | 第56条 放射性廃棄物でない廃棄物の搬出----- 15 | |
| 第11章 非常時の措置----- 15 | 第11章 非常時の措置----- 15 | |
| 第59条 非常時の組織----- 15 | 第57条 非常時の組織----- 15 | |
| 第60条 非常時要員の確保----- 15 | 第58条 非常時要員の確保----- 16 | |
| 第61条 非常時対応資機材の整備----- 16 | 第59条 緊急時における核燃料物質の使用----- 16 | |
| 第62条 通報系統----- 16 | 第60条 非常時対応資機材の整備----- 16 | |
| 第63条 通 報----- 16 | 第61条 通報系統----- 16 | |
| 第64条 非常事態の発令----- 16 | 第62条 通 報----- 16 | |
| 第65条 非常事態における活動----- 16 | 第63条 非常事態の発令----- 16 | |
| 第66条 非常事態の解除----- 16 | 第64条 非常事態における活動----- 16 | |
| 第67条 「原子力災害対策特別措置法」に基づく措置----- 16 | 第65条 非常事態の解除----- 17 | |
| 第66条 「原子力災害対策特別措置法」に基づく措置----- 17 | 第66条 「原子力災害対策特別措置法」に基づく措置----- 17 | |
| 第67条 設計想定事象等に係る使用施設等の保全に関する措置----- 17 | 第67条 設計想定事象等に係る使用施設等の保全に関する措置----- 17 | |
| 第12章 記録及び報告----- 16 | 第12章 記録及び報告----- 17 | |
| 第68条 記 録----- 16 | 第68条 記 録----- 17 | |
| 第69条 報 告----- 17 | 第69条 報 告----- 17 | |
| 付 則----- 18 | 付 則----- 19 | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|--------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">別表及び別図一覧</p> <p>別表第1 品質保証に係る教育 ----- 10</p> <p>別表第2 保安教育 ----- 20</p> <p>別表第3 保安訓練 ----- 22</p> <p>別表第4 災害防止上特に管理を必要とする設備・機器 ----- 23</p> <p>別表第5 臨界管理基準を満足する最大取扱量 ----- 24</p> <p>別表第6 安全装置の作動条件 ----- 25</p> <p>別表第7 警報装置の作動条件 ----- 26</p> <p>別表第8 表面密度の基準 ----- 27</p> <p>別表第9 管理区域内における線量率等の測定 ----- 27</p> <p>別表第10 周辺監視区域内における線量率の測定 ----- 28</p> <p>別表第11 外部及び内部被ばくによる線量の測定 ----- 28</p> <p>別表第12 放射線測定器 ----- 29</p> <p>別表第13 施設の巡視及び点検 ----- 30</p> <p>別表第14 施設の定期的な自主検査 ----- 31</p> <p>別表第15-1 年間予定使用量 ----- 33</p> <p>別表第15-2 核燃料物質等の貯蔵施設 ----- 34</p> <p>別表第16 気体廃棄物の放出管理目標値 ----- 35</p> <p>別表第17 液体廃棄物の区分 ----- 36</p> <p>別表第18 固体廃棄物の区分 ----- 37</p> <p>別表第19 核燃料物質の使用等に関する記録 ----- 38</p> <p>別図第1 <u>保安管理組織</u> ----- 40</p> <p>別図第2 <u>品質保証に係る組織</u> ----- 41</p> <p>別図第3 管理区域（ホットラボ地階） ----- 42</p> <p>別図第4 管理区域（ホットラボ1階） ----- 43</p> <p>別図第5 管理区域（ホットラボ2階） ----- 44</p> <p>別図第6 周辺監視区域 ----- 45</p> | <p style="text-align: center;">別表及び別図一覧</p> <p>別表第1 保安教育 ----- 20</p> <p>別表第2 保安訓練 ----- 22</p> <p>別表第3 臨界管理基準を満足する最大取扱量 ----- 23</p> <p>別表第4 安全装置の作動条件 ----- 24</p> <p>別表第5 警報装置の作動条件 ----- 25</p> <p>別表第6 <u>管理区域における管理基準</u> ----- 26</p> <p>別表第7 表面密度の基準 ----- 26</p> <p>別表第8 管理区域内における線量率等の測定 ----- 27</p> <p>別表第9 周辺監視区域内における線量率の測定 ----- 27</p> <p>別表第10 外部及び内部被ばくによる線量の測定 ----- 28</p> <p>別表第11 放射線測定器 ----- 29</p> <p>別表第12 年間予定使用量 ----- 31</p> <p>別表第13 核燃料物質等の貯蔵施設 ----- 32</p> <p>別表第14 気体廃棄物の放出管理目標値 ----- 33</p> <p>別表第15 液体廃棄物の区分 ----- 34</p> <p>別表第16 固体廃棄物の区分 ----- 35</p> <p>別表第17 核燃料物質の使用等に関する記録 ----- 37</p> <p>別図第1 <u>保安に係る組織</u> ----- 40</p> <p>別図第2 <u>QMSに係る文書体系</u> ----- 41</p> <p>別図第3 管理区域（ホットラボ地階） ----- 42</p> <p>別図第4 管理区域（ホットラボ1階） ----- 43</p> <p>別図第5 管理区域（ホットラボ2階） ----- 44</p> <p>別図第6 周辺監視区域 ----- 45</p> | <p>(4)記載見直し① (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p style="text-align: center;">第1章 総 則</p> <p>(目 的)</p> <p>第1条 この規定は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第57条第1項の規定に基づき、核燃料物質等の使用施設等において、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物（以下「核燃料物質等」という。）の使用、廃棄及び保管（以下「取扱」という。）並びに運搬（以下、取扱及び運搬を「使用等」という。）に係る保安について定め、もってこれらに関する災害を防止することを目的とする。</p> <p>(適用範囲)</p> <p>第2条 本規定は、日本核燃料開発株式会社（以下「NFD」という。）ホットラボ施設において、保安に係る運用に関して適用する。</p> <p>(基本方針)</p> <p>第3条 安全文化を基礎とし、国際放射線防護委員会（ICRP）が1977年勧告で示した放射線防護の基本的考え方を示す概念（ALARA：as low as reasonably achievable）の精神にのっとり、核燃料物質等の使用等による災害防止のために適切な品質保証活動のもと保安活動を実施する。</p> <p>(規定の遵守)</p> <p>第4条 NFDの役員、従業員及び臨時雇員（以下「従業員」という。）は、ホットラボ施設において核燃料物質等に係る業務を行う場合は、本規定を遵守しなければならない。</p> <p>2 保安管理部長は、前項以外の者（以下「請負会社従業員等」という。）にホットラボ施設において業務を行わせる場合は、契約等によりこの規定を遵守させなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第2章 保安管理組織</p> <p>(保安に関する組織)</p> <p>第5条 ホットラボ施設に係る保安に関する組織は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 社長</p> <p>(2) 核燃料取扱主務者</p> <p>(3) 保安管理部長</p> <p>(4) 研究部長</p> <p>(5) 管理部長</p> <p>(6) 安全管理グループリーダー（以下「安全管理GL」という。）</p> <p>(7) 工務グループリーダー（以下「工務GL」という。）</p> <p>(8) ホットラボグループリーダー（以下「ホットラボGL」という。）</p> <p>(9) 輸送グループリーダー（以下「輸送GL」という。）</p> | <p style="text-align: center;">第1章 総 則</p> <p>(目 的)</p> <p>第1条 この規定は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第57条第1項の規定に基づき、核燃料物質等の使用施設等において、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物（以下「核燃料物質等」という。）の使用、廃棄及び保管（以下「取扱」という。）並びに運搬（以下、取扱及び運搬を「使用等」という。）に係る保安について定め、もってこれらに関する災害を防止することを目的とする。</p> <p>(適用範囲)</p> <p>第2条 本規定は、日本核燃料開発株式会社（以下「NFD」という。）ホットラボ施設において、保安に係る運用に関して適用する。</p> <p>(基本方針)</p> <p>第3条 安全文化を基礎とし、国際放射線防護委員会（ICRP）が1977年勧告で示した放射線防護の基本的考え方を示す概念（ALARA：as low as reasonably achievable）の精神にのっとり、核燃料物質等の使用等による災害防止のために適切な品質保証活動のもと保安活動を実施する <u>と共に放射線業務従事者が不要な被ばくを受けないよう管理する。</u></p> <p>(関係法令及び規定の遵守)</p> <p>第4条 NFDの役員、従業員及び臨時雇員（以下「従業員」という。）は、ホットラボ施設において核燃料物質等に係る業務を行う場合は、関係法令及び本規定を遵守しなければならない。</p> <p>2 保安管理部長は、前項以外の <u>役務等を供給する事業者等</u>（以下「請負会社等」という。）にホットラボ施設において業務を行わせる場合は、契約等によりこの規定を遵守させなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第2章 保安に係る組織及び体制</p> <p>(保安に係る組織)</p> <p>第5条 ホットラボ施設に係る保安に関する組織は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 社長</p> <p>(2) <u>品質知財本部長（品質管理責任者）</u></p> <p>(3) 核燃料取扱主務者</p> <p>(4) 保安管理部長</p> <p>(5) 研究部長</p> <p>(6) 管理部長</p> <p>(7) 安全管理グループリーダー（以下「安全管理GL」という。）</p> <p>(8) 工務グループリーダー（以下「工務GL」という。）</p> <p>(9) ホットラボグループリーダー（以下「ホットラボGL」という。）</p> <p>(10) 輸送グループリーダー（以下「輸送GL」という。）</p> | <p>(1)新審査基準⑧イ</p> <p>(1)新審査基準①ア</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(1)新審査基準①ア</p> <p>(1)新審査基準①ア</p> <p>(1)新審査基準①カ</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(以下本頁は本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---|--|
| <p>(10) 総務グループリーダー（以下「総務 GL」という。）</p> <p>(11) 放射線安全委員会</p> <p>2 ホットラボ施設の保安<u>管理</u>組織は、別図第 1 に掲げるとおりとする。</p> <p>（職 務）</p> <p>第 6 条 ホットラボ施設の保安に関する各職位と職務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 社長は、NFD に係る保安上の業務を統括する。</p> <p>(2) 保安管理部長は、(5) 及び(6) 号に掲げる保安上の業務を統括し、保安教育に係る業務を行う。</p> <p>(3) 研究部長は、(7) 及び(8) 号に掲げる保安上の業務を統括し、使用施設の核燃料物質等の取扱計画及び施設管理に係る業務を行う。</p> <p>(4) 管理部長は、(9) 号に掲げる保安上の業務を統括する。</p> <p>(5) 安全管理 GL は、保安管理及び放射線管理に係る業務を行う。</p> <p>(6) 工務 GL は、設備・機器の運転・保守（ただし、ホットラボ GL の所管に属するものを除く。）及び液体状の放射性廃棄物（以下「液体廃棄物」という。）・固体状の放射性廃棄物（以下「固体廃棄物」という。）の処理に係る業務を行う。</p> <p>(7) ホットラボ GL は、使用施設の核燃料物質等の取扱い及び試験設備・機器の運転・保守に係る業務を行う。</p> <p>(8) 輸送 GL は、核燃料物質等の運搬に係る業務を行う。</p> <p>(9) 総務 GL は、周辺監視区域の警備及び通報連絡並びに保安訓練に係る業務を行う。</p> <p>（核燃料取扱主務者の選任）</p> <p><u>第 7 条</u> 社長は、ホットラボ施設に係る核燃料物質等の取扱いに関する保安の監督を行わせるため、核燃料取扱主務者を原則として核燃料取扱主任者免状又は第 1 種放射線取扱主任者免状を有する者のうちから、あらかじめ選任する。</p> <p>2 社長は、核燃料取扱主務者の代行者を原則として核燃料取扱主任者免状又は第 1 種放射線取扱主任者免状を有する者のうちから、あらかじめ選任する。</p> | <p>(11) 総務グループリーダー（以下「総務 GL」という。）</p> <p>(12) <u>業務・資材グループリーダー（以下「業務・資材 GL」という。）</u></p> <p>(13) 放射線安全委員会</p> <p>2 ホットラボ施設の保安<u>に係る</u>組織は、別図第 1 に掲げるとおりとする。</p> <p>（職 務）</p> <p>第 6 条 ホットラボ施設の保安に関する各職位と職務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 社長は、NFD に係る保安上の業務を統括する。</p> <p>(2) <u>品質知財本部長（品質管理責任者）は品質マネジメントシステムを管理し、品質マネジメントシステムに必要なプロセスの確立、実施及びその有効性維持に係る業務を行う。</u></p> <p>(3) 保安管理部長は、(6) 及び(7) 号に掲げる保安上の業務を統括し、保安教育に係る業務を行う。</p> <p>(4) 研究部長は、(8) 及び(9) 号に掲げる保安上の業務を統括し、使用施設の核燃料物質等の取扱計画及び施設管理に係る業務を行う。</p> <p>(5) 管理部長は、(10) 号及び(11) 号に掲げる保安上の業務を統括する。</p> <p>(6) 安全管理 GL は、保安管理及び放射線管理に係る業務を行う。</p> <p>(7) 工務 GL は、設備・機器の運転・保守（ただし、ホットラボ GL の所管に属するものを除く。）及び液体状の放射性廃棄物（以下「液体廃棄物」という。）・固体状の放射性廃棄物（以下「固体廃棄物」という。）の処理に係る業務を行う。</p> <p>(8) ホットラボ GL は、使用施設の核燃料物質等の取扱い及び試験設備・機器の運転・保守に係る業務を行う。</p> <p>(9) 輸送 GL は、核燃料物質等の運搬に係る業務を行う。</p> <p>(10) 総務 GL は、周辺監視区域の警備及び通報連絡並びに保安訓練に係る業務を行う。</p> <p>(11) <u>業務・資材 GL は、部品又は役務の調達に関する業務を行う。</u></p> <p><u>（下部規程の制定）</u></p> <p><u>第 7 条 社長は、保安に係る組織に示す職位の者に対して保安活動に関わる下部規程に規定する事項を遵守させる。保安活動に関わる下部規程は、研究部長、保安管理部長及び管理部長が、重要度順に階層化して制定・改廃を行う。保安規定及び各下部規程の文書体系は下部規程「保安活動に関わる品質マネジメント計画書の関連文書・記録一覧表」に重要度別にまとめる。</u></p> <p><u>2 研究部長、保安管理部長及び管理部長は、前項に基づき下部規程の制定・改廃を行った場合、その旨を社長に報告する。</u></p> <p>（核燃料取扱主務者の選任）</p> <p><u>第 8 条</u> 社長は、ホットラボ施設に係る核燃料物質等の取扱いに関する保安の監督を行わせるため、核燃料取扱主務者を原則として核燃料取扱主任者免状又は第 1 種放射線取扱主任者免状を有する者のうちから、あらかじめ選任する。</p> <p>2 社長は、核燃料取扱主務者の代行者を原則として核燃料取扱主任者免状又は第 1 種放射線取扱主任者免状を有する者のうちから、あらかじめ選任する。</p> | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(1) 新審査基準①㌸</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(1) 新審査基準①㍿</p> <p>(1) 新審査基準①㌸</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(1) 新審査基準①㌸</p> <p>(1) 新審査基準①㍿</p> <p>(4) 記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>(核燃料取扱主務者の職務)</p> <p>第8条 核燃料取扱主務者及びその代行者は、ホットラボ施設に係る保安のため、次の各号に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 社長に対し、意見具申等を行うこと。</p> <p>(2) ホットラボ施設の使用又は管理に従事する者に対して、指導・助言を行うこと。</p> <p>(3) 保安教育訓練の実施計画の作成、改訂に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(4) 本規定及び第24条第1項に定める規定等の制定、改廃に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(5) 使用計画、保全計画等の保安上重要な計画の作成、改訂に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(6) 保安規定に係る記録の確認を行うこと。</p> <p>(7) 法令に基づく報告について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(8) 国の実施する検査（施設検査、保安検査）に立ち会うこと。</p> <p>(意見等の尊重)</p> <p>第9条 社長は、核燃料取扱主務者の意見具申を尊重する。</p> <p>2 ホットラボ施設の使用又は管理に従事する者は、核燃料取扱主務者の指導・助言を尊重する。</p> <p>(放射線安全委員会)</p> <p>第10条 <u>NFDに放射線安全委員会（以下「委員会」という。）を設置する。</u></p> <p>2 委員会は、社長の諮問を受け、次の各号に掲げる事項について審議する。</p> <p>(1) 本規定及び核燃料物質の使用の許可の変更</p> <p>(2) 保安教育計画及び保安訓練計画に関する事項</p> <p>(3) 核燃料物質等の使用等、ホットラボ施設の運転保守管理、放射性廃棄物の管理及び放射線管理に関する重要な規定、要領等の制定及び廃止並びに変更</p> <p>(4) その他、ホットラボ施設の保安に係る重要な事項</p> <p>3 委員会は、核燃料取扱主務者のほか、社長の指名した委員をもって構成し、委員長は、委員の中から社長が指名する者があたる。ただし、委員には、ホットラボ施設に関し、十分な知識と経験を有する者を指名する。</p> <p>4 社長は、委員会の答申を尊重する。</p> <p>5 第2項に関して、委員会が、デザインレビュー会議等その他会議での審議が適当と認めた事項については、その結果を委員会に報告することにより委員会での審議に代えるものとする。</p> | <p>(核燃料取扱主務者の職務)</p> <p>第9条 核燃料取扱主務者及びその代行者は、ホットラボ施設に係る保安のため、次の各号に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 社長に対し、意見具申等を行うこと。</p> <p>(2) ホットラボ施設の使用又は管理に従事する者に対して、指導・助言を行うこと。</p> <p>(3) 保安教育訓練の実施計画の作成、改訂に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(4) 本規定及び関連下部規程の制定、改廃に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(5) 使用計画、保全計画等の保安上重要な計画の作成、改訂に当たり、その内容について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(6) 保安規定に係る記録の確認を行うこと。</p> <p>(7) 法令に基づく報告について、精査、指導・助言を行うこと。</p> <p>(意見等の尊重)</p> <p>第10条 社長は、核燃料取扱主務者の意見具申を尊重する。</p> <p>2 ホットラボ施設の使用又は管理に従事する者は、核燃料取扱主務者の指導・助言を尊重する。</p> <p>(放射線安全委員会)</p> <p>第11条 <u>社長は、NFDにおける核燃料物質等の取扱いに係る事項に関する社長の諮問機関として放射線安全委員会（以下「委員会」という。）を設置し、委員長、副委員長及び委員を下部規程「各種責任者・管理者・委員等の選解任に関する要領」にて任命する。また、委員会の運用、審議事項の範囲及び構成員等は下部規程「放射線安全委員会運用要領」に定める。</u></p> <p>2 社長は、委員会の答申を尊重する。</p> <p>3 委員会での審議事項に関して、委員会が、デザインレビュー会議等その他会議での審議が適当と認められた事項については、その結果を委員会に報告することにより委員会での審議に代えるものとする。</p> | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(1)新審査基準③7)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し③</p> <p>(4)記載見直し③</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">第3章 品質保証</p> <p><u>(品質保証計画の策定)</u></p> <p>第11条 社長は、この規定に定める保安に関する業務に関し、品質保証活動の実施のため、品質保証計画を策定し、品質保証計画書にその方法を定める。</p> <p>2 品質保証計画は、品質保証活動を実施するために必要な文書の発行、レビュー等に関して品質保証計画書で定める手続きに従って管理を行うこと。</p> <p>(組織及び職務)</p> <p>第12条 ホットラボ施設の保安活動に係る品質保証に関する組織は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 社長</p> <p>(2) 品質保証責任者</p> <p>(3) 技術管理本部長</p> <p>(4) 保安管理部長</p> <p>(5) 研究部長</p> <p>(6) 管理部長</p> <p>(7) 安全管理GL</p> <p>(8) 工務GL</p> <p>(9) ホットラボGL</p> <p>(10) 輸送GL</p> <p>(11) 総務GL</p> <p>(12) 品質会議</p> <p>(13) マネジメントレビュー会議</p> <p>2 品質保証に係る組織は、別図第2に掲げるとおりとする。</p> <p>3 ホットラボ施設の品質保証に関する各職位と職務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 社長は、品質保証計画の策定、品質保証活動の実施、評価及び継続的な改善を総括するとともに、品質保証に係る業務を統括する者として、品質保証責任者を選任する。また、品質会議及びマネジメントレビュー会議を開催する。</p> <p>(2) 品質保証責任者は、以下に示す責任と権限を持つ。</p> | <p style="text-align: center;">第3章 品質マネジメント</p> <p><u>(品質マネジメントシステムの策定)</u></p> <p>第12条 社長は、「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則(以下「品質管理基準規則」という。)」及び「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則の解釈」を踏まえて、この規定に定める保安に関する業務に係る品質マネジメントシステム(以下「QMS」という。)を策定し、保安活動の計画、実施、評価及び改善に係る組織及び仕組み等について、下部規程「保安活動に関わる品質マネジメント計画書」に以下を定める。</p> <p><u>(1) QMSの文書化</u></p> <p><u>(2) 経営者の責任、品質方針及びQMSの計画</u></p> <p><u>(3) 組織、責任及び権限</u></p> <p><u>(4) 資源の管理及び教育</u></p> <p><u>(5) 個別業務に関する計画と実施</u></p> <p><u>(6) 監視、測定、分析及び改善</u></p> <p>2 QMSに係る文書体系を別図第2に示す。</p> <p>3 内部監査においては、自らが所属していない部門あるいは自らが担当していない個別業務に対して監査を行うよう、監査員を選定する。</p> <p><u>(削除)</u></p> | <p>(1)新審査基準②ア)</p> <p>(1)新審査基準②イ)</p> <p>(1)新審査基準②イ)</p> <p>(1)新審査基準②イ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|---------------------------------------|
| <p>a) 品質マネジメントシステムに必要な業務の確立、実施及び維持を確実にする。</p> <p>b) 品質マネジメントシステムの実施状況及び改善の必要性の有無について社長に報告する。</p> <p>c) 組織全体にわたって、原子力安全に対する認識を高めることを確実にする。</p> <p>(3) 部長及びGL(以下「部長等」という。)は、不適合管理、是正処置及び予防処置並びに文書管理、記録管理の業務を行う。</p> <p>(品質会議)</p> <p>第13条 社長は、品質会議を品質保証の観点から必要に応じて開催する。</p> <p>2 社長は、品質会議において次の各号に掲げる事項について審議し、品質保証活動の進捗を確認する。</p> <p>(1) 社長が提示する品質方針及び目標、及びこれに基づくグループ品質目標に係る品質活動の進捗状況</p> <p>(2) その他品質保証の観点から必要と判断される事項</p> <p>3 品質会議は、社長を議長、品質保証責任者を幹事とし、研究部長、管理部長、保安管理部長、その他社長の指名する者から構成する。</p> <p>(マネジメントレビュー会議)</p> <p>第14条 社長は、マネジメントレビュー会議を定期的開催する。</p> <p>2 社長は、マネジメントレビュー会議において、品質保証活動の総括及び評価・改善を行う。</p> <p>3 マネジメントレビュー会議は、社長を議長、品質保証責任者を幹事とし、研究部長、管理部長、保安管理部長、その他社長の指名する者から構成する。</p> <p>(品質保証活動に係る教育)</p> <p>第15条 社長は、品質保証活動を実施するにあたって、前条に定める品質保証に係る組織に属する者に対し、別表第1に掲げるところに従い、品質保証活動に係る教育を実施する。</p> <p>2 社長は、定期的なマネジメントレビューにより、教育・訓練その他の処理の有効性を評価する。</p> <p>3 品質保証責任者は、教育、訓練、技能及び経験に関する記録を維持する。</p> <p>(品質保証活動の実施)</p> <p>第16条 社長は、前条に定める品質保証に係る組織に属する者に対し、品質保証計画に基づく保安に関し、以下の事項の必要な個々の業務の計画、実施、評価及び継続的な改善を含む品質保証活動を実施させる。</p> <p>(1) 災害の防止上特に管理を必要とする機器の操作に関すること。</p> <p>(2) 管理区域及び周辺監視区域の設定並びにこれらの区域に係る立入制限等に関すること。</p> <p>(3) 線量、線量当量、放射性物質の濃度及び放射性物質によって汚染された物の表面の放射性物質の密度の監視並びに汚染の除去に関すること。</p> <p>(4) 排気監視設備に関すること。</p> <p>(5) 放射線管理測定器の管理及び放射線の測定の方法に関すること。</p> <p>(6) ホットラボ施設の巡視及び点検並びにこれらに伴う処置に関すること。</p> <p>(7) 核燃料物質等の受渡し、運搬、貯蔵その他の取扱いに関すること。</p> <p>(8) 放射性廃棄物の廃棄に関すること。</p> <p>(9) 非常の場合に採るべき処置に関すること。</p> | <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> | <p>(1)新審査基準②イ (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|---------------------------------------|
| <p>(10) ホットラボ施設に係る保安に関する記録に関すること。</p> <p>(11) ホットラボ施設の定期的な自主検査に関すること。</p> <p>(12) ホットラボ施設に新規導入、又は改造する設備・機器の自主検査に関すること。</p> <p>(13) その他ホットラボ施設に係る保安に関し必要な事項に関すること。</p> <p>(品質保証活動の評価)</p> <p>第17条 社長は、品質保証計画に基づき、以下の取り決め及び手順に従い内部監査を実施し、品質保証活動の評価を行う。</p> <p>(1) 監査は、原則、定期的を実施すること。</p> <p>(2) 監査に先立ち、必要な計画（年度計画、実施計画等）を定めること。</p> <p>(3) 監査の結果、明らかになった不適合等については、不適合管理、是正処置予防処置へ展開すること。</p> <p>2 社長は、品質保証計画に基づき、品質保証活動の結果、発生した不適合の管理を以下の取り決め及び手順に従い行う。</p> <p>(1) 不適合が放置されないように管理すること。</p> <p>(2) 不適合の性質の記録、不適合に対して採られた特別採用を含む処置の記録を維持すること。</p> <p>(3) 不適合の修正を施した場合には、要求事項への適合性を実証するために再検証すること。</p> <p>(品質保証計画の継続的改善)</p> <p>第18条 社長は、品質保証計画に基づき、発生した不適合に係る是正処置若しくは予防処置、及び定期的なマネジメントレビューを通じて、品質保証計画の継続的改善を行う。</p> <p>2 社長は、是正処置の取り決め・手順に以下の事項を含むように品質保証計画を策定する。</p> <p>(1) 不適合の内容確認に関すること。</p> <p>(2) 不適合の原因特定に関すること。</p> <p>(3) 不適合の再発防止を確実にするための処置の必要性の評価に関すること。</p> <p>(4) 必要な処置の決定及び実施に関すること。</p> <p>(5) 採った処置の結果の記録に関すること。</p> <p>(6) 是正処置において実施した活動のレビューに関すること。</p> <p>3 社長は、予防処置の取り決め・手順に以下の事項を含むように品質保証計画を策定する。</p> <p>(1) 起こり得る不適合及びその原因の特定に関すること。</p> <p>(2) 不適合の発生を予防するための処置の必要性の評価に関すること。</p> <p>(3) 必要な処置の決定及び実施に関すること。</p> <p>(4) 採った処置の結果の記録に関すること。</p> <p>(5) 予防処置において実施した活動のレビューに関すること。</p> <p>(6) 他の組織から得られた核燃料物質の使用等に係る技術情報について、自らの使用施設等の保安の向上にいかすための措置に関すること。</p> <p>4 社長は、マネジメントレビューの取り決め・手順に以下の事項を含むように品質保証計画を策定する。</p> <p>(1) トップマネジメントによるマネジメントレビューに関すること。</p> <p>(2) マネジメントレビューの開催頻度に関すること。</p> <p>(3) マネジメントレビューの結果、明らかになった事項については、不適合の管理、是正処置、予防</p> | <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> | <p>(1)新審査基準②イ (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|---|
| <p>処置に関すること。</p> <p>(文書及び記録)</p> <p>第10条 社長は、品質保証活動の実施のために必要な文書及びその記録の管理方法を保安活動に関わる品質保証計画書において明確にする。</p> | <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(技術情報の共有)</u></p> <p>第13条 <u>他の事業者との情報交換会の場を活用する等して、保安に関する情報等を共有し、自らの使用施設等の保安を向上させるための措置を行う。</u></p> <p><u>(情報の公開)</u></p> <p>第14条 <u>ホットラボ施設の使用施設等の保安の向上を図るため、事業者間の情報共有の観点で、法令及び自治体との安全協定への違反事象や第69条に定める報告事象については、自らが運営するウェブサイトはその内容をすみやかに掲載し、掲載内容には、事象の発生日時と場所、発生状況及び発生に際して採った処置、原因、その後の対策及び処置、その他必要な事項を含むものとする。</u></p> <p>2 <u>情報の公開に関し、自ら管理するウェブサイトへの登録等に必要な事項は、下部規程「NFDホームページ運用規程」に定める。</u></p> | <p>(1)新審査基準②イ)</p> <p>(1)新審査基準②イ)</p> <p>(1)新審査基準⑯ア)</p> <p>(1)新審査基準⑰ア)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|--|
| <p style="text-align: center;">第4章 保安教育</p> <p>(教育訓練)</p> <p>第20条 保安管理部長は、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対し、<u>別表第2(1)</u>に掲げるところに従い、保安教育を年度ごとに計画する。</p> <p>2 保安管理部長は、前項の計画に従い保安教育を実施し、<u>その結果を</u>社長へ報告する。</p> <p>3 保安管理部長は、新たにホットラボ施設に係る業務に従事する従業員に対し、<u>別表第2(2)</u>に掲げるところに従い、保安教育を実施する。ただし、<u>別表第2(2)</u>に掲げる項目の一部に関し、十分な知識及び技能を有していると認められる者に対しては、当該項目又は事項について教育を省略することができる。</p> <p>4 保安管理部長は、放射線業務従事者のうち緊急作業に従事する者に対し、<u>別表第2(3)</u>に掲げる教育を実施する。</p> <p>5 社長は、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対して、<u>別表第3(1)</u>第1欄に掲げる保安訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施する。</p> <p>6 総務GLは、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対して、<u>別表第3(2)</u>第1欄に掲げる保安訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施し、その結果を社長へ報告する。</p> <p>7 総務GLは、放射線業務従事者のうち緊急作業に従事する者に対し、<u>別表第3(3)</u>第1欄に掲げる訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施し、その結果を社長へ報告する。</p> <p>(従業員以外の放射線業務従事者への教育訓練)</p> <p>第21条 保安管理部長及び総務GLは、年間請負契約等に基づきホットラボ施設に常時立ち入る者に対し、保安教育及び訓練を前条に準じて実施する。</p> <p>2 保安管理部長は、一時請負契約等に基づきホットラボ施設に常時立ち入る者に対し、保安教育を前条第3項に準じて実施する。</p> | <p style="text-align: center;">第4章 保安教育</p> <p>(教育訓練)</p> <p>第15条 <u>公衆及び従業員の安全確保を第一の目的に、保安教育を実施して従業員の安全意識及び保安活動に係る技術の継続的な改善を図る。</u></p> <p>2 保安管理部長は、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対し、<u>別表第1(1)</u>に掲げるところに従い、保安教育(<u>施設等の必要な機能を維持するための技術を含む</u>)を年度ごとに計画する。</p> <p>3 保安管理部長は、前項の計画に従い保安教育を実施し、<u>その実施内容について従業員の理解度及び意識調査をまとめ、それらの結果を</u>社長へ報告する。</p> <p>4 <u>第3項に示す前年度の保安教育実施結果及び規制の動向を踏まえて毎年、保安教育の内容を見直すこととする。</u></p> <p>5 保安管理部長は、新たにホットラボ施設に係る業務に従事する従業員に対し、<u>別表第1(2)</u>に掲げるところに従い、保安教育を実施する。ただし、<u>別表第1(2)</u>に掲げる項目の一部に関し、十分な知識及び技能を有していると認められる者に対しては、当該項目又は事項について教育を省略することができる。</p> <p>6 保安管理部長は、放射線業務従事者のうち緊急作業に従事する者に対し、<u>別表第1(3)</u>に掲げる指定教育を実施する。</p> <p>7 社長は、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対して、<u>別表第2(1)</u>第1欄に掲げる保安訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施する。</p> <p>8 総務GLは、ホットラボ施設に係る業務を行う従業員に対して、<u>別表第2(2)</u>第1欄に掲げる保安訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施し、その結果を社長へ報告する。</p> <p>9 総務GLは、放射線業務従事者のうち緊急作業に従事する者に対し、<u>別表第2(3)</u>に掲げる保安訓練を、それぞれ同表第2欄に掲げるところに従い実施し、その結果を社長へ報告する。</p> <p>(従業員以外の放射線業務従事者への教育訓練)</p> <p>第16条 保安管理部長及び総務GLは、年間請負契約等に基づきホットラボ施設に常時立ち入る者に対し、保安教育及び訓練を前条に準じて実施する。</p> <p>2 保安管理部長は、一時請負契約等に基づきホットラボ施設に常時立ち入る者に対し、保安教育を前条第5項に準じて実施する。</p> | <p>(1)新審査基準④ア)</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(1)新審査基準④イ)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---|---|
| <p>第5章 <u>災害防止上特に管理を必要とする設備・機器</u>の操作</p> <p>(要員の配置) <u>第22条</u> 研究部長及び保安管理部長は、核燃料物質等の使用等に際して、必要な人員を配置する。</p> <p>(核燃料物質等の取扱計画及び報告) <u>第23条</u> 研究部長は、核燃料物質等を取扱う場合は、あらかじめ取扱計画を作成し、核燃料取扱主務者の同意及び社長の承認を得る。これを変更する場合も同様とする。 2 研究部長は、前項の取扱計画に基づき、核燃料物質等の取扱いを終えた場合は、その旨を核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p>(機器操作に係る下部規定等) 第24条 研究部長及び保安管理部長は、核燃料取扱主務者と協議の上、核燃料物質等の使用等及び第25条に定める災害防止上特に管理を必要とする設備・機器の操作に係る規定等の策定・改廃を行う。 2 研究部長及び保安管理部長は、前項に基づき、規定等の策定・改廃を行った場合、その旨を社長に報告する。</p> <p>(災害防止上特に管理を必要とする設備・機器) 第25条 災害防止上特に管理を必要とする設備・機器は、別表第4第1欄に掲げるとおりとする。 2 別表第4に掲げる管理者は、前項の設備・機器の機能が維持されるように、別表第4第2欄に掲げる方法に基づき管理する。 3 別表第4に掲げる管理者は、第1項の設備・機器に異常が認められた場合は、直ちに、運転を停止する等応急措置を講じるとともに、研究部長、保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> <p>(臨界管理) <u>第26条</u> 研究部長は、核燃料物質の使用、保管及び運搬に際していかなるときにおいても、臨界に達しないよう管理する。 2 核燃料物質の使用等に係る臨界管理は、使用する核燃料物質の区分ごとに管理する場所を設定し、質量管理及びその他の制限条件によりこれを行う。臨界管理に係る最大取扱量及びその他の制限条件は、それぞれ<u>別表第5</u>のとおりとする。 3 ホットラボ GL は、<u>別表第5</u>に掲げる場所における受入れ後の在庫量が<u>取扱制限量</u>以下であることの確認を行う。</p> <p>(核燃料物質等の使用) <u>第27条</u> ホットラボ GL は、使用施設以外の場所で核燃料物質等を使用させてはならない。 2 ホットラボ GL は、使用施設の目につきやすい場所に、使用上の注意事項を掲示する。</p> | <p>第5章 <u>使用施設等</u>の操作</p> <p>(要員の配置) <u>第17条</u> 研究部長及び保安管理部長は、核燃料物質等の使用等に際して、必要な人員を配置する。</p> <p>(核燃料物質等の取扱計画及び報告) <u>第18条</u> 研究部長は、核燃料物質等を取扱う場合は、あらかじめ取扱計画を作成し、核燃料取扱主務者の同意及び社長の承認を得る。これを変更する場合も同様とする。 2 研究部長は、前項の取扱計画に基づき、核燃料物質等の取扱いを終えた場合は、その旨を核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p>(臨界管理) <u>第19条</u> 研究部長は、核燃料物質の使用、保管及び運搬に際していかなるときにおいても、臨界に達しないよう管理する。 2 核燃料物質の使用等に係る臨界管理は、使用する核燃料物質の区分ごとに管理する場所を設定し、質量管理及びその他の制限条件によりこれを行う。臨界管理に係る最大取扱量及びその他の制限条件は、それぞれ<u>別表第3</u>のとおりとする。 3 ホットラボ GL は、<u>別表第3</u>に掲げる場所における受入れ後の在庫量が<u>最大取扱量</u>以下であることの確認を行う。</p> <p>(核燃料物質等の使用) <u>第20条</u> ホットラボ GL は、使用施設以外の場所で核燃料物質等を使用させてはならない。 2 ホットラボ GL は、使用施設の目につきやすい場所に、使用上の注意事項を掲示する。</p> | <p>(1)新審査基準⑤7)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑤7)</p> <p>(1)新審査基準⑤7)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>(使用の表示) 第 28 条 ホットラボ GL は、核燃料物質等を使用する場合は、当該使用場所に、核燃料物質等の種類及び量を表示する。</p> <p>(核燃料物質等の仮保管) 第 29 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、作業で発生する汚染物を廃棄物として廃棄するまでの間管理区域に仮保管するとき、可燃性の廃棄物は金属容器に入れて保管する。</p> <p>(設備・機器の操作) 第 30 条 <u>社長は、第 25 条に定める災害防止上特に管理を必要とする設備・機器を操作する者（以下「操作担当者」という。）を、</u>当該設備・機器を安全に操作する技術能力を有すると認められた放射線業務従事者の中から指定する。 2 部長等は、第 25 条に定める設備・機器を除く設備・機器の操作担当者を、当該設備・機器を安全に操作する技術能力を有すると認められた放射線業務従事者から指定する。 3 第 1 項及び第 2 項で指定された操作担当者以外のものは、設備・機器を操作してはならない。ただし、所定の教育訓練を終了した者が、操作担当者の監督の下に操作を行うときはこの限りでない。 4 第 25 条に定める災害防止上特に管理を必要とする設備・機器以外の設備・機器を操作する場合は、各設備・機器の安全作業基準に準じて操作する。</p> <p>(安全装置の作動条件) 第 31 条 安全装置の作動条件は、<u>別表第 6</u>に掲げるとおりとする。 2 研究部長は、前項の安全装置を解除する場合には、保安上必要な措置を講じた上、核燃料取扱主務者及び保安管理部長の同意を得る。 3 研究部長は、前項の解除を行った場合には、その旨を従業員等に周知する。</p> <p>(警報設備の管理) 第 32 条 警報装置の作動条件は、<u>別表第 7</u>に掲げるとおりとする。 2 <u>別表第 7</u> 第 3 欄に掲げる管理者は、前項に掲げる設備の機能を維持しなければならない。</p> <p>(異常時の措置) 第 33 条 ホットラボ施設の操作に関し異常を発見した者は、直ちに研究部長又は保安管理部長に通報する。 2 研究部長又は保安管理部長は、前項の通報を受けた場合は、直ちに異常状態の把握に努め、異常事態の解消及び拡大防止に必要な応急措置を講じると共に研究部長は保安管理部長に、又は保安管理部長は研</p> | <p>(使用の表示) 第 21 条 ホットラボ GL は、核燃料物質等を使用する場合は、当該使用場所に、核燃料物質等の種類及び量を表示する。</p> <p>(核燃料物質等の仮保管) 第 22 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、作業で発生する汚染物を廃棄物として廃棄するまでの間管理区域に仮保管するとき、可燃性の廃棄物は金属容器に入れて保管する。</p> <p>(設備・機器の操作) 第 23 条 <u>部長等は、第 45 条第 2 項に定める重要度「高」「中」「低」の設備・機器を操作する者（以下「操作担当者」という。）を、</u>下部規程「保安活動に関わる要員の力量管理運用要領」に従い、当該設備・機器を安全に操作する技術能力を有すると認められた放射線業務従事者の中から指定する。 2 第 1 項で指定された操作担当者以外のものは、設備・機器を操作してはならない。ただし、所定の教育訓練を終了した者が、操作担当者の監督の下に操作を行うときはこの限りでない。 3 設備・機器を操作する場合は、各設備・機器の安全作業基準等に準じて操作する。</p> <p>(安全装置の作動条件) 第 24 条 安全装置の作動条件は、<u>別表第 4</u>に掲げるとおりとする。 2 研究部長は、前項の安全装置を解除する場合には、保安上必要な措置を講じた上、核燃料取扱主務者及び保安管理部長の同意を得る。 3 研究部長は、前項の解除を行った場合には、その旨を従業員等に周知する。</p> <p>(警報設備の管理) 第 25 条 警報装置の作動条件は、<u>別表第 5</u>に掲げるとおりとする。 2 <u>別表第 5</u> 第 3 欄に掲げる管理者は、前項に掲げる設備の機能を維持しなければならない。</p> <p><u>(地震、火災等の発生時の措置)</u> 第 26 条 <u>地震、火災発生時は下部規程「プール・セル等での安全作業」、「管理区域安全作業」、「機器・装置の操作」に従い措置を講じる。</u> 2 <u>非常事態に進展あるいは進展するおそれがある場合には、下部規程「防護措置要領」に従い防護措置を講じる。</u></p> <p>(異常時の措置) 第 27 条 ホットラボ施設の操作に関し異常を発見した者は、直ちに研究部長又は保安管理部長に通報する。 2 研究部長又は保安管理部長は、前項の通報を受けた場合は、直ちに異常状態の把握に努め、異常事態の解消及び拡大防止に必要な応急措置を講じると共に研究部長は保安管理部長に、又は保安管理部長は</p> | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、③</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①、②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑤イ)</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p>究部長に報告する。</p> <p>3 研究部長又は保安管理部長は相互に協力し異常の原因を調査し、ホットラボ施設の保安のために必要な措置を講じると共に核燃料取扱主務者及び社長に報告する。ただし、報告については、ホットラボ施設の保安に及ぼす影響がごく軽微なものを除く。</p> <p style="text-align: center;">第6章 放射線管理</p> <p>(管理区域)</p> <p><u>第34条</u> 管理区域は、別図第3から別図第5に掲げる区域とする。</p> <p>2 保安管理部長は、前項に定める管理区域を、壁、柵等の区画物によって区画するほか、標識を設けることによって明らかに他の場所と区別し、<u>第40条</u>に従い業務上立ち入る者以外の者の立入りを制限する。</p> <p>(一時管理区域)</p> <p><u>第35条</u> 研究部長は、前条第1項に示す区域以外の場所が、核燃料物質等の使用等において、一時的に法令に定める管理区域に係る値を超え、又は超えるおそれのある場合は、その区域を一時管理区域として設定する。</p> <p>2 保安管理部長は、一時管理区域の区画及び区別について前条第2項に準じて行う。</p> <p>3 研究部長は、一時管理区域を設定又は解除した場合は、核燃料取扱主務者及び社長に報告するとともに、その旨を従業員等に周知しなければならない。</p> <p>(管理区域における特別措置)</p> <p><u>第36条</u> 保安管理部長は、管理区域及び一時管理区域（以下「管理区域」という。）の一部を立入制限エリアとして設定することができる。</p> <p>2 保安管理部長は、第1項に定める立入制限エリアについて、立入制限の措置として、標識を設けるほか、柵、施錠等により他の場所と区別する。</p> | <p>研究部長に報告する。</p> <p>3 研究部長又は保安管理部長は相互に協力し異常の原因を調査し、<u>下部規程「不適合管理再発防止対策実施要領」</u>に従いホットラボ施設の保安のために必要な措置を講じる。</p> <p style="text-align: center;">第6章 放射線管理</p> <p>(管理区域)</p> <p><u>第28条</u> 管理区域は、<u>別図第3</u>から<u>別図第5</u>に掲げる区域とする。</p> <p>2 保安管理部長は、前項に定める管理区域を、壁、柵等の区画物によって区画するほか、標識を設けることによって明らかに他の場所と区別し、<u>第33条</u>に従い業務上立ち入る者以外の者の立入りを制限する。</p> <p>3 <u>管理区域は別表第6に示す管理基準値によってゾーン分けし管理する。ゾーンは別図第3から別図第5に示す。</u></p> <p>(一時管理区域)</p> <p><u>第29条</u> 研究部長は、前条第1項に示す区域以外の場所が、核燃料物質等の使用等において、一時的に法令に定める管理区域に係る値を超え、又は超えるおそれのある場合は、その区域を一時管理区域として設定する。</p> <p>2 保安管理部長は、一時管理区域の区画及び区別について前条第2項に準じて行う。</p> <p>3 研究部長は、一時管理区域を設定又は解除した場合は、核燃料取扱主務者及び社長に報告するとともに、その旨を従業員等に周知しなければならない。</p> <p>(管理区域における特別措置)</p> <p><u>第30条</u> 保安管理部長は、管理区域及び一時管理区域（以下「管理区域」という。）の一部を立入制限エリアとして設定することができる。</p> <p>2 保安管理部長は、第1項に定める立入制限エリアについて、立入制限の措置として、標識を設けるほか、柵、施錠等により他の場所と区別する。</p> <p>3 <u>立入制限エリアは次の項目に該当した場合、設定する。</u></p> <p style="margin-left: 20px;"><u>(1) 外部放射線に係る実効線量が1 mSv/週を超える場所</u></p> <p style="margin-left: 20px;"><u>(2) 放射性物質によって汚染された床や壁、その他人が触れるおそれのある物の表面密度が別表第7(1)に定める表面密度を超える場所及び超えるおそれのある場所</u></p> <p style="margin-left: 20px;"><u>(3) 空気中の放射性物質濃度が告示に定める空気中の濃度の1/10を超える場所及び超えるおそれのある場所</u></p> <p style="margin-left: 20px;"><u>(4) 上記(1)～(3)の他、保安管理部長が汚染拡大防止又は被ばく制限をするため、必要があると認めた場所</u></p> | <p>(4)記載見直し③</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑥イ)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑥イ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---|---|
| <p>3 保安管理部長は、第39条第1項第1号及び第2号に定める者（以下「放射線業務従事者等」という。）を立入制限エリアに立ち入らせる場合は、あらかじめ放射線防護上の必要な措置を講じる。</p> <p>4 保安管理部長は、第1項に定める立入制限エリアの設定又はその解除を行った場合は、核燃料取扱主務者に報告するとともに、その旨を従業員等に周知する。</p> <p>(飲食及び喫煙の禁止)</p> <p>第37条 安全管理GLは、管理区域内において飲食及び喫煙をさせてはならない。</p> <p>(周辺監視区域)</p> <p>第38条 周辺監視区域は、別図第6に掲げる区域とする。</p> <p>2 総務GLは、前項の周辺監視区域境界に柵を設けるか又は標識を掲げることにより、業務上立ち入る者以外の者の立入りを制限し、かつ、人の居住を禁止する。</p> <p>(管理上の人の区分)</p> <p>第39条 管理区域に立ち入る者について、放射線防護上、次の各号に定めるところにより区分する。</p> <p>(1) 放射線業務従事者とは核燃料物質等の使用、廃棄、運搬、保管又はこれに付随する業務に従事する者であって、管理区域に立ち入る者をいう。</p> <p>(2) 一時立入者とは前号に定める以外の者で管理区域に一時的に立ち入る者をいう。</p> <p>2 保安管理部長は、放射線業務従事者を指定及び解除する。</p> <p>3 保安管理部長は、一時立入者を指定する。</p> <p>4 保安管理部長は、従業員以外の者に対し、第2項に定める指定を行う場合は、あらかじめ本人の被ばく歴の報告を提出させ、その内容を確認した後に指定する。</p> <p>(管理区域の出入り管理)</p> <p>第40条 保安管理部長は、前条第2項及び第3項により指定された者以外の者を管理区域に立ち入らせない措置を講じる。</p> <p>2 保安管理部長は、一時立入者に、放射線業務従事者である従業員をつけ指示に従わせる。</p> <p>3 保安管理部長は、管理区域に立入る者に、次の各号に掲げる事項を遵守させる。</p> <p><u>(1) あらかじめ定められた出入口より出入すること</u></p> <p><u>(2) 個人線量計を着用すること</u></p> <p><u>(3) 専用の作業着、その他必要な保護具を着用すること</u></p> <p><u>(4) 退出するときは、身体、衣服等の汚染検査を行い、汚染が検出されたときは除去のための措置をとること</u></p> <p><u>(5) 業務上必要でない物品を持ち込まないこと</u></p> | <p>4 保安管理部長は、第32条第1項第1号及び第2号に定める者（以下「放射線業務従事者等」という。）を立入制限エリアに立ち入らせる場合は、あらかじめ放射線防護上の必要な措置を講じる。</p> <p>5 保安管理部長は、第1項に定める立入制限エリアの設定又はその解除を行った場合は、核燃料取扱主務者に報告するとともに、その旨を従業員等に周知する。</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>(周辺監視区域)</p> <p>第31条 周辺監視区域は、別図第6に掲げる区域とする。</p> <p>2 総務GLは、前項の周辺監視区域境界に柵を設けるか又は標識を掲げることにより、業務上立ち入る者以外の者の立入りを制限し、かつ、人の居住を禁止する。</p> <p>(管理上の人の区分)</p> <p>第32条 管理区域に立ち入る者について、放射線防護上、次の各号に定めるところにより区分する。</p> <p>(1) 放射線業務従事者とは核燃料物質等の使用、廃棄、運搬、保管又はこれに付随する業務に従事する者であって、管理区域に立ち入る者をいう。</p> <p>(2) 一時立入者とは前号に定める以外の者で管理区域に一時的に立ち入る者をいう。</p> <p>2 保安管理部長は、放射線業務従事者を指定及び解除する。</p> <p>3 保安管理部長は、一時立入者を指定する。</p> <p>4 保安管理部長は、従業員以外の者に対し、第2項に定める指定を行う場合は、あらかじめ本人の被ばく歴の報告を提出させ、その内容を確認した後に指定する。</p> <p>(管理区域の出入り管理)</p> <p>第33条 保安管理部長は、前条第2項及び第3項により指定された者以外の者を管理区域に立ち入らせない措置を講じる。</p> <p>2 保安管理部長は、一時立入者に、放射線業務従事者である従業員をつけ指示に従わせる。</p> <p>3 保安管理部長は、管理区域に立入る者に、次の各号に掲げる事項を遵守させる。</p> <p><u>(1) 管理区域に出入りする場合は指定された経路を経由すること</u></p> <p><u>(2) 必ず指定されたガラスバッジ及びポケット線量計を着用すること、また安全管理GLが必要と認めた場合には、アラーム付きポケット線量計等の個人被ばく線量計を併用すること</u></p> <p><u>(3) 管理区域内において、飲食及び喫煙等、核燃料物質等を体内に摂取するおそれのある行為をしないこと</u></p> <p><u>(4) 業務上必要でない物品を持ち込まないこと</u></p> <p><u>(5) 専用の作業衣、履物、保護具等を着用すること</u></p> <p><u>(6) 作業衣等を着用したまま汚染検査室を退出しないこと</u></p> <p><u>(7) 管理区域から退出するときは、原則、汚染検査室においてハンドフットクロスモニタによる汚染検査を行い、汚染が検出されたときは除去のための措置を取ること</u></p> <p><u>ハンドフットクロスモニタによる汚染検査が出来ない場合はサーベイメータによる汚染検査を行うこと</u></p> | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑥ア)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑥カ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|--|
| <p>(管理区域外への物品の持出)</p> <p>第41条 安全管理GLは、管理区域から物品（核燃料物質等を除く。）を持ち出す場合は、その物品の表面密度が、<u>別表第8(1)</u>に掲げる値以下であることを確認する。</p> <p>(作業に伴う放射線管理)</p> <p>第42条 管理区域内で作業を行う者は、作業による線量及び作業区域の放射線環境に応じた作業方法等を記載した<u>放射線作業計画</u>を作成し、保安管理部長の承認を得る。その実施にあたっては、計画に記載した放射線防護上の措置を講じる。</p> <p>2 核燃料取扱主務者は、<u>作業計画</u>の作成及び実施に際し、指導・助言を行う。</p> <p>(緊急作業上の被ばく管理)</p> <p>第43条 研究部長は、ホットラボ施設において核燃料物質等による災害が発生し、又は発生するおそれのあるときで、緊急上やむを得ない場合には、社長の承認を得た上で、放射線業務従事者（女子については、妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者に限る。）を告示に定める緊急作業に係る線量限度を超えない範囲において緊急作業に従事させることができる。</p> <p>2 研究部長は、放射線業務従事者を前項の緊急作業に従事させる場合は、保安管理部長及び核燃料取扱主務者との協議の上、<u>緊急作業計画</u>を作成し、社長の承認を受ける。ただし、人命の救助のために緊急を要する場合はこの限りでない。</p> <p>3 研究部長は、前項ただし書の規定により緊急作業を行った場合は、保安管理部長、核燃料取扱主務者及び社長に速やかに報告する。</p> <p>4 総務GLは、緊急作業に従事する放射線業務従事者に対し、緊急作業に従事する間は毎月末日及び緊急作業終了後に医師による健康診断を受診させる。</p> | <p><u>(8) 前号における測定結果が、別表第7(2)に掲げる値を超える場合は、安全管理グループへ連絡し、その指示に従うこと</u></p> <p><u>(9) ローディングドックのシャッター（外部から）を経由する場合は下部規程「管理区域の入退域管理に係る基準」に従うこと</u></p> <p><u>4 安全管理GLは前項(8)号に定める表面密度の管理値を超えた場合の措置を定めておく。</u></p> <p><u>(管理区域内ゾーン間の物品の移動)</u></p> <p>第34条 <u>レッドゾーン、アンバーゾーンからグリーンゾーン及びレッドゾーンからアンバーゾーンへの物品の移動時はあらかじめ汚染検査を行い、汚染がないことをその作業に関する責任者（以下、「作業責任者」という。）が確認して移動すること。</u></p> <p>(管理区域外への物品の持出)</p> <p>第35条 安全管理GLは、管理区域から物品（核燃料物質等を除く。）を持ち出す場合は、その物品の表面密度が、<u>別表第7(2)</u>に掲げる値以下であることを確認する。</p> <p>2 <u>安全管理GLは前項に定める値を超えた場合、下部規程「管理区域への物品搬入及び管理区域からの物品搬出に係る基準」に従い措置を講じる。</u></p> <p>3 <u>管理区域から物品（核燃料物質等を除く。）を持ち出す際は事前に管理区域からの搬出に係る手続きを行う。</u></p> <p>(作業に伴う放射線管理)</p> <p>第36条 管理区域内で作業を行う際には、<u>作業責任者が</u>、作業による線量及び作業区域の放射線環境に応じた作業方法等を記載した<u>管理区域内作業計画書</u>を作成し、<u>研究部長、関連GLの審査を経て</u>保安管理部長の承認を得る。その実施にあたっては、計画に記載した放射線防護上の措置を講じる。</p> <p>2 核燃料取扱主務者は、<u>管理区域内作業計画書</u>の作成及び実施に際し、指導・助言を行う。</p> <p>(緊急作業上の被ばく管理)</p> <p>第37条 研究部長は、ホットラボ施設において核燃料物質等による災害が発生し、又は発生するおそれのあるときで、緊急上やむを得ない場合には、社長の承認を得た上で、放射線業務従事者（女子については、妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者に限る。）を告示に定める緊急作業に係る線量限度を超えない範囲において緊急作業に従事させることができる。</p> <p>2 研究部長は、放射線業務従事者を前項の緊急作業に従事させる場合は、保安管理部長及び核燃料取扱主務者との協議の上、<u>緊急作業計画書</u>を作成し、社長の承認を受ける。ただし、人命の救助のために緊急を要する場合はこの限りでない。</p> <p>3 <u>前項の緊急作業計画書には内部被ばく防止対策を含めること。</u></p> <p>4 研究部長は、前項ただし書の規定により緊急作業を行った場合は、保安管理部長、核燃料取扱主務者及び社長に速やかに報告する。</p> <p>5 総務GLは、緊急作業に従事する放射線業務従事者に対し、緊急作業に従事する間は毎月末日及び緊急作業終了後に医師による健康診断を受診させる。</p> | <p>(1)新審査基準⑥ウ)</p> <p>(1)新審査基準⑥ウ)</p> <p>(4)記載見直し① (4)記載見直し① (4)記載見直し③</p> <p>(1)新審査基準⑥ウ)</p> <p>(4)記載見直し①、② (4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(1)新審査基準⑫イ)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|--|
| <p>(請負会社等の放射線防護)</p> <p>第 44 条 保安管理部長は、管理区域内の作業を請負会社等に行わせる場合は、請負会社等に対し、第 34 条から第 43 条に準じた放射線防護上の必要事項を遵守させる措置を講じる。</p> <p style="text-align: center;">第 7 章 放射線測定</p> <p>(外部放射線に係る線量率等の測定)</p> <p>第 45 条 安全管理 GL は、管理区域内における線量率等の管理のため、別表第 9に定めるところにより、測定する。</p> <p>2 安全管理 GL は、別表第 10に従って周辺監視区域の境界付近における線量率を測定する。</p> <p>3 第 1 項及び第 2 項の測定において放射線測定器を用いて測定することが著しく困難である場合には、計算によってその値を算出することができる。</p> <p>4 安全管理 GL は、第 1 項、第 2 項及び第 3 項の測定及び確認により、異常が認められた場合には、直ちに原因の調査及び原因の除去等の措置を講じる。</p> <p>5 安全管理 GL は、前項の調査及び講じた措置について、保安管理部長、核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p>(床、壁等の除染)</p> <p>第 46 条 研究部長は、別表第 8 (2)に掲げる値を超えないように管理する。</p> <p>2 研究部長は、別表第 8 (2)に掲げる値を超えるような、若しくは予期しない汚染を床、壁等に発生させた場合又は発見した場合は、汚染拡大防止の応急措置を講じるとともに、保安管理部長に連絡する。</p> <p>3 保安管理部長は、汚染状況の確認を行うとともに研究部長を指導し、除染が必要となった場合は、汚染の除去又は汚染の拡大防止措置等、放射線防護上の措置を講じさせる。</p> <p>4 研究部長は、前項の措置結果について、保安管理部長の確認を受ける。</p> <p>5 保安管理部長は、第 3 項及び第 4 項の確認の内容について、核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p>(線量の評価)</p> <p>第 47 条 保安管理部長は、従業員の放射線業務従事者等に係る線量について、別表第 11に定める項目、頻度に従って評価し、法令に定める線量限度を超えていないことを確認する。</p> <p>2 保安管理部長は、前項の評価の結果を、核燃料取扱主務者及び社長に報告するとともに、当該放射線業務従事者に通知しなければならない。</p> <p>3 保安管理部長は、第 1 項の線量が著しく過大であった場合は、原因を調査し、必要があれば適切な措置を講じ、原因の調査の結果及び講じた措置について、核燃料取扱主務者及び社長に報告しなければならない。</p> <p>(放射線測定器の管理)</p> <p>第 48 条 保安管理部長は、別表第 12第 1 欄に掲げる放射線測定器を確保する。</p> | <p>(請負会社等の放射線防護)</p> <p>第 38 条 保安管理部長は、管理区域内の作業を請負会社従業員等に行わせる場合は、請負会社従業員等に対し、第 28 条から第 37 条に準じた放射線防護上の必要事項を遵守させる措置を講じる。</p> <p style="text-align: center;">第 7 章 放射線測定</p> <p>(外部放射線に係る線量率等の測定)</p> <p>第 39 条 安全管理 GL は、管理区域内における線量率等の管理のため、別表第 8に定めるところにより、測定する。</p> <p>2 安全管理 GL は、別表第 9に従って周辺監視区域の境界付近における線量率を測定する。</p> <p>3 第 1 項及び第 2 項の測定において放射線測定器を用いて測定することが著しく困難である場合には、計算によってその値を算出することができる。</p> <p>4 安全管理 GL は、第 1 項、第 2 項及び第 3 項の測定及び確認により、異常が認められた場合には、直ちに原因の調査及び原因の除去等の措置を講じる。</p> <p>5 安全管理 GL は、前項の調査及び講じた措置について、保安管理部長、核燃料取扱主務者、放射線安全委員会委員長及び社長に報告する。</p> <p>(床、壁等の表面密度の評価)</p> <p>第 40 条 研究部長は、別表第 7 (1)に掲げる値を超えないように管理する。</p> <p>2 研究部長は、別表第 7 (1)に掲げる値を超えるような、若しくは予期しない汚染を床、壁等に発生させた場合又は発見した場合は、汚染拡大防止の応急措置を講じるとともに、保安管理部長に連絡する。</p> <p>3 保安管理部長は、汚染状況の確認を行うとともに研究部長を指導し、除染が必要となった場合は、汚染の除去又は汚染の拡大防止措置等、放射線防護上の措置を講じさせる。</p> <p>4 研究部長は、前項の措置結果について、保安管理部長の確認を受ける。</p> <p>5 保安管理部長は、第 3 項及び第 4 項の確認の内容について、核燃料取扱主務者、放射線安全委員会委員長及び社長に報告する。</p> <p>(線量の評価)</p> <p>第 41 条 保安管理部長は、従業員の放射線業務従事者等に係る線量について、別表第 10に定める個人線量計、検査項目及び頻度に従って評価し、法令に定める線量限度を超えていないことを確認する。</p> <p>2 保安管理部長は、前項の評価の結果を、核燃料取扱主務者、放射線安全委員会委員長及び社長に報告するとともに、当該放射線業務従事者に通知しなければならない。</p> <p>3 保安管理部長は、第 1 項の線量が著しく過大であった場合は、原因を調査し、必要があれば適切な措置を講じ、原因の調査の結果及び講じた措置について、核燃料取扱主務者、放射線安全委員会委員長及び社長に報告しなければならない。</p> <p>(放射線測定器の管理)</p> <p>第 42 条 保安管理部長は、別表第 11第 1 欄に掲げる放射線測定器を確保する。</p> | <p>(4)記載見直し①、② (4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し② (4)記載見直し① (4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し①、② (4)記載見直し② (4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>2 保安管理部長は、第50条に定める定期的な自主検査として、第1項に定める放射線測定器のうち、エリアモニタ、スタック排気モニタ、<u>ハンドフットクロスモニタ及びサーベイメータ並びにαβ線放射能測定装置</u>の校正を年1回行う。</p> <p>3 保安管理部長は、<u>前項</u>の結果を核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p style="text-align: center;">第8章 <u>保守管理</u></p> <p>(施設の巡視及び点検)</p> <p>第49条 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、別表第13第1欄に掲げる区分に従い、それぞれ同表第2欄及び第3欄に掲げる設備区分、点検項目について、それぞれ同表第4欄に掲げる点検頻度で、施設の巡視及び点検を行う。</p> <p>2 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、前項の巡視及び点検の結果、異常を認めた場合は、その原因及び状況を調査し、必要な処置を講じる。</p> <p>3 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、前項の処置について、核燃料取扱主務者及び必要に応じ社長に報告する。</p> <p>(施設の定期的な自主検査)</p> <p>第50条 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、別表第14に定める施設の定期的な自主検査を年1回以上行う。</p> <p>2 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、前項の結果を、又、異常を認めた場合は、修理等の処置を講じるとともに、処置の結果を核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p>(修理及び改造)</p> <p>第51条 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、ホットラボ施設に係る建家又は設備若しくは機器の修理を行おうとする場合に、その修理がホットラボ施設の保安に影響があると認められたときは、あらかじめ核燃料取扱主務者及び社長の同意を得る。</p> <p>2 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、ホットラボ施設に係る建家又は設備若しくは機器の改造を行おうとする場合に、その改造がホットラボ施設の保安に影響があると認められたときは、あらかじめ核燃料取扱主務者及び社長の同意を得る。</p> <p>3 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、第1項の修理及び第2項の改造を行おうとする場合は、あらかじめ許認可申請手続きの必要性を確認する。</p> <p>4 保安管理部長、研究部長及び管理部長は、第1項の修理及び第2項の改造を終えたときは、その状況に</p> | <p>2 保安管理部長は、第1項に定める放射線測定器のうち、エリアモニタ、<u>インセルモニタ、可搬式エリアモニタ、室内空気汚染モニタ、スタック排気モニタ、放射能測定装置、サーベイメータ、ハンドフットクロスモニタ、ポケット線量計、アラーム付きポケット線量計及びホールボディカウンタ</u>の校正を年1回以上行う。</p> <p>3 <u>ガラスバッジは、放射線個人線量測定機関の認定を受けた業者から供給されるものを使用する。</u></p> <p>4 <u>安全管理GLは、第1項に定める放射線測定器の巡視、点検、検査及び予防保全を、第45条に従い実施する。</u></p> <p>5 保安管理部長は、<u>第2項及び第4項</u>の結果を核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p><u>(放射線測定器による測定及び評価方法)</u></p> <p><u>第43条 安全管理GLは別表第11第1欄に掲げる放射線測定器を用いて、第4欄に掲げる測定項目を第5欄に掲げる方法にて測定及び評価を行う。</u></p> <p style="text-align: center;">第8章 <u>施設管理</u></p> <p><u>(施設管理方針)</u></p> <p><u>第44条 社長は、ホットラボ施設の保全のために行う設計、工事、巡視、点検、検査その他の施設の管理（以下、「施設管理」という。）に関する方針（以下、「施設管理方針」という。）を策定する。</u></p> <p><u>(施設管理目標及び施設管理実施計画)</u></p> <p><u>第45条 研究部長、保安管理部長及び管理部長（以下、「各部長」という。）は、施設管理方針に従って達成すべき施設管理の目標（以下、「施設管理目標」という。）を策定する。</u></p> <p>2 <u>施設管理の対象となる設備・機器系統は、公衆及び放射線業務従事者への影響度等を考慮して次のように分類（以下、「安全上の重要度分類」という。）する。</u></p> <p>(1) <u>重要度「高」</u></p> <p>イ) <u>故障等により機能不全となった場合に公衆および放射線業務従事者へ直ちに影響を及ぼすおそれのある設備等</u></p> <p>ロ) <u>公衆および放射線業務従事者に直ちに影響を及ぼすおそれのある異常事象を検知する設備等</u></p> <p>(2) <u>重要度「中」</u></p> <p>イ) <u>故障等により機能不全となった場合に公衆へ直ちに影響を及ぼすことはないが、放射線業務従事者へ直ちに影響を及ぼすおそれのある設備等</u></p> <p>ロ) <u>公衆に直ちに影響を及ぼすおそれのある異常事象を検知するものではないが、放射線業務従事者に直ちに影響を及ぼすおそれのある異常事象を検知する設備等</u></p> <p>(3) <u>重要度「低」</u></p> <p>イ) <u>故障等により機能不全となった場合に公衆および放射線業務従事者へ直ちに影響を及ぼすおそれのない設備等</u></p> <p>ロ) <u>公衆および放射線業務従事者に直ちに影響を及ぼすおそれのない事象を検知する設備等</u></p> <p>3 <u>ホットラボGL、安全管理GL、工務GL、総務GLは、施設管理目標に従い、設計、工事、巡視、点検、検査及び予防保全を計画的かつ継続的に達成するため、以下の事項を安全上の重要度分類を考慮して重要度分類を考慮して下部規程「施設管理実施計画」に定めて実施する。</u></p> | <p>(1)新審査基準⑨ア)</p> <p>(1)新審査基準⑨ア)</p> <p>(1)新審査基準⑨ア)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑨ア)</p> <p>(1)新審査基準⑮イ)</p> <p>(1)新審査基準⑮ウ)</p> <p>(以下本頁では本変更理由のみ)</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>ついて、核燃料取扱主務者及び社長に報告する。</p> <p>第9章 核燃料物質等の受け渡し、貯蔵、運搬</p> <p>(核燃料物質等の受渡し管理)</p> <p>第52条 ホットラボGLは、核燃料物質の受渡しを行う場合は、あらかじめ臨界上の安全を確認し、核燃料取扱主務者の同意及び保安管理部長の承認を得る。</p> <p>2 ホットラボGLは、前項の受渡しを行う場合は、必要な保安措置が講じられていることを確認する。</p> <p>3 ホットラボGLは、第1項の受渡しが終了した場合は、保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> <p>4 ホットラボGLは、核燃料物質等の受渡しを行う場合は、あらかじめ使用場所の放射能の制限量を超えないことを確認し、放射線上の安全を確保する。</p> | <p>(1) <u>施設管理実施計画の始期及び期間に関すること。</u></p> <p>(2) <u>ホットラボ施設の設計及び工事に関すること。</u></p> <p>(3) <u>ホットラボ施設の巡視に関すること。</u></p> <p>(4) <u>ホットラボ施設の点検、検査等（以下、「点検等」という。）の方法、実施頻度及び時期に関すること。</u></p> <p>(5) <u>ホットラボ施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置に関すること。</u></p> <p>(6) <u>ホットラボ施設の設計、工事、巡視及び点検等の結果の確認及び評価の方法に関すること。</u></p> <p>(7) <u>(6)の確認及び評価の結果を踏まえて実施すべき処置に関すること。</u></p> <p>(8) <u>ホットラボ施設の施設管理に関する記録に関すること。</u></p> <p><u>(施設管理の継続的改善)</u></p> <p>第46条 <u>社長及び各部長は、それぞれ施設管理方針及び施設管理目標を、施設管理の全体の状況を踏まえ、定期的に評価し改善を検討する。</u></p> <p>2 <u>施設管理実施計画は、保安活動に係る施設管理の実施状況等を評価し、その結果を次年度の実施計画に反映する。但し、1年以内であっても必要に応じて評価し、見直すこととする。その場合であっても新たに評価期間の始点は変更しない。</u></p> <p><u>(特別な施設管理の実施)</u></p> <p>第47条 <u>ホットラボ施設の操作を相当期間行わない場合その他施設管理を行う観点から特別な状態にある場合においては、下部規程「施設管理規程」に従い、特別な施設管理を実施する。</u></p> <p><u>(使用前検査)</u></p> <p>第48条 <u>施設、構造物及び設備・機器系統（以下、「施設等」という。）の新規導入または工事等について、使用の許可又は使用変更の許可を取得した後、下部規程「使用施設等の使用前検査実施要領」に従い、使用前検査を実施する。</u></p> <p>2 <u>使用前検査は、対象となる施設等の工事等又は点検に関与していない者が検査の確認を行う。</u></p> <p>3 <u>使用前検査の実施後、使用前確認の申請書を原子力規制委員会へ提出し、使用前確認証の交付を受けた後に当該施設等を使用する。</u></p> <p>第9章 核燃料物質等の受け渡し、貯蔵、運搬</p> <p>(核燃料物質等の受渡し管理)</p> <p>第49条 ホットラボGLは、核燃料物質の受渡しを行う場合は、あらかじめ臨界上の安全を確認し、核燃料取扱主務者の同意及び保安管理部長の承認を得る。</p> <p>2 ホットラボGLは、前項の受渡しを行う場合は、必要な保安措置が講じられていることを確認する。</p> <p>3 ホットラボGLは、第1項の受渡しが終了した場合は、保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> <p>4 ホットラボGLは、核燃料物質等の受渡しを行う場合は、あらかじめ使用場所の放射能の制限量を超えないことを確認し、放射線上の安全を確保する。</p> | <p>(1) 新審査基準⑮㉞)</p> <p>(1) 新審査基準⑮㉞)</p> <p>(1) 新審査基準⑮㉞)</p> <p>(1) 新審査基準⑮㉞)</p> <p>(4) 記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---|---|
| <p>(核燃料物質等の貯蔵)</p> <p>第 53 条 ホットラボ GL は、貯蔵施設以外の場所に核燃料物質等を保管させてはならない。</p> <p>2 ホットラボ GL は、貯蔵施設において別表第 15-1に示す年間予定使用量のうち、最大存在量以上の核燃料物質等を保管させてはならない。また、別表第 15-2に示す、核燃料物質等の最大収納量以上の核燃料物質等を貯蔵させてはならない。</p> <p>3 ホットラボ GL は、貯蔵施設に、核燃料物質等の種類、貯蔵量、注意事項、その他保安上必要な事項を掲示する。</p> <p>4 ホットラボ GL は、核燃料物質等を搬入する場合その他必要がある場合を除き、貯蔵施設には、施錠又は立入制限の措置を講じる。</p> <p>(周辺監視区域内に係る運搬)</p> <p>第 54 条 輸送 GL は、周辺監視区域内において核燃料物質等を運搬（周辺監視区域外からの搬入及び周辺監視区域外への搬出は除く。）するときは、標識の取り付け等、法に定める措置を講じるとともに、あらかじめ、核燃料取扱主務者の同意並びに研究部長の承認を得る。</p> <p>2 輸送 GL は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ核燃料物質等を運搬しようとするときは、前項の措置に従うほか、当該研究所との間の取り決めに適合するように措置しなければならない。</p> <p>(周辺監視区域外に係る運搬)</p> <p>第 55 条 輸送 GL は、周辺監視区域外へ核燃料物質等を運搬するとき、及び周辺監視区域外から搬入するときは、標識の取り付け等、法に定める措置を講じるとともに、あらかじめ、研究部長の確認、核燃料取扱主務者の同意並びに社長の承認を得る。</p> | <p>(核燃料物質等の貯蔵)</p> <p>第 50 条 ホットラボ GL は、臨界の発生防止を目的に、貯蔵施設以外の場所に核燃料物質等を保管させてはならない。</p> <p>2 ホットラボ GL は、貯蔵施設において別表第 12に示す年間予定使用量のうち、最大存在量以上の核燃料物質等を保管させてはならない。また、不要な被ばくの低減を目的に、別表第 13に示す、核燃料物質等の最大収納量以上の核燃料物質等を貯蔵させてはならない。</p> <p>3 ホットラボ GL は、貯蔵施設に、核燃料物質等の種類、貯蔵量、注意事項、その他保安上必要な事項を掲示する。</p> <p>4 ホットラボ GL は、核燃料物質等を搬入する場合その他必要がある場合を除き、貯蔵施設には、施錠又は立入制限の措置を講じる。</p> <p>(周辺監視区域内に係る運搬)</p> <p>第 51 条 輸送 GL は、周辺監視区域内において核燃料物質等を運搬（周辺監視区域外からの搬入及び周辺監視区域外への搬出は除く。）するときは、臨界の発生を防止する措置及び標識の取り付け等、下部規程「核燃料物質等周辺監視区域内運搬申請書／承認書の作成要領」に定める措置を講じるとともに、あらかじめ、核燃料取扱主務者の同意並びに研究部長の承認を得る。</p> <p>2 輸送 GL は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ核燃料物質等を運搬しようとするときは、前項の措置に従うほか、当該研究所との間の取り決めに適合するように措置しなければならない。</p> <p>(周辺監視区域外に係る運搬)</p> <p>第 52 条 輸送 GL は、周辺監視区域外へ核燃料物質等を運搬するとき、及び周辺監視区域外から搬入するときは、臨界の発生を防止する措置及び標識の取り付け等、下部規程「核燃料物質等輸送承認申請書／承認書の作成要領」に定める措置を講じるとともに、あらかじめ、研究部長の確認、核燃料取扱主務者の同意並びに社長の承認を得る。</p> | <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準⑩ア)</p> <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準⑩ア)</p> <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準⑩ア)</p> <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準⑩ア)</p> <p>(4)記載見直し③ (1)新審査基準⑩ア)</p> <p>(4)記載見直し① (4)記載見直し③</p> |
| <p style="text-align: center;">第 10 章 放射性廃棄物の管理</p> <p>(気体状の放射性廃棄物の廃棄)</p> <p>第 56 条 ホットラボ GL は、ホットラボ施設から気体状の放射性廃棄物（以下「気体廃棄物」という。）を廃棄する場合は、周辺監視区域外の空気中の放射性物質の 3 月間についての平均濃度が、告示で定める周辺監視区域の境界における空気中の放射性物質の濃度限度を超えないように廃棄する。</p> <p>2 安全管理 GL は、核燃料物質等の使用時は排気口における排気中の放射性物質の濃度を排気監視設備によって測定する。</p> <p>3 安全管理 GL は、放射性物質の放出量が別表第 16に定める放出管理目標値を超えないことを確認する。</p> <p>4 安全管理 GL は、第 2 項の測定結果及び放射性物質の放出結果を保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> | <p style="text-align: center;">第 10 章 放射性廃棄物の管理</p> <p>(気体状の放射性廃棄物の廃棄)</p> <p>第 53 条 ホットラボ GL は、ホットラボ施設から気体状の放射性廃棄物（以下「気体廃棄物」という。）を廃棄する場合は、排気口における排気中の放射性物質の 3 月間についての平均濃度が、告示で定める周辺監視区域の境界における空気中の放射性物質の濃度限度を超えないように廃棄する。</p> <p>2 安全管理 GL は、排気口における排気中の放射性物質の濃度を排気の都度（連続して排気する場合は連続して）排気監視設備によって測定する。</p> <p>3 安全管理 GL は、排気口における排気中の放射性物質の 3 月間についての平均濃度が告示で定める周辺監視区域の境界における空気中の放射性物質の濃度限度を超えないこと及び放射性物質の放出量が別表第 14に定める放出管理目標値を超えないことを確認する。</p> <p>4 安全管理 GL は、第 2 項の測定結果及び放射性物質の放出結果を保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> | <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準⑦ア)</p> <p>(1)新審査基準⑦ア)</p> <p>(1)新審査基準⑦ア) (4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|--|
| <p>(液体状の放射性廃棄物の廃棄)</p> <p>第 57 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、液体廃棄物について、別表第 17 に定めるところにより、処理する。</p> <p>2 工務 GL は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所に液体廃棄物を運び、処理を委託する場合は、引き渡す廃水中の放射性物質濃度の測定を安全管理 GL に依頼する。</p> <p>3 安全管理 GL は、第 2 項の測定結果を工務 GL、保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> <p>(固体状の放射性廃棄物の廃棄)</p> <p>第 58 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、固体廃棄物の廃棄を行う場合は、次の各号に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>(1) 排出される固体廃棄物を不燃性及び可燃性に分別し、別表第 18 に示す線量率又は放射性物質の含有量に応じて区分したのち、容器に封入梱包する。また、容器ごとに廃棄物の内容、主な核種とその量、線量率を明示する。</p> <p>(2) 工務 GL は、前号の固体廃棄物について、別表第 18 第 3 欄に掲げる方法により処理を行う。</p> <p>(3) 可燃性の固体廃棄物を保管する場合は、金属容器に収納する。</p> <p style="text-align: center;">第 11 章 非常時の措置</p> <p>(非常時の組織)</p> <p>第 59 条 社長は、NFD の通常組織では対応できない非常時に備え、災害の発生又は拡大防止を図るための非常時対応組織（以下、「防護活動の組織」という）をあらかじめ定めておく。</p> | <p>(液体廃棄物の廃棄)</p> <p>第 54 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、液体廃棄物について、別表第 15 に定めるところにより、処理する。</p> <p>2 工務 GL は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所に液体廃棄物を運び、処理を委託する場合は、引き渡す廃水中の放射性物質濃度の測定を安全管理 GL に依頼する。</p> <p>3 安全管理 GL は、第 2 項の測定結果を工務 GL、保安管理部長及び核燃料取扱主務者に報告する。</p> <p>4 輸送 GL は、液体廃棄物の運搬にあたっては第 51 条又は第 52 条に従う。</p> <p>(固体廃棄物の廃棄)</p> <p>第 55 条 ホットラボ GL 及び工務 GL は、固体廃棄物の廃棄を行う場合は、次の各号に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>(1) 排出される固体廃棄物を不燃性及び可燃性に分別し、別表第 16 に示す線量率又は放射性物質の含有量に応じて区分したのち、容器に封入梱包する。また、容器ごとに廃棄物の内容、主な核種とその量、線量率を明示する。</p> <p>(2) 工務 GL は、前号の固体廃棄物について、別表第 16 第 4 欄に掲げる内容物に応じて同表第 5 欄に示す方法により定められた容器に収納し、同表第 6 欄に掲げる方法により処理を行う。</p> <p>(3) 可燃性の固体廃棄物を保管する場合は、金属容器に収納する。</p> <p>(4) セル外に固体廃棄物を保管する場合には、その保管容器の表面密度が、別表第 7(1)の表面密度以下とする。</p> <p>2 輸送 GL は、固体廃棄物の運搬にあたっては第 51 条又は第 52 条に従う。</p> <p>(放射性廃棄物でない廃棄物の搬出)</p> <p>第 56 条 安全管理 GL は管理区域内において設置された資材等又は使用された物品を「核燃料物質及び核燃料物質によって汚染されたもので廃棄しようとするもの」でない廃棄物（以下「放射性廃棄物でない廃棄物」という。）として、管理区域外に搬出する場合は、次に掲げる事項を確認する。</p> <p>(1) 設置された資材等については、適切な汚染防止対策が行われていることを確認した上で、適切に管理された使用履歴、設置状況の記録等により汚染がないこと</p> <p>(2) 使用された物品に関し、適切に管理された使用履歴の記録等により、汚染がないこと</p> <p>(3) 管理区域から搬出するまでの間、他の資材等及び物品との混在防止の措置が講じられていること</p> <p>(4) 専用の測定器によって、「念のための測定」の結果、正味の測定値（計数率）がバックグラウンド変動を考慮した理論値限界曲線の検出限界値未満であること</p> <p style="text-align: center;">第 11 章 非常時の措置</p> <p>(非常時の組織)</p> <p>第 57 条 社長は、NFD の通常組織では対応できない非常時に備え、災害の発生又は拡大防止を図るための非常時対応組織（以下、「防護活動の組織」という。）及びその実施すべき事項を下部規程「防護措置要領」にあらかじめ定めておく。</p> | <p>(4) 記載見直し②</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(4) 記載見直し②</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(1) 新審査基準①⑦)</p> <p>(1) 新審査基準⑧⑦)</p> <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し②, ③</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|--|
| <p>(非常時要員の確保)</p> <p>第60条 社長は、前条に定める防護活動の組織の要員をあらかじめ確保しておく。</p> <p>2 社長は、第1項の要員のうちから次の各号の要件を満足する放射線業務従事者を緊急作業に従事させるための要員として選定する。</p> <p>(1) 第20条第4項に定める教育を受けた上で、緊急作業に従事する意思がある旨を社長に書面で申し出た者であること。</p> <p>(2) 第20条第7項に定める緊急作業についての訓練を受けた者であること。</p> <p>(3) 実効線量について250mSvを線量限度とする緊急作業に従事する要員は、「原子力災害対策特別措置法」第8条第3項に規定する原子力防災要員、同法第9条第1項に規定する原子力防災管理者又は同法同条第3項に規定する副原子力防災管理者であること。</p> <p>(非常時対応資機材の整備)</p> <p>第61条 社長は、防護活動の組織が活動するにあたって必要な放射線防護用機器、通信連絡機器等をあらかじめ準備しておく。</p> <p>(通報系統)</p> <p>第62条 社長は、非常事態が生じたときのNFD内部（見学者等の外来者を含む）及び外部関係機関への通報系統をあらかじめ定めておく。</p> <p>(通 報)</p> <p>第63条 ホットラボ施設に係る非常事態の発生、又はそのおそれのあることを発見した従業員は、直ちに総務GLに通報する。</p> <p>2 総務GLは、前項の通報を受けた場合、直ちに管理部長、保安管理部長、核燃料取扱主務者及び社長に通報しなくてはならない。</p> <p>3 総務GLは、直ちに前条に定める通報系統に従い外部関係機関に通報しなければならない。</p> <p>(非常事態の発令)</p> <p>第64条 社長は、前条第2項に定める通報を受け非常事態に該当すると判断した場合は、直ちに非常事態を宣言し、社長を本部長とする防護本部を設置する。</p> <p>(非常事態における活動)</p> <p>第65条 防護本部は、人命の救助、非常事態の原因除去、拡大防止に係る防護活動を行う。</p> <p>(非常事態の解除)</p> <p>第66条 社長は、非常事態の原因が除去され、拡大防止等に係る防護活動が終了したと判断した場合は、防護本部を解散し、非常事態を解除する。</p> | <p>(非常時要員の確保)</p> <p>第58条 社長は、前条に定める防護活動の組織の要員をあらかじめ確保しておく。</p> <p>2 社長は、第1項の要員のうちから次の各号の要件を満足する放射線業務従事者を緊急作業に従事させるための要員として選定する。</p> <p>(1) 第15条第6項に定める教育を受けた上で、緊急作業に従事する意思がある旨を社長に書面で申し出た者であること。</p> <p>(2) 第15条第9項に定める緊急作業についての訓練を受けた者であること。</p> <p>(3) 実効線量について250 mSvを線量限度とする緊急作業に従事する要員は、「原子力災害対策特別措置法」第8条第3項に規定する原子力防災要員、同法第9条第1項に規定する原子力防災管理者又は同法同条第3項に規定する副原子力防災管理者であること。</p> <p><u>(緊急時における核燃料物質の使用)</u></p> <p>第59条 <u>緊急時における核燃料物質の使用に関する処置を下部規程「防護措置要領」に定める。</u></p> <p>(非常時対応資機材の整備)</p> <p>第60条 社長は、防護活動の組織が活動するにあたって必要な放射線防護用機器、通信連絡機器等をあらかじめ準備しておく。</p> <p>(通報系統)</p> <p>第61条 社長は、非常事態が生じたときのNFD内部（見学者等の外来者を含む）及び外部関係機関への通報系統を<u>下部規程「防護措置要領」</u>にあらかじめ定めておく。</p> <p>(通 報)</p> <p>第62条 ホットラボ施設に係る非常事態の発生、又はそのおそれのあることを発見した従業員は、直ちに総務GLに通報する。</p> <p>2 総務GLは、前項の通報を受けた場合、直ちに社長に通報しなくてはならない。</p> <p>3 総務GLは、直ちに前条に定める通報系統に従い外部関係機関に通報しなければならない。</p> <p>(非常事態の発令)</p> <p>第63条 社長は、前条第2項に定める通報を受け非常事態に該当すると判断した場合は、直ちに非常事態を宣言し、社長を本部長とする防護本部を設置する。</p> <p>(非常事態における活動)</p> <p>第64条 防護本部は、人命の救助、非常事態の原因除去、拡大防止に係る防護活動を行う。</p> <p>(非常事態の解除)</p> <p>第65条 社長は、非常事態の原因が除去され、拡大防止等に係る防護活動が終了したと判断した場合は、防護本部を解散し、非常事態を解除する。</p> | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(1)新審査基準⑫ア)</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し③</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し①</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p>(「原子力災害対策特別措置法」に基づく措置)</p> <p>第 67 条 「原子力災害対策特別措置法」に基づく事象が発生した場合は、本規定によらず、原子力事業者防災業務計画に基づき措置する。</p> | <p>(「原子力災害対策特別措置法」に基づく措置)</p> <p>第 66 条 「原子力災害対策特別措置法」に基づく事象が発生した場合は、本規定によらず、<u>「原子力事業者防災業務計画」</u>に基づき措置する。</p> <p><u>(設計想定事象等に係る使用施設等の保全に関する措置)</u></p> <p>第 67 条 <u>社長は許可を受けたところによる基本設計ないし基本的設計方針に則した対策が機能するよう、「火災」及び「多量の放射性物質等を放出する事故」等の想定する事象に応じて、次に掲げる措置を講ずる。</u></p> <p><u>(1) ホットラボ施設の必要な機能を維持するための活動に関する計画を策定し、要員を配置するとともに、計画に従って必要な活動を行わせることを下部規程「防護措置要領」にあらかじめ定めておく。</u></p> <p><u>(2) 必要な機能を維持するための活動を行うために必要な照明器具、無線機器その他の資機材を備え付ける。</u></p> <p><u>(3) その他必要な機能を維持するための活動を行うために必要な体制を整備することを下部規程「防護措置要領」にあらかじめ定めておく。</u></p> | <p>(4) 記載見直し①、②</p> <p>(1) 新審査基準⑬ア)</p> |
| <p>第 12 章 記録及び報告</p> | <p>第 12 章 記録及び報告</p> | |
| <p>(記 録)</p> | <p>(記 録)</p> | |
| <p>第 68 条 社長は、<u>別表第 19 第 1 欄</u>に掲げる事項について、それぞれ同表第 2 欄に掲げるところに従い、同表第 3 欄に掲げる者に記録させ、それぞれ同表第 4 欄に掲げる者に、同表第 5 欄に掲げる期間保存させる。</p> | <p>第 68 条 <u>社長は、ホットラボ施設に係る保安に関し、必要な記録を適正に作成し、管理する。なお、記録の作成及び管理するための措置を下部規程「保安活動に関わる品質マネジメント計画書」及び下部規程「保安活動に関わる品質マネジメント計画書の関連文書・記録一覧表」に定める。</u></p> <p>2 社長は、<u>「核燃料物質の使用等に関する規則」第 2 条の 11 に定める記録に関して、別表第 17 第 1 欄</u>に掲げる事項について、それぞれ同表第 2 欄に掲げるところに従い、同表第 3 欄に掲げる者に記録させ、それぞれ同表第 4 欄に掲げる者に、同表第 5 欄に掲げる期間保存させる。</p> | <p>(1) 新審査基準⑭ア)</p> <p>(1) 新審査基準⑭イ)</p> |
| <p>(報 告)</p> | <p>(報 告)</p> | |
| <p>第 69 条 部長等は、次の各号の一に掲げる事項に該当する場合は、直ちに社長に報告する。</p> <p>(1) 核燃料物質の盗取又は所在不明が生じたとき。</p> <p>(2) ホットラボ施設の故障があった場合において、当該故障に係る修理のため特別の措置を必要とする場合であって、核燃料物質の使用等に支障を及ぼしたとき。</p> <p>(3) ホットラボ施設の故障により、核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める機能、外部放射線による放射線障害を防止するための放射線の遮蔽機能若しくはホットラボ施設における火災若しくは爆発の防止の機能を喪失し、又は喪失するおそれがあったことにより核燃料物質の使用等に支障を及ぼしたとき。</p> <p>(4) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、<u>気体状の放射性廃棄物</u>の排気施設による排出の状況に異常が認められたとき。</p> <p>(5) <u>気体状の放射性廃棄物</u>を排気施設によって排出した場合において、周辺監視区域の外の空気中の放射性物質の濃度が「核燃料物質の使用等に関する規則」第二条の十一の<u>九</u>第四号の濃度限</p> | <p>第 69 条 部長等は、次の各号の一に掲げる事項に該当する場合は、直ちに社長に報告する。</p> <p>(1) 核燃料物質の盗取又は所在不明が生じたとき。</p> <p>(2) ホットラボ施設の故障があった場合において、当該故障に係る修理のため特別の措置を必要とする場合であって、核燃料物質の使用等に支障を及ぼしたとき。</p> <p>(3) ホットラボ施設の故障により、核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める機能、外部放射線による放射線障害を防止するための放射線の遮蔽機能若しくはホットラボ施設における火災若しくは爆発の防止の機能を喪失し、又は喪失するおそれがあったことにより核燃料物質の使用等に支障を及ぼしたとき。</p> <p>(4) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、<u>気体廃棄物</u>の排気施設による排出の状況に異常が認められたとき。</p> <p>(5) <u>気体廃棄物</u>を排気施設によって排出した場合において、周辺監視区域の外の空気中の放射性物質の濃度が「核燃料物質の使用等に関する規則」第二条の十一の<u>十二</u>第四号の濃度限度を超えたと</p> | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し②</p> <p>(4) 記載見直し②</p> <p>(4) 記載見直し④</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p>度を超えたとき。</p> <p>(6) 核燃料物質等が管理区域外で漏えいしたとき。</p> <p>(7) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、核燃料物質等が管理区域内で漏えいしたとき。ただし、次のいずれかに該当するとき（漏えいに係る場所について人の立入制限、鍵の管理等の措置を新たに講じたとき又は漏えいした物が管理区域外に広がったときを除く。）を除く。</p> <p>イ) 漏えいした液体状の核燃料物質等が当該漏えいに係る設備の周辺部に設置された漏えいの拡大を防止するための堰の外に拡大しなかったとき。</p> <p>ロ) 気体状の核燃料物質等が漏えいした場合において、漏えいした場所に係る換気設備の機能が適正に維持されているとき。</p> <p>ハ) 漏えいした核燃料物質等の放射エネルギーが微量なときその他漏えいの程度が軽微なとき。</p> <p>(8) 核燃料物質が臨界に達し、又は達するおそれがあるとき。</p> <p>(9) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、管理区域に立ち入る者について被ばくがあったときであって、当該被ばくに係る実効線量が放射線業務従事者にあつては5ミリシーベルト、放射線業務従事者以外の者にあつては0.5ミリシーベルトを超え、又は超えるおそれのあるとき。</p> <p>(10) <u>従業員</u>に「核燃料物質の使用等に関する規則」第二条の十一の<u>四</u>第一項第一号の線量限度を超え、又は超えるおそれのある被ばくがあったとき。</p> <p>(11) 前各号のほか、ホットラボ施設に関し、人の障害（放射線障害以外の障害であつて入院治療を必要としないものを除く。）が発生し、又は発生するおそれがあるとき。</p> <p>2 社長は、前項の報告を受けたときは、その旨を直ちに原子力規制委員会に報告する。</p> <p>3 部長等は、第1項の報告ののち、速やかに次の各号に掲げる事項を、明らかにした報告書を作成し社長に報告する。</p> <p>(1) 事故の発生日時、場所</p> <p>(2) 状況及び発生に際して採った処置</p> <p>(3) 原因</p> <p>(4) その後の対策及び処置</p> <p>(5) その他、必要な事項</p> <p>4 社長は、前項の報告を受けたときは、その内容を当該事象が発生してから10日以内に原子力規制委員会に報告する。</p> <p>付 則</p> <p>この規定は、原子力規制委員会の認可の日以降の社長が定める日から施行する。</p> | <p>き。</p> <p>(6) 核燃料物質等が管理区域外で漏えいしたとき。</p> <p>(7) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、核燃料物質等が管理区域内で漏えいしたとき。ただし、次のいずれかに該当するとき（漏えいに係る場所について人の立入制限、鍵の管理等の措置を新たに講じたとき又は漏えいした物が管理区域外に広がったときを除く。）を除く。</p> <p>イ) 漏えいした液体状の核燃料物質等が当該漏えいに係る設備の周辺部に設置された漏えいの拡大を防止するための堰の外に拡大しなかったとき。</p> <p>ロ) 気体状の核燃料物質等が漏えいした場合において、漏えいした場所に係る換気設備の機能が適正に維持されているとき。</p> <p>ハ) 漏えいした核燃料物質等の放射エネルギーが微量なときその他漏えいの程度が軽微なとき。</p> <p>(8) 核燃料物質が臨界に達し、又は達するおそれがあるとき。</p> <p>(9) ホットラボ施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、管理区域に立ち入る者について被ばくがあったときであつて、当該被ばくに係る実効線量が放射線業務従事者にあつては5ミリシーベルト、放射線業務従事者以外の者にあつては0.5ミリシーベルトを超え、又は超えるおそれのあるとき。</p> <p>(10) <u>放射線業務従事者</u>について「核燃料物質の使用等に関する規則」第二条の十一の<u>五</u>第一項第一号の線量限度を超え、又は超えるおそれのある被ばくがあったとき。</p> <p>(11) 前各号のほか、ホットラボ施設に関し、人の障害（放射線障害以外の障害であつて入院治療を必要としないものを除く。）が発生し、又は発生するおそれがあるとき。</p> <p>2 社長は、前項の報告を受けたときは、その旨を直ちに原子力規制委員会に報告する。</p> <p>3 部長等は、第1項の報告ののち、速やかに次の各号に掲げる事項を、明らかにした報告書を作成し社長に報告する。</p> <p>(1) 事故の発生日時、場所</p> <p>(2) 状況及び発生に際して採った処置</p> <p>(3) 原因</p> <p>(4) その後の対策及び処置</p> <p>(5) その他、必要な事項</p> <p>4 社長は、前項の報告を受けたときは、その内容を当該事象が発生してから10日以内に原子力規制委員会に報告する。</p> <p><u>5 第1項の事象に準ずる下記の重大事象が発生した場合には、下部規程「異常時の措置にともなう通報基準」及び下部規程「地震発生時（震度4以上）の点検結果報告要領」に従い報告する。</u></p> <p><u>(1) 震度4以上の地震発生時</u></p> <p><u>(2) 施設の火災・爆発時</u></p> <p><u>(3) 施設の停電時</u></p> <p><u>(4) その他、施設・人に影響を及ぼすおそれのある自然事象等が生じた時</u></p> <p>付 則</p> <p>この規定は、原子力規制委員会の認可の日以降の社長が定める日から施行する。</p> | <p>(4) 記載見直し②、④</p> <p>(1) 新審査基準④イ)</p> |

| 変更前 | | 変更後 | | | 変更理由 |
|---|--------------------|---------|-----------|-------------|-------------|
| 別表第1 品質保証に係る教育 | | | | | (1)新審査基準②イ) |
| 対象者 項目 | 品質保証に係る組織 に属する者 | 品質保証責任者 | 内部監査員 | 頻度 | |
| 品質保証計画書 | 0.5時間以上*1 | — | 0.5時間以上*1 | 策定及び改訂の都度*4 | |
| 品質保証活動に必要な文書及び標準書式*3 | 0.5時間以上*1 | — | 0.5時間以上*1 | 策定及び改訂の都度*4 | |
| 品質保証に関する知識 | — | 1日以上 | — | 選任時*5 | |
| 内部監査の実施方法 | — | 1日以上*2 | 1日以上 | 選任時*5 | |
| <p>*1 品質保証に係る組織に属する者又は内部監査員として教育を受けた場合は、免除する。</p> <p>*2 内部監査員として教育を受けた場合には、免除する。</p> <p>*3 対象となる文書及び標準書式は、本規定第11条に基づく保安活動に関わる品質保証計画書に定める。</p> <p>*4 部分改訂の場合は、文書通知等にて周知徹底を図り、教育に替える。</p> <p>*5 公益財団法人日本適合性認定協会、又は相互承認している認定機関が認定している研修機関が主催した研修コースを5年以内に修了している者は、十分な知識又は内部監査技術を有しているとみなし、新たな教育は必要としない。</p> <p>(注) 研修修了後5年を超えていても、関連規格の最新の品質保証に関する知識又は内部監査技術を維持している事を客観的に証明できる場合は、新たな教育は必要としない。</p> | | | | | (削除) |

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | 変更理由 | |
|--|------------------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------|--|--------------------------|------------------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------|------------------|
| 別表第2 保安教育 | | | | | | 別表第1 保安教育 | | | | | | (4)記載見直し① | |
| (1) ホットラボ施設に係る業務を行う者の保安教育 | | | | | | (1) ホットラボ施設に係る業務を行う者の保安教育 | | | | | | | |
| 項目 | | 対象者 | | 放射線(安全)管理に従事する従業員 | 役員及びその他の従業員 | 頻度 | 項目 | | 対象者 | | 放射線(安全)管理に従事する従業員 | 役員及びその他の従業員 | 頻度 |
| | | 使用等の業務に従事する従業員 | 付帯設備の運転保守に従事する従業員 | | | | | | 使用等の業務に従事する従業員 | 付帯設備の運転保守に従事する従業員 | | | |
| 関係法令及び保安規定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年及び改正・改訂の都度*1 | 関係法令及び保安規定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年及び改正・改訂の都度*1 |
| 使用施設等の構造、性能及び操作 | 使用・運転に係る事項 | ○ | — | — | — | 1回/年 | 使用施設等の構造、性能及び操作 | 使用・運転に係る事項 | ○ | — | — | — | 1回/年 |
| | 付帯設備に係る事項 | — | ○ | — | — | 1回/年 | | 付帯設備に係る事項 | — | ○ | — | — | 1回/年 |
| | 放射線管理設備に係る事項 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 | | 放射線管理設備に係る事項 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 |
| | 管理区域作業の注意事項 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 | | 管理区域作業の注意事項 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 |
| 放射線管理(放射線の生態に与える影響含む) | 放射線の人体に与える影響 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 | 放射線管理(放射線の生態に与える影響含む) | 放射線の人体に与える影響 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 |
| | 被ばく管理、線量管理 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 | | 被ばく管理、線量管理 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 |
| 核燃料物質等の取扱い | 核燃料物質等の性状(臨界に関することを含む) | ○ | — | ○ | — | 1回/年 | 核燃料物質等の取扱い | 核燃料物質等の性状(臨界に関することを含む) | ○ | — | ○ | — | 1回/年 |
| | 使用・貯蔵・輸送上の注意事項 | ○ | — | ○ | — | 1回/年 | | 使用・貯蔵・輸送上の注意事項 | ○ | — | ○ | — | 1回/年 |
| | 廃棄上の注意事項 | ○ | ○ | ○ | — | 1回/年 | | 廃棄上の注意事項 | ○ | ○ | ○ | — | 1回/年 |
| 非常時の場合にとるべき処置(放射線防護措置含む) | 非常時の処置、通報連絡 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 | 非常時の場合にとるべき処置(放射線防護措置含む) | 非常時の処置、通報連絡 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 |
| | 非常時における放射線防護 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 | | 非常時における放射線防護 | ○ | ○ | ○ | △ | 1回/年 |
| その他使用施設等に係る保安教育に関し必要な事項 | 許認可に係る事項 | ○ | ○ | ○ | — | 1回/年及び改訂の都度*1 | その他使用施設等に係る保安教育に関し必要な事項 | 許認可に係る事項 | ○ | ○ | ○ | — | 1回/年及び改訂の都度*1 |
| | トラブル/良好事例 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 | | トラブル/良好事例 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1回/年 |
| 時間数 | | 8時間以上 | 6時間以上 | 8時間以上 | 2(4)*2時間以上 | | 時間数 | | 8時間以上 | 6時間以上 | 8時間以上 | 2(4)*2時間以上 | |
| *1:部分的な改正・改訂については、文書通知等にて周知徹底を図り、教育に替える。 | | | | | | *1:部分的な改正・改訂については、文書通知等にて周知徹底を図り、教育に替える。 | | | | | | | |
| *2:()は、△の項目を加えた場合の時間数を示す。 | | | | | | *2:()は、△の項目を加えた場合の時間数を示す。 | | | | | | | |
| ○:対象、—:対象外 | | | | | | ○:対象、—:対象外 | | | | | | | |
| △:放射線業務従事者である原子力防災要員、原子力防災管理者及び副原子力防災管理者 | | | | | | △:放射線業務従事者である原子力防災要員、原子力防災管理者及び副原子力防災管理者 | | | | | | | |

| 変更前 | | | 変更後 | | | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|-------------------------|-------------------|-----|---------|---------------|----------------|-------------------------|-----------------------------|-----------|--------------------|----------------|---------|-----------------------|---------|-------|---------|------|--|-----------------------|---------|---|-----|---------|---------------|----------------|---------|-----------------------------|---------|-------------------------|---------------------|-----------|--------------|----------------|---------|-----------------------|---------|------|---------|------|---------|-----------------------|---------|--|
| (2) 放射線業務従事者の指定教育 | | | (2) 放射線業務従事者の指定教育 | | | (変更なし) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>時間数</th> <th>実施すべき場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線の人体に与える影響</td> <td>0.5時間以上</td> <td rowspan="6">その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い</td> <td>核燃料物質等の性状</td> <td>1.0時間以上</td> </tr> <tr> <td>使用施設等における作業の方法</td> <td>1.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法</td> <td>1.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>保安規定</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | 放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき | 設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い | 核燃料物質等の性状 | 1.0時間以上 | 使用施設等における作業の方法 | 1.5時間以上 | 使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法 | 1.5時間以上 | 関係法令 | 0.5時間以上 | 保安規定 | 0.5時間以上 | その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項 | 0.5時間以上 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>時間数</th> <th>実施すべき場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線の人体に与える影響</td> <td>0.5時間以上</td> <td rowspan="6">その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い</td> <td>核燃料物質等の性状</td> <td>1.0時間以上</td> </tr> <tr> <td>使用施設等における作業の方法</td> <td>1.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法</td> <td>1.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>保安規定</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | 放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき | 設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い | 核燃料物質等の性状 | 1.0時間以上 | 使用施設等における作業の方法 | 1.5時間以上 | 使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法 | 1.5時間以上 | 関係法令 | 0.5時間以上 | 保安規定 | 0.5時間以上 | その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項 | 0.5時間以上 | |
| 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い | 核燃料物質等の性状 | | 1.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用施設等における作業の方法 | | 1.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法 | | 1.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係法令 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保安規定 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | その者を放射線業務従事者に指定しようとするとき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備、機器及び核燃料物質等の安全取扱い | 核燃料物質等の性状 | | 1.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用施設等における作業の方法 | | 1.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用施設等に係る設備の構造及び取扱いの方法 | | 1.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係法令 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保安規定 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他使用施設等に係る保安に関し必要な事項 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 緊急作業要員の指定教育 | | | (3) 緊急作業要員の指定教育 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>時間数</th> <th>実施すべき場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">緊急作業時の放射線防護措置</td> <td>①緊急作業の方法及び防護措置</td> <td>3.0時間以上</td> </tr> <tr> <td>②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法</td> <td>2.0時間以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急作業時の放射線の生体に与える影響</td> <td>③放射線の人体に与える影響</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>④緊急作業時の被ばく管理</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>⑤関係法令</td> <td>0.5時間以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | 緊急作業時の放射線防護措置 | ①緊急作業の方法及び防護措置 | 3.0時間以上 | ②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法 | 2.0時間以上 | 緊急作業時の放射線の生体に与える影響 | ③放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | ④緊急作業時の被ばく管理 | 0.5時間以上 | ⑤関係法令 | 0.5時間以上 | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>時間数</th> <th>実施すべき場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">緊急作業時の放射線防護措置</td> <td>①緊急作業の方法及び防護措置</td> <td>3.0時間以上</td> </tr> <tr> <td>②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法</td> <td>2.0時間以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急作業時の放射線の生体に与える影響</td> <td>③放射線の人体に与える影響</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>④緊急作業時の被ばく管理</td> <td>0.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>⑤関係法令</td> <td>0.5時間以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | 緊急作業時の放射線防護措置 | ①緊急作業の方法及び防護措置 | 3.0時間以上 | ②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法 | 2.0時間以上 | 緊急作業時の放射線の生体に与える影響 | ③放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | ④緊急作業時の被ばく管理 | 0.5時間以上 | ⑤関係法令 | 0.5時間以上 | | | | | | | | |
| 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業時の放射線防護措置 | ①緊急作業の方法及び防護措置 | 3.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法 | 2.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業時の放射線の生体に与える影響 | ③放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④緊急作業時の被ばく管理 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤関係法令 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 時間数 | 実施すべき場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業時の放射線防護措置 | ①緊急作業の方法及び防護措置 | 3.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ②緊急作業で使用する施設及び設備の構造及び取扱いの方法 | 2.0時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業時の放射線の生体に与える影響 | ③放射線の人体に与える影響 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④緊急作業時の被ばく管理 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤関係法令 | 0.5時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|-----|-------------------|-------|----|----|---------|-----|------|-------|-------|------|----|---------|-----|----------|---|-------|----------------------|--|----|------|-----|----------|-------|----|--------|-------|----|----|------|-----|------|-------|-------|------|----|---------|-----|----------|---|------|----------------------|--|
| <p style="text-align: center;">別表第3 保安訓練</p> <p>(1) 総合訓練</p> <table border="1" data-bbox="172 340 1258 569"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施すべき場合</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常時の措置についての総合的な訓練</td> <td>年 1 回</td> <td>社長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 避難、消火訓練</p> <table border="1" data-bbox="172 783 1258 1121"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施すべき場合</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難訓練</td> <td rowspan="2">年 1 回</td> <td rowspan="2">総務 GL</td> </tr> <tr> <td>消火訓練</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 緊急作業に係る訓練</p> <table border="1" data-bbox="172 1224 1258 1719"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施すべき場合</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①緊急作業の方法</td> <td rowspan="2"> 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) </td> <td rowspan="2">総務 GL</td> </tr> <tr> <td>②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | 非常時の措置についての総合的な訓練 | 年 1 回 | 社長 | 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | 避難訓練 | 年 1 回 | 総務 GL | 消火訓練 | 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | ①緊急作業の方法 | 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) | 総務 GL | ②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い | <p style="text-align: center;">別表第2 保安訓練</p> <p>(1) 総合訓練</p> <table border="1" data-bbox="1427 340 2383 680"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施頻度</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防護活動総合訓練</td> <td>年 1 回</td> <td>社長</td> </tr> <tr> <td>防災総合訓練</td> <td>年 1 回</td> <td>社長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 避難、消火訓練</p> <table border="1" data-bbox="1427 783 2383 1121"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施頻度</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難訓練</td> <td rowspan="2">年 1 回</td> <td rowspan="2">総務 GL</td> </tr> <tr> <td>消火訓練</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 緊急作業に係る訓練</p> <table border="1" data-bbox="1427 1224 2525 1719"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施すべき場合</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①緊急作業の方法</td> <td rowspan="2"> 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) </td> <td rowspan="2">総務GL</td> </tr> <tr> <td>②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 実施頻度 | 実施者 | 防護活動総合訓練 | 年 1 回 | 社長 | 防災総合訓練 | 年 1 回 | 社長 | 項目 | 実施頻度 | 実施者 | 避難訓練 | 年 1 回 | 総務 GL | 消火訓練 | 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | ①緊急作業の方法 | 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) | 総務GL | ②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し②</p> <p>(1)新審査基準⑫ウ)</p> <p>(1)新審査基準⑫ウ)</p> <p>(4)記載見直し②</p> |
| 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常時の措置についての総合的な訓練 | 年 1 回 | 社長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 避難訓練 | 年 1 回 | 総務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消火訓練 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①緊急作業の方法 | 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) | 総務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 実施頻度 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防護活動総合訓練 | 年 1 回 | 社長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災総合訓練 | 年 1 回 | 社長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 実施頻度 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 避難訓練 | 年 1 回 | 総務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消火訓練 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 実施すべき場合 | 実施者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①緊急作業の方法 | 【緊急作業要員指定時】 緊急作業要員に選定しようとするとき①を実施する。(施設管理班、防護班、消防班に所属する者は②も合わせて実施する。) | 総務GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②緊急作業で使用する施設及び設備の取扱い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|-----|-----|--------------|----------|----|----------------|-----|-----------------|----------|----------------------|----------|---------------------|---------|---------------|-------|---------|---------------|-----------|-----------------------|-----------|--------------------|---------|---------|--|-------------|--------------------|
| <p style="text-align: center;">別表第4 災害防止上特に管理を必要とする設備・機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">設備・機器名</th> <th style="width: 50%;">管理の方法</th> <th style="width: 30%;">管理者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール</td> <td>プールの水位を維持する。</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">ホットラボ GL</td> </tr> <tr> <td>セル</td> <td>セル内を常時負圧に維持する。</td> </tr> <tr> <td>フード</td> <td>フード内を常時負圧に維持する。</td> </tr> <tr> <td>グローブボックス</td> <td>グローブボックス内を常時負圧に維持する。</td> </tr> <tr> <td>臨界安全管理機器</td> <td>スラブ厚さ管理治具の高さを正常に保つ。</td> </tr> <tr> <td>非常用電源設備</td> <td>自動起動できるように保つ。</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">工務 GL</td> </tr> <tr> <td>無停電電源設備</td> <td>常時給電できるように保つ。</td> </tr> <tr> <td>気体廃棄物処理設備</td> <td>排気を浄化し、管理区域内を常時負圧に保つ。</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理設備</td> <td>廃液の水位、配管、機器を正常に保つ。</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">安全管理 GL</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備</td> <td>管理区域の線量率の監視機能を維持する。 排気濃度の監視機能を維持する。</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名 | 管理の方法 | 管理者 | プール | プールの水位を維持する。 | ホットラボ GL | セル | セル内を常時負圧に維持する。 | フード | フード内を常時負圧に維持する。 | グローブボックス | グローブボックス内を常時負圧に維持する。 | 臨界安全管理機器 | スラブ厚さ管理治具の高さを正常に保つ。 | 非常用電源設備 | 自動起動できるように保つ。 | 工務 GL | 無停電電源設備 | 常時給電できるように保つ。 | 気体廃棄物処理設備 | 排気を浄化し、管理区域内を常時負圧に保つ。 | 液体廃棄物処理設備 | 廃液の水位、配管、機器を正常に保つ。 | 安全管理 GL | 放射線監視設備 | 管理区域の線量率の監視機能を維持する。 排気濃度の監視機能を維持する。 | <p>(削除)</p> | <p>(1)新審査基準⑮7)</p> |
| 設備・機器名 | 管理の方法 | 管理者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プール | プールの水位を維持する。 | ホットラボ GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セル | セル内を常時負圧に維持する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フード | フード内を常時負圧に維持する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| グローブボックス | グローブボックス内を常時負圧に維持する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臨界安全管理機器 | スラブ厚さ管理治具の高さを正常に保つ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用電源設備 | 自動起動できるように保つ。 | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 無停電電源設備 | 常時給電できるように保つ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 気体廃棄物処理設備 | 排気を浄化し、管理区域内を常時負圧に保つ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 液体廃棄物処理設備 | 廃液の水位、配管、機器を正常に保つ。 | 安全管理 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線監視設備 | 管理区域の線量率の監視機能を維持する。 排気濃度の監視機能を維持する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | | | | | | | 変更後 | | | | | | | 変更理由 | | | | | |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------|----------------|--|--|---|-----------------------|--|--|--------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--|---|--|--|-------------------------------|---------------|--|
| 別表第5 臨界管理基準を満足する最大取扱量 | | | | | | | 別表第3 臨界管理基準を満足する最大取扱量 | | | | | | | (4)記載見直し① | | | | | |
| 区分 | 濃縮度等 | 場所 | 臨界管理の方法 | 臨界管理基準 | 最大取扱量 | その他の制限条件 | 区分 | 濃縮度等 | 場所 | 臨界管理の方法 | 臨界管理基準 | 最大取扱量 | その他の制限条件 | | | | | | |
| 使用済BWR燃料 | 5%未満 | 燃料検査プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体 | | 燃料検査プール | 5%未満 | | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体 | | | | | | | |
| | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | | | |
| | | 燃料貯蔵プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 12 体相当分 | 燃料集合体容器用ラック、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ及び切断片コンテナ | | 燃料貯蔵プール | 5%未満 | | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 12 体相当分 | 燃料集合体容器用ラック、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ及び切断片コンテナ | | | | | |
| | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | 同上 | | | | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | | | |
| | | モニタリングセル | 質量 | 14.0kgU | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体相当分 | 燃料棒貯蔵ビット、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ及び切断片コンテナ | モニタリングセル | 5%未満 | | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体相当分 | 燃料棒貯蔵ビット、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ及び切断片コンテナ | | | | |
| | | | | | 質量 | 14.0kgU | 14.0 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | 質量 | 14.0kgU | 14.0 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | |
| | | | | | スラブ厚さ | 9 cm以下 | 6 cm以下 | 他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | | | | スラブ厚さ | 9 cm以下 | 6 cm以下 | 他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | | | | |
| | | | | | 直径 | 20 cm以下 | 20 cm以下 | | | | | 直径 | 20 cm以下 | 20 cm以下 | | | | | |
| | | 切断セル | 質量 | 14.0 kgU | 14.0 kgU | | 切断セル | 質量 | 14.0 kgU | 14.0 kgU | | 切断セル | 質量 | 14.0 kgU | 14.0 kgU | | | | |
| | | 研磨セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 研磨セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 研磨セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | | | |
| | | 化学セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 化学セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 化学セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | | | |
| | | 材料セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 材料セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 材料セル | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | | | |
| | | アイソレーションエリア | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | アイソレーションエリア | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | アイソレーションエリア | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | | | |
| | | 顕微鏡セル | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | 顕微鏡セル | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | 顕微鏡セル | 質量 | 14.0 kgU | 2 kgU | | | | |
| | | 放射化学実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 放射化学実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | 放射化学実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 10 kgU | | | | |
| その他のセル実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 合計で 1 kgU | | その他のセル実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 合計で 1 kgU | | その他のセル実験室 | 質量 | 14.0 kgU | 合計で 1 kgU | | | | | | |
| その他の使用済燃料試料 | 10%を超え20%未満 | 全室 | 質量 | 2.5 kg (UO ₂) | 2.5 kg (UO ₂) | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | その他の使用済燃料試料 | 10%を超え20%未満 | 全室 | 質量 | 2.5 kg (UO ₂) | 2.5 kg (UO ₂) | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | | | |
| | | | 質量 | 6.3 kg (UO ₂) | 6.3 kg (UO ₂) | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | 質量 | 6.3 kg (UO ₂) | 6.3 kg (UO ₂) | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | | | |
| | スラブ厚さ | | 6.9 cm 以下 | 6 cm 以下 | モニタリングセルでの他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | スラブ厚さ | | 6.9 cm 以下 | | 6 cm 以下 | モニタリングセルでの他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | | | | | | | | |
| | 直径 | | 16.8 cm 以下 | 16.8 cm 以下 | | 直径 | | 16.8 cm 以下 | | 16.8 cm 以下 | | | | | | | | | |
| 敦賀使用済MOX燃料 | Pu 富化度 4.64%以下 核分裂性 Pu 組成 73.8%以下 | 燃料検査プール | keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体 | | 燃料検査プール | Pu 富化度 4.64%以下 核分裂性 Pu 組成 73.8%以下 | 燃料検査プール | keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体 | | | | | | | |
| | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | | | |
| | | 燃料貯蔵プール | keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 2 体分 | 燃料集合体容器用ラック、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ | | | 燃料貯蔵プール | Pu 富化度 4.64%以下 核分裂性 Pu 組成 73.8%以下 | 燃料貯蔵プール | keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 2 体分 | 燃料集合体容器用ラック、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ | | | | |
| | | | 同上 | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | 同上 | | | | | 同上 | 燃料集合体用容器 1 個 | | | | | | |
| | | モニタリングセル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体相当分 | | 燃料棒貯蔵ビット、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ | | モニタリングセル | Pu 富化度 4.64%以下 核分裂性 Pu 組成 73.8%以下 | モニタリングセル | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 燃料集合体 1 体相当分 | 燃料棒貯蔵ビット、燃料集合体用容器、シングルロッドコンテナ | | |
| | | | | | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 17.5 kg (MOX) | | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 17.5 kg (MOX) | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | |
| | | | | | スラブ厚さ | 12.5 cm 以下 | 6 cm 以下 | | 他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | | | | | スラブ厚さ | 12.5 cm 以下 | 6 cm 以下 | 他の使用済燃料との同時取扱時に限定適用 | | |
| | | | | | 直径 | 26 cm 以下 | 20 cm 以下 | | | | | | | 直径 | 26 cm 以下 | 20 cm 以下 | | | |
| | | 切断セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 17.5 kg (MOX) | | 切断セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 17.5 kg (MOX) | | 切断セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 17.5 kg (MOX) | |
| | | 研磨セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | | 研磨セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 10 kg (MOX) | | 研磨セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | |
| | | 化学セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | | 化学セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 10 kg (MOX) | | 化学セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | |
| | | 材料セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | | 材料セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 10 kg (MOX) | | 材料セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 10 kg (MOX) | |
| | | アイソレーションエリア | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | | アイソレーションエリア | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 2 kg (MOX) | | アイソレーションエリア | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | |
| | | 顕微鏡セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | | 顕微鏡セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 2 kg (MOX) | | 顕微鏡セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | |
| | | 鉄セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | | 鉄セル | | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | 2 kg (MOX) | | 鉄セル | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 2 kg (MOX) | |
| 放射化学実験室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 合計で 1 kg (MOX) | 取扱量は最大 20mg/回、3g/年 質量分析装置における取扱量は最大 20µg/回、0.3g/年 | 放射化学実験室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 合計で 1 kg (MOX) | 取扱量は最大 20mg/回、3g/年 質量分析装置における取扱量は最大 20µg/回、0.3g/年 | | 放射化学実験室 | | 質量 | 17.5 kg (MOX) | 合計で 1 kg (MOX) | 取扱量は最大 20mg/回、3g/年 質量分析装置における取扱量は最大 20µg/回、0.3g/年 | | | |
| 放射線計測室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | | | 放射線計測室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | | | | 放射線計測室 | | 質量 | 17.5 kg (MOX) | | | | | |
| 第2精密測定室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | | | 第2精密測定室 | 質量 | 17.5 kg (MOX) | | | 第2精密測定室 | 質量 | | 17.5 kg (MOX) | | | | | | |
| 未照射燃料 | 20%未満 | 燃料貯蔵庫 | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 10 燃料棒 (長さ 4.2m) / 容器 500 gU-235/容器 | 天然ウラン、劣化ウラン、及びトリウムは燃料貯蔵庫内の所定のエリアに貯蔵すること。 | 未照射燃料 | 20%未満 | 燃料貯蔵庫 | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | | 10 燃料棒 (長さ 4.2m) / 容器 500 gU-235/容器 | 天然ウラン、劣化ウラン、及びトリウムは燃料貯蔵庫内の所定のエリアに貯蔵すること。 | | | | | |
| | | 実験室 | 質量 | 2.5 kg (UO ₂) | 500 gU-235 | 実験室全合計量 | | | 実験室 | 質量 | 2.5 kg (UO ₂) | 500 gU-235 | 実験室全合計量 | | | | | | |
| HTR 再処理用燃料 | HTR 使用済燃料 10.15%以下 | 燃料検査プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | HTR 再処理用燃料集合体 1 体 | 燃料集合体用容器 | HTR 再処理用燃料 | 10.15%以下 | 燃料検査プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | HTR 再処理用燃料集合体 1 体 | 燃料集合体用容器 | | | | | | |
| | | 燃料貯蔵プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 91.5 kgU (HTR 再処理用燃料集合体 4 体相当分) | 燃料集合体用容器、燃料集合体容器用ラック | | | 燃料貯蔵プール | Keff | Keff 0.95 の未臨界基準値 | 91.5 kgU (HTR 再処理用燃料集合体 4 体相当分) | 燃料集合体用容器、燃料集合体容器用ラック | | | | | | |
| | | モニタリングセル | 質量 | 5.5 kgU | 5.5 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | モニタリングセル | 質量 | 5.5 kgU | 5.5 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | | | |
| | | 切断セル | 質量 | 5.5 kgU | 5.5 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | 切断セル | 質量 | 5.5 kgU | 5.5 kgU | 他の使用済燃料との同時取扱時は非適用 | | | | | | |
| | 未照射ウラン燃料 (劣化ウラン) | 燃料貯蔵プール | 質量 | 500 kgU | 500 kgU | 燃料集合体用容器、燃料集合体容器用ラック | 未照射ウラン燃料 (劣化ウラン) | 燃料貯蔵プール | 質量 | 500 kgU | 500 kgU | 燃料集合体用容器、燃料集合体容器用ラック | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------|---|------|--------|---------|------------------------|---------|-------------|---|----------|---------------|--------------------------|-----------|-----------|---|---|------|----------|------|--------|---------|------------------------|---------|-------------|---|----------|---------------|--------------------------|-----------|-----------|---|------------------|
| <p style="text-align: center;"><u>別表第6</u> 安全装置の作動条件</p> <table border="1" data-bbox="172 296 1270 835"> <thead> <tr> <th>安全装置</th> <th>安全装置の相手側</th> <th>作動条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各セル遮蔽扉</td> <td>インセルモニタ</td> <td>設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。</td> </tr> <tr> <td>プールクレーン</td> <td>燃料吊り下げ専用ポール</td> <td>燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6m 以下とならないこと。</td> </tr> <tr> <td>天井走行クレーン</td> <td>クレーンフックのカバー範囲</td> <td>燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。</td> </tr> <tr> <td>プール水循環ポンプ</td> <td>燃料貯蔵プール水位</td> <td>プール水位が設定水位より 10cm 以上、下がった時プール水タンクより純水を供給する。</td> </tr> </tbody> </table> | 安全装置 | 安全装置の相手側 | 作動条件 | 各セル遮蔽扉 | インセルモニタ | 設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。 | プールクレーン | 燃料吊り下げ専用ポール | 燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6m 以下とならないこと。 | 天井走行クレーン | クレーンフックのカバー範囲 | 燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。 | プール水循環ポンプ | 燃料貯蔵プール水位 | プール水位が設定水位より 10cm 以上、下がった時プール水タンクより純水を供給する。 | <p style="text-align: center;"><u>別表第4</u> 安全装置の作動条件</p> <table border="1" data-bbox="1463 296 2561 835"> <thead> <tr> <th>安全装置</th> <th>安全装置の相手側</th> <th>作動条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各セル遮蔽扉</td> <td>インセルモニタ</td> <td>設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。</td> </tr> <tr> <td>プールクレーン</td> <td>燃料吊り下げ専用ポール</td> <td>燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6 m以下とならないこと。</td> </tr> <tr> <td>天井走行クレーン</td> <td>クレーンフックのカバー範囲</td> <td>燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。</td> </tr> <tr> <td>プール水循環ポンプ</td> <td>燃料貯蔵プール水位</td> <td>プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がった時プール水タンクより純水を供給する。</td> </tr> </tbody> </table> | 安全装置 | 安全装置の相手側 | 作動条件 | 各セル遮蔽扉 | インセルモニタ | 設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。 | プールクレーン | 燃料吊り下げ専用ポール | 燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6 m以下とならないこと。 | 天井走行クレーン | クレーンフックのカバー範囲 | 燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。 | プール水循環ポンプ | 燃料貯蔵プール水位 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がった時プール水タンクより純水を供給する。 | <p>(4)記載見直し①</p> |
| 安全装置 | 安全装置の相手側 | 作動条件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各セル遮蔽扉 | インセルモニタ | 設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プールクレーン | 燃料吊り下げ専用ポール | 燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6m 以下とならないこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天井走行クレーン | クレーンフックのカバー範囲 | 燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プール水循環ポンプ | 燃料貯蔵プール水位 | プール水位が設定水位より 10cm 以上、下がった時プール水タンクより純水を供給する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全装置 | 安全装置の相手側 | 作動条件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各セル遮蔽扉 | インセルモニタ | 設定値 2 mSv/h 以上のとき開かない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プールクレーン | 燃料吊り下げ専用ポール | 燃料集合体を吊り下げた場合、燃料集合体の最上部から水面まで 2.6 m以下とならないこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天井走行クレーン | クレーンフックのカバー範囲 | 燃料集合体容器用ラック上を走行しないようにする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プール水循環ポンプ | 燃料貯蔵プール水位 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がった時プール水タンクより純水を供給する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|-----|------|----------------|-------|--------|--|---------|-----------|--|-----------|---------------------------|-------|---------|------------------------------|----------|---------|-------------|---------|------------|-------|---|----|------|-----|------|----------------|-------|--------|--|---------|-----------|---|-----------|---------------------------|-------|---------|------------------------------|----------|---------|-------------|---------|------------|-------|---|
| <p style="text-align: center;"><u>別表第7</u> 警報装置の作動条件</p> <table border="1" data-bbox="157 296 1270 1371"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>作動条件</th> <th>管理者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負圧警報</td> <td>セル内負圧設定値：50 Pa</td> <td>工務 GL</td> </tr> <tr> <td>エリアモニタ</td> <td>設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h</td> <td rowspan="2">安全管理 GL</td> </tr> <tr> <td>スタック排気モニタ</td> <td>設定値 α 1 cps^{*1} (検出効率 0.05 以上) β (γ) 250 cps^{*2} (検出効率 0.12 以上) I-131 100 cps^{*3} (検出効率 0.015 以上) 放射性ガス 10 cps^{*4} (検出効率 0.005 以上)</td> </tr> <tr> <td>廃液タンク水位警報</td> <td>廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。</td> <td>工務 GL</td> </tr> <tr> <td>プール水位警報</td> <td>プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。</td> <td rowspan="2">ホットラボ GL</td> </tr> <tr> <td>遮蔽扉作動警報</td> <td>遮蔽扉を開閉するとき。</td> </tr> <tr> <td>セル内火災警報</td> <td>火災を検知したとき。</td> <td>工務 GL</td> </tr> </tbody> </table> <p>スタック排気モニタの警報設定値について</p> <p>*1：1.8×10⁻⁶ Bq/cm³ (1時間継続した場合) の計数率より小さい設定値とする。</p> <p>*2：1.8×10⁻⁴ Bq/cm³ (1時間継続した場合) の計数率より小さい設定値とする。</p> <p>*3：1.8×10⁻³ Bq/cm³ (1時間継続した場合) の計数率より小さい設定値とする。</p> <p>*4：1.8×10⁻¹ Bq/cm³ での計数率より小さい設定値とする。</p> | 種類 | 作動条件 | 管理者 | 負圧警報 | セル内負圧設定値：50 Pa | 工務 GL | エリアモニタ | 設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h | 安全管理 GL | スタック排気モニタ | 設定値 α 1 cps ^{*1} (検出効率 0.05 以上) β (γ) 250 cps ^{*2} (検出効率 0.12 以上) I-131 100 cps ^{*3} (検出効率 0.015 以上) 放射性ガス 10 cps ^{*4} (検出効率 0.005 以上) | 廃液タンク水位警報 | 廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。 | 工務 GL | プール水位警報 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。 | ホットラボ GL | 遮蔽扉作動警報 | 遮蔽扉を開閉するとき。 | セル内火災警報 | 火災を検知したとき。 | 工務 GL | <p style="text-align: center;"><u>別表第5</u> 警報装置の作動条件</p> <table border="1" data-bbox="1427 296 2597 1371"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>作動条件</th> <th>管理者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負圧警報</td> <td>セル内負圧設定値：50 Pa</td> <td>工務 GL</td> </tr> <tr> <td>エリアモニタ</td> <td>設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h</td> <td rowspan="2">安全管理 GL</td> </tr> <tr> <td>スタック排気モニタ</td> <td>設定値 α 1 cps (計数効率 0.159 cps/Bq 以上) β (γ) 520 cps (計数効率 0.195 cps/Bq 以上) I-131 15 cps (計数効率 0.0944 cps/Bq 以上) 放射性ガス 69 cps (換算係数 298 cps/(Bq/cm³) 以上)</td> </tr> <tr> <td>廃液タンク水位警報</td> <td>廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。</td> <td>工務 GL</td> </tr> <tr> <td>プール水位警報</td> <td>プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。</td> <td rowspan="2">ホットラボ GL</td> </tr> <tr> <td>遮蔽扉作動警報</td> <td>遮蔽扉を開閉するとき。</td> </tr> <tr> <td>セル内火災警報</td> <td>火災を検知したとき。</td> <td>工務 GL</td> </tr> </tbody> </table> | 種類 | 作動条件 | 管理者 | 負圧警報 | セル内負圧設定値：50 Pa | 工務 GL | エリアモニタ | 設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h | 安全管理 GL | スタック排気モニタ | 設定値 α 1 cps (計数効率 0.159 cps/Bq 以上) β (γ) 520 cps (計数効率 0.195 cps/Bq 以上) I-131 15 cps (計数効率 0.0944 cps/Bq 以上) 放射性ガス 69 cps (換算係数 298 cps/(Bq/cm ³) 以上) | 廃液タンク水位警報 | 廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。 | 工務 GL | プール水位警報 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。 | ホットラボ GL | 遮蔽扉作動警報 | 遮蔽扉を開閉するとき。 | セル内火災警報 | 火災を検知したとき。 | 工務 GL | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(3) 警報設定見直し①</p> <p>(3) 警報設定見直し①</p> |
| 種類 | 作動条件 | 管理者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 負圧警報 | セル内負圧設定値：50 Pa | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エリアモニタ | 設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h | 安全管理 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタック排気モニタ | 設定値 α 1 cps ^{*1} (検出効率 0.05 以上) β (γ) 250 cps ^{*2} (検出効率 0.12 以上) I-131 100 cps ^{*3} (検出効率 0.015 以上) 放射性ガス 10 cps ^{*4} (検出効率 0.005 以上) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 廃液タンク水位警報 | 廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。 | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プール水位警報 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。 | ホットラボ GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 遮蔽扉作動警報 | 遮蔽扉を開閉するとき。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セル内火災警報 | 火災を検知したとき。 | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 作動条件 | 管理者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 負圧警報 | セル内負圧設定値：50 Pa | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エリアモニタ | 設定値： グリーンゾーン 0.02 mSv/h アンバーゾーン 0.1 mSv/h | 安全管理 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタック排気モニタ | 設定値 α 1 cps (計数効率 0.159 cps/Bq 以上) β (γ) 520 cps (計数効率 0.195 cps/Bq 以上) I-131 15 cps (計数効率 0.0944 cps/Bq 以上) 放射性ガス 69 cps (換算係数 298 cps/(Bq/cm ³) 以上) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 廃液タンク水位警報 | 廃液の水位がタンク全容量の 80 %に達したとき。 | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プール水位警報 | プール水位が設定水位より 10 cm 以上下がったとき。 | ホットラボ GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 遮蔽扉作動警報 | 遮蔽扉を開閉するとき。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セル内火災警報 | 火災を検知したとき。 | 工務 GL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|---|------|-------------|----------------|---------------------------|--|--|----------------|---|---|---|---------------|-----------------------|--|--|--|----|--------------------------|-------------|--------------|--------------------|---------------|--------------------|----------------|--------------|--------------------|---------------|--------------------|---------------------------------------|
| | <p style="text-align: center;"><u>別表第6 管理区域における管理基準</u></p> <table border="1" data-bbox="1409 252 2597 892"> <thead> <tr> <th>区域名</th> <th>線量率</th> <th>表面密度</th> <th>空気中の放射性物質濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>グリーンゾーン</u></td> <td>原則 $20 \mu\text{Sv/h}$ 以下</td> <td>告示*¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ 以下の区域</td> <td>3 月間についての平均濃度が告示*¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ 以下の区域</td> </tr> <tr> <td><u>アンバーゾーン</u></td> <td>$20 \mu\text{Sv/h}$ 以下 <hr/>$100 \mu\text{Sv/h}$ 以下</td> <td>告示*¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ を超えるおそれのある区域</td> <td>3 月間についての平均濃度が告示*¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ を超えるおそれのある区域</td> </tr> <tr> <td><u>レッドゾーン</u></td> <td>$2000 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>告示*¹⁾ に定められた表面密度限度を超えるおそれのある区域</td> <td>3 月間についての平均濃度が告示*¹⁾ に定められた濃度限度を超えるおそれのある区域</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 1) <u>核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示</u></p> <p>* 2) <u>別表第7(1)記載の管理区域に係る表面密度参照</u></p> <p>* 3) <u>管理基準値は下記の通り。</u></p> <table border="1" data-bbox="1528 1060 2329 1291"> <thead> <tr> <th></th> <th>核種</th> <th>濃度 (Bq/cm³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"><u>α 核種</u></td> <td><u>U-238</u></td> <td>4×10^{-7}</td> </tr> <tr> <td><u>Pu-239</u></td> <td>7×10^{-8}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><u>β, γ 核種</u></td> <td><u>Co-60</u></td> <td>1×10^{-4}</td> </tr> <tr> <td><u>Cs-137</u></td> <td>3×10^{-4}</td> </tr> </tbody> </table> <p>(線量告示：空気中の放射性物質濃度限度の $1/10$)</p> | 区域名 | 線量率 | 表面密度 | 空気中の放射性物質濃度 | <u>グリーンゾーン</u> | 原則 $20 \mu\text{Sv/h}$ 以下 | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ 以下の区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ 以下の区域 | <u>アンバーゾーン</u> | $20 \mu\text{Sv/h}$ 以下 <hr/> $100 \mu\text{Sv/h}$ 以下 | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ を超えるおそれのある区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ を超えるおそれのある区域 | <u>レッドゾーン</u> | $2000 \mu\text{Sv/h}$ | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度を超えるおそれのある区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度を超えるおそれのある区域 | | 核種 | 濃度 (Bq/cm ³) | <u>α 核種</u> | <u>U-238</u> | 4×10^{-7} | <u>Pu-239</u> | 7×10^{-8} | <u>β, γ 核種</u> | <u>Co-60</u> | 1×10^{-4} | <u>Cs-137</u> | 3×10^{-4} | <p>(1)新審査基準⑥イ (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |
| 区域名 | 線量率 | 表面密度 | 空気中の放射性物質濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>グリーンゾーン</u> | 原則 $20 \mu\text{Sv/h}$ 以下 | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ 以下の区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ 以下の区域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>アンバーゾーン</u> | $20 \mu\text{Sv/h}$ 以下 <hr/> $100 \mu\text{Sv/h}$ 以下 | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度の $1/10^{*2)}$ を超えるおそれのある区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度の $1/10^{*3)}$ を超えるおそれのある区域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>レッドゾーン</u> | $2000 \mu\text{Sv/h}$ | 告示* ¹⁾ に定められた表面密度限度を超えるおそれのある区域 | 3 月間についての平均濃度が告示* ¹⁾ に定められた濃度限度を超えるおそれのある区域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 核種 | 濃度 (Bq/cm ³) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>α 核種</u> | <u>U-238</u> | 4×10^{-7} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <u>Pu-239</u> | 7×10^{-8} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>β, γ 核種</u> | <u>Co-60</u> | 1×10^{-4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <u>Cs-137</u> | 3×10^{-4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------|---------------------------------------|-----------------|---------------------------------------|-------------------------|----------------------|---|-----------------|---------------------------------------|------------------|----------------------|-----------------|---------------------------------------|------------------|---------------------------------------|---|------|--------------|----------------------|---------|---------------|--------|--------------|--|----|----|------|------|-------------|-----------------------|---------------------|---------|----------------|---------|---------|---------------|---------|---------|-------------|----------------|--------------------------|-------------------|------|----------------|----------------------|---------|---------------|--------|--------------|---|
| <p style="text-align: center;">別表第8 表面密度の基準</p> <p>(1) 持出物品に係る表面密度</p> <table border="1" data-bbox="219 285 1050 464"> <tr> <td>アルファ線を放出する放射性物質</td> <td>4×10^{-2} Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>アルファ線を放出しない放射性物質</td> <td>4×10^{-1} Bq/cm²</td> </tr> </table> <p>(2) 管理区域に係る表面密度</p> <table border="1" data-bbox="219 533 1050 711"> <tr> <td>アルファ線を放出する放射性物質</td> <td>4×10^{-1} Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>アルファ線を放出しない放射性物質</td> <td>4 Bq/cm²</td> </tr> </table> | アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-2} Bq/cm ² | アルファ線を放出しない放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | アルファ線を放出しない放射性物質 | 4 Bq/cm ² | <p style="text-align: center;">別表第7 表面密度の基準</p> <p>(1) 管理区域に係る表面密度</p> <table border="1" data-bbox="1475 285 2383 464"> <tr> <td>アルファ線を放出する放射性物質</td> <td>4×10^{-1} Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>アルファ線を放出しない放射性物質</td> <td>4 Bq/cm²</td> </tr> </table> <p>(2) 身体、身体に着用している物及び持出物品に係る表面密度</p> <table border="1" data-bbox="1475 533 2383 711"> <tr> <td>アルファ線を放出する放射性物質</td> <td>4×10^{-2} Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>アルファ線を放出しない放射性物質</td> <td>4×10^{-1} Bq/cm²</td> </tr> </table> | アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | アルファ線を放出しない放射性物質 | 4 Bq/cm ² | アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-2} Bq/cm ² | アルファ線を放出しない放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し⑤</p> <p>(4) 記載見直し⑤、②</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-2} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出しない放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出しない放射性物質 | 4 Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出しない放射性物質 | 4 Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出する放射性物質 | 4×10^{-2} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルファ線を放出しない放射性物質 | 4×10^{-1} Bq/cm ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">別表第9 管理区域内における線量率等の測定</p> <table border="1" data-bbox="157 932 1270 1604"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>頻度</th> <th>測定方法</th> <th>測定場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外部放射線に係る線量率</td> <td>放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回</td> <td>エリアモニタ 又は サーベイメータ</td> <td>遮蔽物側壁表面</td> </tr> <tr> <td>管理区域内について週1回</td> <td>サーベイメータ</td> <td>エリアの代表点</td> </tr> <tr> <td>管理区域周辺について月1回</td> <td>サーベイメータ</td> <td>管理区域の境界</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>管理区域内について週1回</td> <td>室内ダストモニタ 又は エアスニファ</td> <td>管理区域内の汚染の可能性のある場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表面密度</td> <td>管理区域内について週1回</td> <td>スミヤ法 又は ダイレクト法</td> <td>エリアの代表点</td> </tr> <tr> <td>管理区域周辺について月1回</td> <td>ダイレクト法</td> <td>管理区域の境界(出入口)</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 頻度 | 測定方法 | 測定場所 | 外部放射線に係る線量率 | 放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回 | エリアモニタ 又は サーベイメータ | 遮蔽物側壁表面 | 管理区域内について週1回 | サーベイメータ | エリアの代表点 | 管理区域周辺について月1回 | サーベイメータ | 管理区域の境界 | 空気中の放射性物質濃度 | 管理区域内について週1回 | 室内ダストモニタ 又は エアスニファ | 管理区域内の汚染の可能性のある場所 | 表面密度 | 管理区域内について週1回 | スミヤ法 又は ダイレクト法 | エリアの代表点 | 管理区域周辺について月1回 | ダイレクト法 | 管理区域の境界(出入口) | <p style="text-align: center;">別表第8 管理区域内における線量率等の測定</p> <table border="1" data-bbox="1412 932 2594 1604"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>頻度</th> <th>測定方法</th> <th>測定場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外部放射線に係る線量率</td> <td>放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回*</td> <td>エリアモニタ 又はサーベイメータ</td> <td>遮蔽物側壁表面</td> </tr> <tr> <td>管理区域内について週1回**</td> <td>サーベイメータ</td> <td>エリアの代表点</td> </tr> <tr> <td>管理区域周辺について月1回</td> <td>サーベイメータ</td> <td>管理区域の境界</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>管理区域内について週1回**</td> <td>室内ダストモニタ 又は エアスニファ</td> <td>管理区域内の汚染の可能性のある場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表面密度</td> <td>管理区域内について週1回**</td> <td>スミヤ法 又は ダイレクト法</td> <td>エリアの代表点</td> </tr> <tr> <td>管理区域周辺について月1回</td> <td>ダイレクト法</td> <td>管理区域の境界(出入口)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：移動を伴う核燃料物質等の放射性物質を取り扱う作業の無い日を除く</p> <p>**：日曜日から土曜日の1週間が会社休日の場合を除く</p> | 項目 | 頻度 | 測定方法 | 測定場所 | 外部放射線に係る線量率 | 放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回* | エリアモニタ 又はサーベイメータ | 遮蔽物側壁表面 | 管理区域内について週1回** | サーベイメータ | エリアの代表点 | 管理区域周辺について月1回 | サーベイメータ | 管理区域の境界 | 空気中の放射性物質濃度 | 管理区域内について週1回** | 室内ダストモニタ 又は エアスニファ | 管理区域内の汚染の可能性のある場所 | 表面密度 | 管理区域内について週1回** | スミヤ法 又は ダイレクト法 | エリアの代表点 | 管理区域周辺について月1回 | ダイレクト法 | 管理区域の境界(出入口) | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> <p>(4) 記載見直し⑥</p> |
| 項目 | 頻度 | 測定方法 | 測定場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部放射線に係る線量率 | 放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回 | エリアモニタ 又は サーベイメータ | 遮蔽物側壁表面 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域内について週1回 | サーベイメータ | エリアの代表点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域周辺について月1回 | サーベイメータ | 管理区域の境界 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空気中の放射性物質濃度 | 管理区域内について週1回 | 室内ダストモニタ 又は エアスニファ | 管理区域内の汚染の可能性のある場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面密度 | 管理区域内について週1回 | スミヤ法 又は ダイレクト法 | エリアの代表点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域周辺について月1回 | ダイレクト法 | 管理区域の境界(出入口) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 頻度 | 測定方法 | 測定場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部放射線に係る線量率 | 放射線遮蔽物の側壁について毎日作業中1回* | エリアモニタ 又はサーベイメータ | 遮蔽物側壁表面 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域内について週1回** | サーベイメータ | エリアの代表点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域周辺について月1回 | サーベイメータ | 管理区域の境界 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空気中の放射性物質濃度 | 管理区域内について週1回** | 室内ダストモニタ 又は エアスニファ | 管理区域内の汚染の可能性のある場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面密度 | 管理区域内について週1回** | スミヤ法 又は ダイレクト法 | エリアの代表点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理区域周辺について月1回 | ダイレクト法 | 管理区域の境界(出入口) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------------|--|----|----------------------|------------------------|-----|-----|-------|----|--------------|------------|---------------------------------|---------|-------|-------|---------|--|-----|------|----|--------------|------|----------------|---------|-------|---|------|-----------|----|----------------------|------------------------|------------------|-----|-------|----|--------------|------------|---------------------------------|---------|-------|-------|---------|--|-----|------|----|--------------|------|----------------|---------|-------|---|
| <p style="text-align: center;">別表第10 周辺監視区域内における線量率の測定</p> <table border="1" data-bbox="290 252 1172 478"> <thead> <tr> <th>測定項目</th> <th>測定方法と測定箇所</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線量率 (γ線)</td> <td>サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近</td> <td>週1回</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">別表第11 外部及び内部被ばくによる線量の測定</p> <p>(1) 外部被ばくによる線量</p> <table border="1" data-bbox="243 793 1222 1234"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>個人線量計</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線業務 従事者</td> <td>ガラス線量計バッジ等</td> <td>3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度</td> </tr> <tr> <td>ポケット線量計</td> <td>必要な都度</td> </tr> <tr> <td>一時立入者</td> <td>ポケット線量計</td> <td>立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 内部被ばくによる線量</p> <table border="1" data-bbox="243 1323 1222 1549"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>検査項目</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線業務 従事者</td> <td>体外計測</td> <td>1年に1回以上及び必要な都度</td> </tr> <tr> <td>バイオアッセイ</td> <td>必要な都度</td> </tr> </tbody> </table> | 測定項目 | 測定方法と測定箇所 | 頻度 | 線量率 (γ 線) | サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近 | 週1回 | 対象者 | 個人線量計 | 頻度 | 放射線業務 従事者 | ガラス線量計バッジ等 | 3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度 | ポケット線量計 | 必要な都度 | 一時立入者 | ポケット線量計 | 立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。 | 対象者 | 検査項目 | 頻度 | 放射線業務 従事者 | 体外計測 | 1年に1回以上及び必要な都度 | バイオアッセイ | 必要な都度 | <p style="text-align: center;">別表第9 周辺監視区域内における線量率の測定</p> <table border="1" data-bbox="1537 252 2448 478"> <thead> <tr> <th>測定項目</th> <th>測定方法と測定箇所</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線量率 (γ線)</td> <td>サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近</td> <td>週1回[*]</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><u>*：日曜日から土曜日の1週間が会社休日の場合を除く</u></p> <p style="text-align: center;">別表第10 外部及び内部被ばくによる線量の測定</p> <p>(1) 外部被ばくによる線量</p> <table border="1" data-bbox="1498 793 2478 1234"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>個人線量計</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線業務 従事者</td> <td>ガラス線量計バッジ等</td> <td>3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度</td> </tr> <tr> <td>ポケット線量計</td> <td>必要な都度</td> </tr> <tr> <td>一時立入者</td> <td>ポケット線量計</td> <td>立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 内部被ばくによる線量</p> <table border="1" data-bbox="1498 1323 2478 1549"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>検査項目</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線業務 従事者</td> <td>体外計測</td> <td>1年に1回以上及び必要な都度</td> </tr> <tr> <td>バイオアッセイ</td> <td>必要な都度</td> </tr> </tbody> </table> | 測定項目 | 測定方法と測定箇所 | 頻度 | 線量率 (γ 線) | サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近 | 週1回 [*] | 対象者 | 個人線量計 | 頻度 | 放射線業務 従事者 | ガラス線量計バッジ等 | 3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度 | ポケット線量計 | 必要な都度 | 一時立入者 | ポケット線量計 | 立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。 | 対象者 | 検査項目 | 頻度 | 放射線業務 従事者 | 体外計測 | 1年に1回以上及び必要な都度 | バイオアッセイ | 必要な都度 | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し⑥</p> <p>(4)記載見直し⑥</p> <p>(4)記載見直し①</p> |
| 測定項目 | 測定方法と測定箇所 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 線量率 (γ 線) | サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近 | 週1回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象者 | 個人線量計 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線業務 従事者 | ガラス線量計バッジ等 | 3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ポケット線量計 | 必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一時立入者 | ポケット線量計 | 立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象者 | 検査項目 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線業務 従事者 | 体外計測 | 1年に1回以上及び必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バイオアッセイ | 必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定項目 | 測定方法と測定箇所 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 線量率 (γ 線) | サーベイメータ 周辺監視区域内境界付近 | 週1回 [*] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象者 | 個人線量計 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線業務 従事者 | ガラス線量計バッジ等 | 3月間ごと及び女子にあつては1月 間ごと並びに必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ポケット線量計 | 必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一時立入者 | ポケット線量計 | 立入の都度。ただし、見学等のた めに管理区域へ立ち入らせる場合 は、代表者にのみ着用させること ができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象者 | 検査項目 | 頻度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線業務 従事者 | 体外計測 | 1年に1回以上及び必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バイオアッセイ | 必要な都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|--------------|---|---|--------|---|------|--------------|---|------|-----|--------------------------|---------|---|--------------|---------|-----------|---|----|--------------------|-----------|------|-----|--------------------------|------------------|-----|----|-----------------------------|---------|------|----|-------------------------------------|---------|--------------|----|------------|--|--------|------|----|------|---------|--------|---|------|--------------------------------------|---|---------|---|--------------|---------|-----------|---|----|----------------|-----------|----------|-----|--------------------------|---|------|-----|--------------------------|---------|----------|----|---|-------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">別表第12 放射線測定器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>放射線測定器</th> <th>測定線種</th> <th>数量</th> <th>測定項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エリアモニタ</td> <td>γ</td> <td>22箇所</td> <td>管理区域内のγ線の線量率</td> </tr> <tr> <td>スタック排気モニタ βγダストモニタ αダストモニタ ヨウ素モニタ ガスモニタ</td> <td>α、βγ</td> <td>各1台</td> <td>排気中の放射性じんあい、 放射性ガスの濃度</td> </tr> <tr> <td>インセルモニタ</td> <td>γ</td> <td>9箇所 (検出端)</td> <td>セル空間線量率</td> </tr> <tr> <td>可搬式エリアモニタ</td> <td>γ</td> <td>1台</td> <td>管理区域内のγ線の空間 線量率</td> </tr> <tr> <td>室内空気汚染モニタ</td> <td>α、βγ</td> <td>各1台</td> <td>管理区域内の空気中の 放射性じんあいの濃度</td> </tr> <tr> <td>ハンドフットクロス モニタ</td> <td>αβγ</td> <td>2台</td> <td>管理区域から退出する者の 手、足、衣服の表面密度</td> </tr> <tr> <td>放射能測定装置</td> <td>α、βγ</td> <td>1式</td> <td>管理区域内のスミヤ試料、 じんあい試料等の放射性 物質濃度</td> </tr> <tr> <td>サーベイメータ</td> <td>α、βγ、 γ、n</td> <td>1式</td> <td>線量率並びに表面密度</td> </tr> </tbody> </table> | 放射線測定器 | 測定線種 | 数量 | 測定項目 | エリアモニタ | γ | 22箇所 | 管理区域内のγ線の線量率 | スタック排気モニタ βγダストモニタ αダストモニタ ヨウ素モニタ ガスモニタ | α、βγ | 各1台 | 排気中の放射性じんあい、 放射性ガスの濃度 | インセルモニタ | γ | 9箇所 (検出端) | セル空間線量率 | 可搬式エリアモニタ | γ | 1台 | 管理区域内のγ線の空間 線量率 | 室内空気汚染モニタ | α、βγ | 各1台 | 管理区域内の空気中の 放射性じんあいの濃度 | ハンドフットクロス モニタ | αβγ | 2台 | 管理区域から退出する者の 手、足、衣服の表面密度 | 放射能測定装置 | α、βγ | 1式 | 管理区域内のスミヤ試料、 じんあい試料等の放射性 物質濃度 | サーベイメータ | α、βγ、 γ、n | 1式 | 線量率並びに表面密度 | <p style="text-align: center;">別表第11 放射線測定器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>放射線測定器</th> <th>測定核種</th> <th>数量</th> <th>測定項目</th> <th>測定・評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エリアモニタ</td> <td>γ</td> <td>22箇所</td> <td>管理区域(21箇所)及びコントロール 室(1箇所)内のγ線の線量率</td> <td rowspan="5">γ線の線量率測定及び評価 集塵した空気中のじんあい試料で放射能濃度測定、放射 射性物質の評価 ・排気監視用ダストモニタによる測定 ① αダスト：フィルタで採取した試料を ZnS シン チレーション式検出器で測定、評価 ② βγダスト：フィルタで採取した試料を GM 管式 検出器で測定、評価 ③ 布ガス：カートリッジ中のガスをプラスチック シンチレーション式検出器で測定、評価 ④ ヨウ素：カートリッジ中のガスを NaI シンチレ ーション式検出器で測定、評価</td> </tr> <tr> <td>インセルモニタ</td> <td>γ</td> <td>9箇所(検出 端)</td> <td>セル空間線量率</td> </tr> <tr> <td>可搬式エリアモニタ</td> <td>γ</td> <td>1台</td> <td>管理区域内のγ線の空間線量率</td> </tr> <tr> <td>室内空気汚染モニタ</td> <td>α、β γ</td> <td>各1台</td> <td>管理区域内の空気中の放射性じんあ いの濃度</td> </tr> <tr> <td>スタック排気モニタ ① αダストモニタ ② βγダストモニタ ③ ヨウ素モニタ ④ ガスモニタ</td> <td>α、βγ</td> <td>各1台</td> <td>排気中の放射性じんあい、放射性ガス の濃度</td> </tr> <tr> <td>放射能測定装置</td> <td>α、β γ</td> <td>1式</td> <td>管理区域内のスミヤ試料、じんあい試 料、放射性液体廃棄物の蒸発乾固処理 試料等の放射性物質濃度</td> </tr> </tbody> </table> | 放射線測定器 | 測定核種 | 数量 | 測定項目 | 測定・評価方法 | エリアモニタ | γ | 22箇所 | 管理区域(21箇所)及びコントロール 室(1箇所)内のγ線の線量率 | γ線の線量率測定及び評価 集塵した空気中のじんあい試料で放射能濃度測定、放射 射性物質の評価 ・排気監視用ダストモニタによる測定 ① αダスト：フィルタで採取した試料を ZnS シン チレーション式検出器で測定、評価 ② βγダスト：フィルタで採取した試料を GM 管式 検出器で測定、評価 ③ 布ガス：カートリッジ中のガスをプラスチック シンチレーション式検出器で測定、評価 ④ ヨウ素：カートリッジ中のガスを NaI シンチレ ーション式検出器で測定、評価 | インセルモニタ | γ | 9箇所(検出 端) | セル空間線量率 | 可搬式エリアモニタ | γ | 1台 | 管理区域内のγ線の空間線量率 | 室内空気汚染モニタ | α、β γ | 各1台 | 管理区域内の空気中の放射性じんあ いの濃度 | スタック排気モニタ ① αダストモニタ ② βγダストモニタ ③ ヨウ素モニタ ④ ガスモニタ | α、βγ | 各1台 | 排気中の放射性じんあい、放射性ガス の濃度 | 放射能測定装置 | α、β γ | 1式 | 管理区域内のスミヤ試料、じんあい試 料、放射性液体廃棄物の蒸発乾固処理 試料等の放射性物質濃度 | <p>(1)新審査基準⑨ア)</p> <p>(4)記載見直し①</p> |
| 放射線測定器 | 測定線種 | 数量 | 測定項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エリアモニタ | γ | 22箇所 | 管理区域内のγ線の線量率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタック排気モニタ βγダストモニタ αダストモニタ ヨウ素モニタ ガスモニタ | α、βγ | 各1台 | 排気中の放射性じんあい、 放射性ガスの濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| インセルモニタ | γ | 9箇所 (検出端) | セル空間線量率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬式エリアモニタ | γ | 1台 | 管理区域内のγ線の空間 線量率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 室内空気汚染モニタ | α、βγ | 各1台 | 管理区域内の空気中の 放射性じんあいの濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハンドフットクロス モニタ | αβγ | 2台 | 管理区域から退出する者の 手、足、衣服の表面密度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射能測定装置 | α、βγ | 1式 | 管理区域内のスミヤ試料、 じんあい試料等の放射性 物質濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サーベイメータ | α、βγ、 γ、n | 1式 | 線量率並びに表面密度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線測定器 | 測定核種 | 数量 | 測定項目 | 測定・評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エリアモニタ | γ | 22箇所 | 管理区域(21箇所)及びコントロール 室(1箇所)内のγ線の線量率 | γ線の線量率測定及び評価 集塵した空気中のじんあい試料で放射能濃度測定、放射 射性物質の評価 ・排気監視用ダストモニタによる測定 ① αダスト：フィルタで採取した試料を ZnS シン チレーション式検出器で測定、評価 ② βγダスト：フィルタで採取した試料を GM 管式 検出器で測定、評価 ③ 布ガス：カートリッジ中のガスをプラスチック シンチレーション式検出器で測定、評価 ④ ヨウ素：カートリッジ中のガスを NaI シンチレ ーション式検出器で測定、評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| インセルモニタ | γ | 9箇所(検出 端) | セル空間線量率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬式エリアモニタ | γ | 1台 | 管理区域内のγ線の空間線量率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 室内空気汚染モニタ | α、β γ | 各1台 | 管理区域内の空気中の放射性じんあ いの濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタック排気モニタ ① αダストモニタ ② βγダストモニタ ③ ヨウ素モニタ ④ ガスモニタ | α、βγ | 各1台 | 排気中の放射性じんあい、放射性ガス の濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射能測定装置 | α、β γ | 1式 | 管理区域内のスミヤ試料、じんあい試 料、放射性液体廃棄物の蒸発乾固処理 試料等の放射性物質濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



| 変更前 | 変更後 | | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|----|-------------------------|--|----|------|---------|---------|-------------------|----|------------|--|--------------|-------|----|-------------------------|-------------------------|---------|-------|----|------------|-------------------------------------|---------------|-------|----|------------|--|--------|-------|----|------------|--------------------------------|-------------|---|----|------------|--|-------------|
| | <p style="text-align: center;">別表第11 放射線測定器(続き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="1605 178 1665 1900">放射線測定器</th> <th data-bbox="1665 178 1724 1900">測定核種</th> <th data-bbox="1724 178 1783 1900">数量</th> <th data-bbox="1783 178 1947 1900">測定項目</th> <th data-bbox="1947 178 2436 1900">測定・評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1605 178 1665 772">サーベイメータ</td> <td data-bbox="1665 178 1724 772">α、β γ、n γ、n</td> <td data-bbox="1724 178 1783 772">1式</td> <td data-bbox="1783 178 1947 772">線量率並びに表面密度</td> <td data-bbox="1947 178 2436 772"> 【表面密度】 ・ろ紙による拭き取り(スミヤ法)試料のサーベイメータによる測定、放射性物質濃度の評価 ・サーベイメータによる直接法による測定、放射性物質濃度の評価 【線量率】 ・サーベイメータによる測定及び評価 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1605 772 1665 961">ハンドフットクロスモニタ</td> <td data-bbox="1665 772 1724 961">α β γ</td> <td data-bbox="1724 772 1783 961">2台</td> <td data-bbox="1783 772 1947 961">管理区域から退出する者の手、足、衣服の表面密度</td> <td data-bbox="1947 772 2436 961">体表面及び衣服の放射性物質濃度の直接測定、評価</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1605 961 1665 1150">ポケット線量計</td> <td data-bbox="1665 961 1724 1150">γ (X)</td> <td data-bbox="1724 961 1783 1150">1式</td> <td data-bbox="1783 961 1947 1150">個人の外部被ばく線量</td> <td data-bbox="1947 961 2436 1150">時間及び作業において電子式個人被ばく線量計による放射線量の測定及び評価</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1605 1150 1665 1339">アラーム付きポケット線量計</td> <td data-bbox="1665 1150 1724 1339">γ (X)</td> <td data-bbox="1724 1150 1783 1339">1式</td> <td data-bbox="1783 1150 1947 1339">個人の外部被ばく線量</td> <td data-bbox="1947 1150 2436 1339">任意の期間中、積算の放射線量を測定及び評価(測定、評価、校正は外部機関にて実施)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1605 1339 1665 1528">ガラスバッジ</td> <td data-bbox="1665 1339 1724 1528">γ (X)</td> <td data-bbox="1724 1339 1783 1528">1式</td> <td data-bbox="1783 1339 1947 1528">個人の外部被ばく線量</td> <td data-bbox="1947 1339 2436 1528">任意の期間中、体内に取り込まれた放射性物質濃度を測定及び評価</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1605 1528 1665 1717">ホールボロディカウンタ</td> <td data-bbox="1665 1528 1724 1717">α</td> <td data-bbox="1724 1528 1783 1717">1台</td> <td data-bbox="1783 1528 1947 1717">個人の内部被ばく線量</td> <td data-bbox="1947 1528 2436 1717"></td> </tr> </tbody> </table> | | 放射線測定器 | 測定核種 | 数量 | 測定項目 | 測定・評価方法 | サーベイメータ | α、β γ、n γ、n | 1式 | 線量率並びに表面密度 | 【表面密度】 ・ろ紙による拭き取り(スミヤ法)試料のサーベイメータによる測定、放射性物質濃度の評価 ・サーベイメータによる直接法による測定、放射性物質濃度の評価 【線量率】 ・サーベイメータによる測定及び評価 | ハンドフットクロスモニタ | α β γ | 2台 | 管理区域から退出する者の手、足、衣服の表面密度 | 体表面及び衣服の放射性物質濃度の直接測定、評価 | ポケット線量計 | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 時間及び作業において電子式個人被ばく線量計による放射線量の測定及び評価 | アラーム付きポケット線量計 | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 任意の期間中、積算の放射線量を測定及び評価(測定、評価、校正は外部機関にて実施) | ガラスバッジ | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 任意の期間中、体内に取り込まれた放射性物質濃度を測定及び評価 | ホールボロディカウンタ | α | 1台 | 個人の内部被ばく線量 | | (1)新審査基準⑨ア) |
| 放射線測定器 | 測定核種 | 数量 | 測定項目 | 測定・評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サーベイメータ | α、β γ、n γ、n | 1式 | 線量率並びに表面密度 | 【表面密度】 ・ろ紙による拭き取り(スミヤ法)試料のサーベイメータによる測定、放射性物質濃度の評価 ・サーベイメータによる直接法による測定、放射性物質濃度の評価 【線量率】 ・サーベイメータによる測定及び評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハンドフットクロスモニタ | α β γ | 2台 | 管理区域から退出する者の手、足、衣服の表面密度 | 体表面及び衣服の放射性物質濃度の直接測定、評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポケット線量計 | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 時間及び作業において電子式個人被ばく線量計による放射線量の測定及び評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アラーム付きポケット線量計 | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 任意の期間中、積算の放射線量を測定及び評価(測定、評価、校正は外部機関にて実施) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラスバッジ | γ (X) | 1式 | 個人の外部被ばく線量 | 任意の期間中、体内に取り込まれた放射性物質濃度を測定及び評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホールボロディカウンタ | α | 1台 | 個人の内部被ばく線量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | | 変更後 | | 変更理由 |
|-------------------|----------------------|--|-------------------|------------|
| 別表第13 施設の巡視及び点検 | | | | (1)新審査基準⑮7 |
| 区分 | 設備区分 | 点検項目 | 点検頻度 | |
| 研究部長の 所掌するもの | プール | プールの水位が設定レベル内であること。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | セル | インセルモニタの指示値に異常のないこと。 負圧計の指示値に異常のないこと。 遮蔽扉のインターロック表示に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | フード | 負圧が維持されていること。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | グローブボックス、 負圧用ボックス | 負圧計の指示値に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 試料用保管庫 | 負圧計の指示値及び外観に異常がないこと | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| 管理部長の 所掌するもの | 周辺監視区域境界設備 | 外観等に異常のないこと。 | 1回/日以上 | |
| | スタック排気モニタ | 表示灯、計器及び吸引機等に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | インセルモニタ | 表示灯、計器等に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| 保安管理部長の 所掌するもの | エリアモニタ | 表示灯、計器等に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | ハンドフットクロス モニタ | 表示灯、計器等に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 消火用設備 | 外観等に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 非常用電源設備 | 表示灯、計器及び油量に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 無停電電源設備 | 表示灯、計器、機器温度に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 気体廃棄物処理設備 | 表示灯、計器、機器温度及びベルト 等に異常のないこと。 排気フィルタ及び管理区域内の差圧 に異常のないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 液体廃棄物処理設備 | 廃液タンクの水位に異常のないこと。 漏えい等の異常がないこと。 | 1回/日以上 (休日を除く) | |
| | 固体廃棄物処理設備 | 扉及び壁の外観等に異常のないこと。 | 1回/月以上 | |

(削除)

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------|---|----------------------------|-----------------|-----|--|----|---|-----|--------------------|----------------------|----------------------|----------|-------------------|------|---|---------------------------|--|-----------------|-----|----------------------|--------|---------|------------|----------------------------|-------------|--------------------|
| <p style="text-align: center;">別表第14 施設の定期的な自主検査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 15%;">設備区分</th> <th style="width: 75%;">検査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">研究部長の 所掌するもの</td> <td>プール</td> <td>イ. プールライニング外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. プール遮蔽窓外観検査 ニ. プール漏水検査 ホ. プール水位警報検査</td> </tr> <tr> <td>セル</td> <td>イ. 外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. 遮蔽扉作動・警報検査 ニ. セル内扉作動・警報検査 ホ. 予備排風機遠方操作作動・警報検査</td> </tr> <tr> <td>フード</td> <td>イ. 外観検査 ロ. 面速測定</td> </tr> <tr> <td>グローブボックス、 負圧用ボックス</td> <td>イ. 外観検査 ロ. 負圧計の校正</td> </tr> <tr> <td>臨界安全管理機器</td> <td>イ. スラブ厚さ管理治具の高さ検査</td> </tr> <tr> <td>貯蔵施設</td> <td>イ. 燃料貯蔵ラック外観・施錠機能検査 ロ. 燃料貯蔵ピット外観・施錠機能検査 ハ. 燃料貯蔵庫漏水・外観・施錠検査 ニ. 貯蔵庫（放射化学実験室）外観・施錠機能・負圧検査 ホ. 試料用保管庫（除染室）外観・施錠機能・負圧検査</td> </tr> <tr> <td>使用施設等（使用施設、 貯蔵施設、廃棄施設）</td> <td>イ. 扉（表示・警報・施錠機能・外観・動作）、 境界の機能検査 ロ. 床・壁表面、安全避難通路の外観検査 ハ. 標識の外観検査</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">管理部長の所掌 するもの</td> <td>消火器</td> <td>イ. 外観検査 ロ. 使用期限確認</td> </tr> <tr> <td>通報連絡設備</td> <td>イ. 機能検査</td> </tr> <tr> <td>周辺監視区域境界設備</td> <td>イ. 周辺監視区域の柵その他の設備又は標識の外観検査</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 設備区分 | 検査項目 | 研究部長の 所掌するもの | プール | イ. プールライニング外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. プール遮蔽窓外観検査 ニ. プール漏水検査 ホ. プール水位警報検査 | セル | イ. 外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. 遮蔽扉作動・警報検査 ニ. セル内扉作動・警報検査 ホ. 予備排風機遠方操作作動・警報検査 | フード | イ. 外観検査 ロ. 面速測定 | グローブボックス、 負圧用ボックス | イ. 外観検査 ロ. 負圧計の校正 | 臨界安全管理機器 | イ. スラブ厚さ管理治具の高さ検査 | 貯蔵施設 | イ. 燃料貯蔵ラック外観・施錠機能検査 ロ. 燃料貯蔵ピット外観・施錠機能検査 ハ. 燃料貯蔵庫漏水・外観・施錠検査 ニ. 貯蔵庫（放射化学実験室）外観・施錠機能・負圧検査 ホ. 試料用保管庫（除染室）外観・施錠機能・負圧検査 | 使用施設等（使用施設、 貯蔵施設、廃棄施設） | イ. 扉（表示・警報・施錠機能・外観・動作）、 境界の機能検査 ロ. 床・壁表面、安全避難通路の外観検査 ハ. 標識の外観検査 | 管理部長の所掌 するもの | 消火器 | イ. 外観検査 ロ. 使用期限確認 | 通報連絡設備 | イ. 機能検査 | 周辺監視区域境界設備 | イ. 周辺監視区域の柵その他の設備又は標識の外観検査 | <p>(削除)</p> | <p>(1)新審査基準⑮7)</p> |
| 区分 | 設備区分 | 検査項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究部長の 所掌するもの | プール | イ. プールライニング外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. プール遮蔽窓外観検査 ニ. プール漏水検査 ホ. プール水位警報検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | セル | イ. 外観検査 ロ. インターロック作動試験 ハ. 遮蔽扉作動・警報検査 ニ. セル内扉作動・警報検査 ホ. 予備排風機遠方操作作動・警報検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フード | イ. 外観検査 ロ. 面速測定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | グローブボックス、 負圧用ボックス | イ. 外観検査 ロ. 負圧計の校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 臨界安全管理機器 | イ. スラブ厚さ管理治具の高さ検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 貯蔵施設 | イ. 燃料貯蔵ラック外観・施錠機能検査 ロ. 燃料貯蔵ピット外観・施錠機能検査 ハ. 燃料貯蔵庫漏水・外観・施錠検査 ニ. 貯蔵庫（放射化学実験室）外観・施錠機能・負圧検査 ホ. 試料用保管庫（除染室）外観・施錠機能・負圧検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用施設等（使用施設、 貯蔵施設、廃棄施設） | イ. 扉（表示・警報・施錠機能・外観・動作）、 境界の機能検査 ロ. 床・壁表面、安全避難通路の外観検査 ハ. 標識の外観検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理部長の所掌 するもの | 消火器 | イ. 外観検査 ロ. 使用期限確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 通報連絡設備 | イ. 機能検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 周辺監視区域境界設備 | イ. 周辺監視区域の柵その他の設備又は標識の外観検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | | 変更後 | | 変更理由 |
|------------------------|-----------|---|---|-------------|
| 別表第14 施設の定期的な自主検査 (続き) | | | | |
| 保安管理部長の 所掌するもの | 放射線監視設備 | エリアモニタ | イ. 検出器の校正 ロ. 警報装置作動試験 | (1)新審査基準⑮7) |
| | | スタック 排気モニタ | イ. 検出器の校正 ロ. 警報装置作動試験 ハ. 吸引装置作動試験 | |
| | | ハンドフット クロスモニタ | イ. 検出器の校正 ロ. 警報装置作動試験 | |
| | | サーベイメータ | イ. 検出器の校正 | |
| | | 放射能測定装置 | イ. 検出器の校正 | |
| | | 消火用設備 | イ. 外観検査 ロ. 機能検査 ハ. 警報装置作動試験 | |
| | 非常用電源設備 | イ. 機能検査 | | |
| | 無停電電源設備 | イ. 機能検査 | | |
| | 気体廃棄物処理設備 | イ. 自動制御系機能検査 ロ. 排風機機能検査 ハ. 警報装置作動試験 (セルを含む) ニ. 各種弁機能検査 ホ. 負圧計の校正 (セルを含む) ヘ. フィルタ効率 | | |
| | 液体廃棄物処理設備 | イ. ポンプ機能検査 ロ. 各種弁機能検査 ハ. 警報装置作動試験 ニ. 外観検査 | | |
| | 保管廃棄設備 | イ. 施錠機能又は立入制限の標識の外観検査 | | |
| | 施設の位置等 | イ. 地崩れのおそれの外観検査 | | |
| 非常用放送設備 | イ. 機能検査 | | | |

(削除)

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | 変更理由 | |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------|----------------|----------------------------------|-------------------------------|--------------------|----------------|-----------|-------|
| <u>別表第 15-1</u> 年間予定使用量 | | | | <u>別表第 12</u> 年間予定使用量 | | | | (4)記載見直し① | |
| 核燃料物質の種類 | | 年間予定使用量 | | 放射能量* | 核燃料物質の種類 | | 年間予定使用量 | | 放射能量* |
| | | 最大存在量 | 延べ取扱量 | | | | 最大存在量 | 延べ取扱量 | |
| (1)劣化ウラン | | 100 kgU | 10 kgU | — | (1)劣化ウラン | | 100 kgU | 10 kgU | — |
| (2)天然ウラン | | 550 kgU | 90 kgU | | (2)天然ウラン | | 550 kgU | 90 kgU | |
| (3)トリウム | | 30 kgTh | — | | (3)トリウム | | 30 kgTh | — | |
| (4) 濃縮ウラン | 濃縮度 5 %未満 | 100 kgU | 100 kgU | | (4) 濃縮ウラン | 濃縮度 5%未満 | 100 kgU | 100 kgU | |
| | 濃縮度 5 %～20 %未満 | 20 kgU | 10 kgU | | | 濃縮度 5%～20%未満 | 20 kgU | 10 kgU | |
| (5)プルトニウム | | 0.1 gPu | 0.1 gPu | | (5)プルトニウム | | 0.1 gPu | 0.1 gPu | |
| (6)ウラン 2 3 3 | | 0.1 gU | 0.1 gU | | (6)ウラン 2 3 3 | | 0.1 gU | 0.1 gU | |
| (7) HTR 再処理用燃料 | 劣化ウラン | 500 kgU | 500 kgU | | (7)HTR 再処理用燃料 | 劣化ウラン | 500 kgU | 500 kgU | |
| (8)使用済燃料 (照射済燃料を含む) | 劣化ウラン | 1556 kgU | 540 kgU | | (8)使用済燃料 (照射済燃料を含む) | 劣化ウラン | 1556 kgU | 540 kgU | |
| | 天然ウラン | 1000 kgU | 10 kgU | | | 天然ウラン | 1000 kgU | 10 kgU | |
| | 濃縮度 5 %未満 | <u>1400 kgU</u> | <u>510 kgU</u> | 濃縮度 5%未満 | | <u>1399.98 kgU</u> | <u>506 kgU</u> | | |
| | 濃縮度 5 %～20 %未満 | 41 kgU | 30 kgU | <u>1 F 燃料デブリ (濃縮度 5 %未満)</u> | | <u>0.02 kgU</u> | <u>4 kgU</u> | | |
| | HTR 再処理用燃料 濃縮度 10.15 %以下 | 100 kgU | 100 kgU | 濃縮度 5%～20%未満 | | 41 kgU | 30 kgU | | |
| | プルトニウム | 24 kgPu | 9 kgPu | HTR 再処理用燃料 濃縮度 10.15%以下 | | 100 kgU | 100 kgU | | |
| | トリウム | 0.1 kgTh | 1 kgTh | プルトニウム | | 24 kgPu | 9 kgPu | | |
| | | | | 放射能量* | 555 PBq (1 MeV、 γ) | | | | |
| | | | | | | トリウム | 0.1 kgTh | 1 kgTh | |

注記：
* 放射能量は、燃料検査プール、燃料貯蔵プール及びモニタリングセルの最大取扱量の合計値を示す。

注記：
* 放射能量は、燃料検査プール、燃料貯蔵プール及びモニタリングセルの最大取扱量の合計値を示す。

(2)核燃使用変更①
(2)核燃使用変更①

| 変更前 | | 変更後 | | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---|--|-------|--------------|------------|---|------------|-----------|------------|---|------------|-----------|------------|---|------------|-----------|------------|---|------------|----------------------------------|------------|---|---|---------------------|------------|---|------------|---------------------|-------------------------|----------|--------------------|------------------|-------------------------|----------|--------------------|------------------|------------|---|------------|--|--------------|---|---|------------------------|--|--|---------|----|-------|--------------|------------|---|------------|-----------|------------|---|------------|-----------|------------|---|------------|-----------|------------|---|-----------------|----------------------------------|------------|---|------------|---------------------|------------|---|------------|---------------------|-------------------------|----------|--------------------|------------------|-------------------------|----------|--------------------|------------------|------------|---|-----------------|--|--------------|---|---|------------------------|---|
| <p>別表第15-2 核燃料物質等の貯蔵施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>貯蔵設備の名称</th> <th>個数</th> <th>最大収納量</th> <th>内容物の物理・化学的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>未照射燃料棒 20 本 14 kg-U-235 未照射の核燃料物質 20%未満の濃縮ウラン 7 kg-U-235</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5)</td> <td>4 (ピット数)</td> <td>740 GBq (60Coγ線相当)</td> <td>固体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6)</td> <td>1 (ピット数)</td> <td>3.7 TBq (60Coγ線相当)</td> <td>固体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物</td> </tr> <tr> <td>試料用保管庫 (除染室)</td> <td>1</td> <td>炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ)</td> <td>固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> </tbody> </table> | | 貯蔵設備の名称 | 個数 | 最大収納量 | 内容物の物理・化学的性状 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | ██████████ | 1 | 未照射燃料棒 20 本 14 kg-U-235 未照射の核燃料物質 20%未満の濃縮ウラン 7 kg-U-235 | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5) | 4 (ピット数) | 740 GBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6) | 1 (ピット数) | 3.7 TBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | 試料用保管庫 (除染室) | 1 | 炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩 | <p>別表第13 核燃料物質等の貯蔵施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>貯蔵設備の名称</th> <th>個数</th> <th>最大収納量</th> <th>内容物の物理・化学的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体 酸化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>(1 F 燃料デブリを含む。)</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>██████████</td> <td>固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5)</td> <td>4 (ピット数)</td> <td>740 GBq (60Coγ線相当)</td> <td>固体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6)</td> <td>1 (ピット数)</td> <td>3.7 TBq (60Coγ線相当)</td> <td>固体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> <tr> <td>██████████</td> <td>1</td> <td>(1 F 燃料デブリを含む。)</td> <td>固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物</td> </tr> <tr> <td>試料用保管庫 (除染室)</td> <td>1</td> <td>炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ)</td> <td>固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩</td> </tr> </tbody> </table> | | 貯蔵設備の名称 | 個数 | 最大収納量 | 内容物の物理・化学的性状 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | ██████████ | 1 | (1 F 燃料デブリを含む。) | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5) | 4 (ピット数) | 740 GBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6) | 1 (ピット数) | 3.7 TBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | ██████████ | 1 | (1 F 燃料デブリを含む。) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | 試料用保管庫 (除染室) | 1 | 炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩 | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(2) 核燃使用変更②</p> <p>(2) 核燃使用変更②</p> |
| 貯蔵設備の名称 | 個数 | 最大収納量 | 内容物の物理・化学的性状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | 未照射燃料棒 20 本 14 kg-U-235 未照射の核燃料物質 20%未満の濃縮ウラン 7 kg-U-235 | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5) | 4 (ピット数) | 740 GBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6) | 1 (ピット数) | 3.7 TBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試料用保管庫 (除染室) | 1 | 炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貯蔵設備の名称 | 個数 | 最大収納量 | 内容物の物理・化学的性状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体 酸化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | (1 F 燃料デブリを含む。) | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | ██████████ | 固体、粉体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 5) | 4 (ピット数) | 740 GBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照射済金属材料用ピット (鉄セル No. 6) | 1 (ピット数) | 3.7 TBq (60Coγ線相当) | 固体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ██████████ | 1 | (1 F 燃料デブリを含む。) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩、重ウラン酸塩、U-Th-Zr 水素化物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試料用保管庫 (除染室) | 1 | 炉内挿入物等の照射材料、核燃料物質によって汚染された材料、1 F 汚染物、それらを含む液体等の核燃料汚染物 10 GBq (1 MeV、γ) | 固体、粉体、液体 金属、酸化物、硝酸塩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|-------------------------------------|--|-------------------------|---------|----|-------------------------------------|------------|--|----|----|-------------------------|-------------------------|---------|----|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| <p style="text-align: center;"><u>別表第16</u> 気体廃棄物の放出管理目標値</p> <table border="1" data-bbox="192 296 1270 520"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>期間</th> <th>排気口における放射性物質*の放出量 (GBq)</th> <th>排気口におけるよう素131の放出量 (GBq)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホットラボ施設</td> <td>1年</td> <td style="text-align: center;"><u>6.1×10^4</u></td> <td style="text-align: center;"><u>6.1</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>*放射性物質の主なものは希ガスである。</p> | 施設 | 期間 | 排気口における放射性物質*の放出量 (GBq) | 排気口におけるよう素131の放出量 (GBq) | ホットラボ施設 | 1年 | <u>6.1×10^4</u> | <u>6.1</u> | <p style="text-align: center;"><u>別表第14</u> 気体廃棄物の放出管理目標値</p> <table border="1" data-bbox="1478 296 2555 520"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>期間</th> <th>排気口における放射性物質*の放出量 (GBq)</th> <th>排気口におけるよう素131の放出量 (GBq)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホットラボ施設</td> <td>1年</td> <td style="text-align: center;"><u>3.3×10^3</u></td> <td style="text-align: center;"><u>7.4×10^{-1}</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>*放射性物質の主なものは希ガスである。</p> | 施設 | 期間 | 排気口における放射性物質*の放出量 (GBq) | 排気口におけるよう素131の放出量 (GBq) | ホットラボ施設 | 1年 | <u>3.3×10^3</u> | <u>7.4×10^{-1}</u> | <p>(4)記載見直し①</p> <p>(4)記載見直し⑦</p> |
| 施設 | 期間 | 排気口における放射性物質*の放出量 (GBq) | 排気口におけるよう素131の放出量 (GBq) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホットラボ施設 | 1年 | <u>6.1×10^4</u> | <u>6.1</u> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設 | 期間 | 排気口における放射性物質*の放出量 (GBq) | 排気口におけるよう素131の放出量 (GBq) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホットラボ施設 | 1年 | <u>3.3×10^3</u> | <u>7.4×10^{-1}</u> | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | | | | | | 変更後 | | | | | | 変更理由 |
|------------------------|------------|---|--|--------|---|------------------------|---|---|--|--------|---|-----------|
| 別表第 17 液体廃棄物の区分 | | | | | | 別表第 15 液体廃棄物の区分 | | | | | | (4)記載見直し① |
| 廃液区分 | タンク 名称 | 排水元 | 放射性物質濃 度 (Bq/cm ³) | 性状 | 処理方法 | 廃液区分 | タンク 名称 | 排水元 | 放射性物質濃 度 (Bq/cm ³) | 性状 | 処理方法 | |
| 高レベル | — | ・材料セル ・化学セル ・研磨セル ・切断セル ・モニタリングセル ・アイソレーションエリア | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^4$ 以上 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | — | 排出元で固化し固体廃棄物として処理する。 | 高レベル | — | ・材料セル ・化学セル ・研磨セル ・切断セル ・モニタリングセル ・アイソレーションエリア | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^4$ 以上 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | — | 排出元で固化し固体廃棄物として処理する。 | |
| 中レベル | T-1 | ・材料セル床 ・化学セル床 ・研磨セル床 ・切断セル床 ・モニタリングセル床 ・アイソレーションエリア床 | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^4$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 放射性物質濃度確認後、移送先タンクの廃液区分に応じた放射性物質濃度上限未満へ希釈する。 | 中レベル | T-1 | ・材料セル床 ・化学セル床 ・研磨セル床 ・切断セル床 ・モニタリングセル床 ・アイソレーションエリア床 | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^4$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 放射性物質濃度確認後、移送先タンクの廃液区分に応じた放射性物質濃度上限未満へ希釈する。 | |
| | T-2 T-3 | ・除染室床、流し ・プール作業場床 ・キャスク除染床、流し ・放射化学実験室床、流し | | | | | ・除染室床、流し ・プール作業場床 ・キャスク除染床、流し ・放射化学実験室床、流し | | | | | |
| 低レベル | T-4 T-5 | ・操作室床、流し ・放射線計測室床 ・シャワー室床、流し ・サービスエリア床、流し ・地下床ピット北側、南側、流し | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^1$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 放射性物質濃度確認後、移送先タンクの廃液区分に応じた放射性物質濃度上限未満へ希釈する。 | 低レベル | T-4 T-5 | ・操作室床、流し ・放射線計測室床 ・シャワー室床、流し ・サービスエリア床、流し ・地下床ピット北側、南側、流し | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^1$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 放射性物質濃度確認後、移送先タンクの廃液区分に応じた放射性物質濃度上限未満へ希釈する。 | |
| 極低レベル | T-6 T-7 | ・暗室流し ・操作室側汚染検査室流し ・サービスエリア側汚染検査室流し ・排気機械室床、流し | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^{-1}$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ運び処理を委託する。 | 極低レベル | T-6 T-7 | ・暗室流し ・操作室側汚染検査室流し ・サービスエリア側汚染検査室流し ・排気機械室床、流し | $\beta \gamma : 3.7 \times 10^{-1}$ 未満 $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 未満 | 水溶性のもの | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ運び処理を委託する。 | |
| 特殊廃液 | — | — | $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 以上 | 実験廃液 | α 除染処理後、二次廃棄物は固体廃棄物として処理し、 α 放射能が 1.0×10^{-2} Bq/cm ³ 未満の廃液は、 $\beta \gamma$ の濃度に応じて、別表第 17 の廃液区分に従い処理する。 | 特殊廃液 | — | — | $\alpha : 1.0 \times 10^{-2}$ 以上 | 実験廃液 | α 除染処理後、二次廃棄物は固体廃棄物として処理し、 α 放射能が 1.0×10^{-2} Bq/cm ³ 未満の廃液は、 $\beta \gamma$ の濃度に応じて、別表第 17 の廃液区分に従い処理する。 | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|------------------------------------|---|---|---|--|----------------------|--|--|--|--|--|-------------|--|-----|-----------------------------|-----------|-------|-----------|---------|------------------------------------|---|-----|-----------------------------|------------------------------------|---|-----|--|---------|---------------------------|----------------------------|-------|----------|----------------------|-------|---------|---------------|---|--|-----|------------|---|--|-----|--------------------------|---------|-----------------|--------------|-------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">別表第18 固体廃棄物の区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">線 量 当 量 率</th> <th style="width: 65%;">廃 棄 の 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">β γ 廃棄物 (注1)</td> <td style="text-align: center;">A 容器表面が 2 mSv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満</td> <td>β γ 廃棄物Aは1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫又は地階の廃棄物保管室（第1廃棄物保管室、第2廃棄物保管室、第3廃棄物保管室、第4廃棄物保管室、第5廃棄物保管室及び第6廃棄物保管室）（以下、「地階廃棄物保管室」という）、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B 容器表面が 2 mSv/h 以上 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満</td> <td>廃棄物セルへ保管する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">α 廃棄物 (注1, 2)</td> <td style="text-align: center;">A-1 容器表面が 500 μSv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 以上 3.7×10^7 Bq/200 未満の範囲</td> <td rowspan="3">α 廃棄物A-1、α 廃棄物A-2、α 廃棄物A-3は1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階廃棄物保管室、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管し、将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A-2 容器表面が 500 μSv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^7 Bq/200 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A-3 容器表面で 500 μSv/h 以上 2 mSv/h 未満の範囲 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B 容器表面で 2 mSv/h 以上 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上</td> <td>廃棄物セルへ保管する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) β γ 廃棄物B及びα 廃棄物Bにおいて、廃棄物セルに保管中に放射能レベルが十分に低下したものは、β γ 廃棄物Bはβ γ 廃棄物Aとして、α 廃棄物Bはα 廃棄物A-1、α 廃棄物A-2、α 廃棄物A-3として取扱うことができる。</p> <p>注2) α 廃棄物においてPuは 5×10^{-5}g/cm³ (1 g/200 容器) 未満 又は、核分裂性物質 (U233, U235, Pu239, Pu241) が 2×10^{-4}g/cm³ (4 g/200 容器) 未満であること。</p> | 区 分 | 線 量 当 量 率 | 廃 棄 の 方 法 | β γ 廃棄物 (注1) | A 容器表面が 2 mSv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満 | β γ 廃棄物Aは1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫又は地階の廃棄物保管室（第1廃棄物保管室、第2廃棄物保管室、第3廃棄物保管室、第4廃棄物保管室、第5廃棄物保管室及び第6廃棄物保管室）（以下、「地階廃棄物保管室」という）、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。 | B 容器表面が 2 mSv/h 以上 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満 | 廃棄物セルへ保管する。 | α 廃棄物 (注1, 2) | A-1 容器表面が 500 μ Sv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 以上 3.7×10^7 Bq/200 未満の範囲 | α 廃棄物A-1、 α 廃棄物A-2、 α 廃棄物A-3は1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階廃棄物保管室、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管し、将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。 | A-2 容器表面が 500 μ Sv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^7 Bq/200 以上 | A-3 容器表面で 500 μ Sv/h 以上 2 mSv/h 未満の範囲 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上 | B 容器表面で 2 mSv/h 以上 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上 | 廃棄物セルへ保管する。 | <p style="text-align: center;">別表第16 固体廃棄物の区分</p> <p>(1) β γ 廃棄物</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">線量当量率と α 含有量による区分</th> <th style="width: 10%;">性状の 区分</th> <th style="width: 15%;">内 容 物</th> <th style="width: 15%;">容 器 ・ 包 装</th> <th style="width: 35%;">処 理 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">β γ 廃 棄 物</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A 容器表面が 2 mSv/h 未 満で α 含有量が 1.9 Bq/cm³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満</td> <td style="text-align: center;">可燃性</td> <td>紙、ウエス、木片酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど</td> <td rowspan="2">ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ、更にポリエチレン袋で包装する。</td> <td rowspan="6">廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第1から第6廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管する廃棄物については必要に応じて200 Lドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不燃性</td> <td>塩化ビニル、ゴム類 ----- 鉄、非鉄、ガラスコンクリートなど</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアフィルタ類</td> <td>HEPAフィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ</td> <td>ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱に収納する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">含水廃棄物</td> <td>使用済み樹脂など</td> <td>ポリエチレン袋収納後、金属容器に入れる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特殊廃棄物</td> <td>大型、異形など</td> <td>ポリエチレン等で包装する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満</td> <td style="text-align: center;">可燃性</td> <td>紙、ウエス、木片など</td> <td rowspan="3">金属製の廃棄物保管容器A型、廃棄物保管容器B型または廃棄物保管容器C型に収納する。</td> <td rowspan="3">廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものはβ γ 廃棄物Aとして取扱うことができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不燃性</td> <td>炉内挿入物切断片、研磨紙金属片、プラスチックなど</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアフィルタ類</td> <td>HEPAフィルタ、プレフィルタ</td> <td>廃フィルタ缶に収納する。</td> </tr> </tbody> </table> | 区 分 | 線量当量率と α 含有量による区分 | 性状の 区分 | 内 容 物 | 容 器 ・ 包 装 | 処 理 方 法 | β γ 廃 棄 物 | A 容器表面が 2 mSv/h 未 満で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど | ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ、更にポリエチレン袋で包装する。 | 廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第1から第6廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管する廃棄物については必要に応じて200 Lドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。) | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類 ----- 鉄、非鉄、ガラスコンクリートなど | エアフィルタ類 | HEPAフィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ | ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱に収納する。 | 含水廃棄物 | 使用済み樹脂など | ポリエチレン袋収納後、金属容器に入れる。 | 特殊廃棄物 | 大型、異形など | ポリエチレン等で包装する。 | B | 容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片など | 金属製の廃棄物保管容器A型、廃棄物保管容器B型または廃棄物保管容器C型に収納する。 | 廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものは β γ 廃棄物Aとして取扱うことができる。 | 不燃性 | 炉内挿入物切断片、研磨紙金属片、プラスチックなど | エアフィルタ類 | HEPAフィルタ、プレフィルタ | 廃フィルタ缶に収納する。 | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し⑧</p> |
| 区 分 | 線 量 当 量 率 | 廃 棄 の 方 法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| β γ 廃棄物 (注1) | A 容器表面が 2 mSv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満 | β γ 廃棄物Aは1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫又は地階の廃棄物保管室（第1廃棄物保管室、第2廃棄物保管室、第3廃棄物保管室、第4廃棄物保管室、第5廃棄物保管室及び第6廃棄物保管室）（以下、「地階廃棄物保管室」という）、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B 容器表面が 2 mSv/h 以上 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 未満 | 廃棄物セルへ保管する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| α 廃棄物 (注1, 2) | A-1 容器表面が 500 μ Sv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^4 Bq/200 以上 3.7×10^7 Bq/200 未満の範囲 | α 廃棄物A-1、 α 廃棄物A-2、 α 廃棄物A-3は1階の廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階廃棄物保管室、別建家の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管し、将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A-2 容器表面が 500 μ Sv/h 未満 α 含有量が 3.7×10^7 Bq/200 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A-3 容器表面で 500 μ Sv/h 以上 2 mSv/h 未満の範囲 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B 容器表面で 2 mSv/h 以上 α 含有量 3.7×10^4 Bq/200 以上 | 廃棄物セルへ保管する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 区 分 | 線量当量率と α 含有量による区分 | 性状の 区分 | 内 容 物 | 容 器 ・ 包 装 | 処 理 方 法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| β γ 廃 棄 物 | A 容器表面が 2 mSv/h 未 満で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど | ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ、更にポリエチレン袋で包装する。 | 廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第1から第6廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管した後、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所へ処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫（Ⅲ）に保管する廃棄物については必要に応じて200 Lドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類 ----- 鉄、非鉄、ガラスコンクリートなど | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | エアフィルタ類 | HEPAフィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ | ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱に収納する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 含水廃棄物 | 使用済み樹脂など | ポリエチレン袋収納後、金属容器に入れる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 特殊廃棄物 | 大型、異形など | ポリエチレン等で包装する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B | 容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7×10^4 Bq/20 L) 未満 | 可燃性 | | 紙、ウエス、木片など | 金属製の廃棄物保管容器A型、廃棄物保管容器B型または廃棄物保管容器C型に収納する。 | 廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものは β γ 廃棄物Aとして取扱うことができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不燃性 | 炉内挿入物切断片、研磨紙金属片、プラスチックなど | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エアフィルタ類 | HEPAフィルタ、プレフィルタ | | | 廃フィルタ缶に収納する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | | | | | | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---------|------------------------------|---|---|----|------|-------------------|-------|-----|-------|------|-----------|---|-----|------------------------------|---|---|-----|-----------|--|---------|----------------------------|---|-------|----------|------------------------------------|-------|---------|-----------------|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|---|--|-----|------------|---|---|-----|-------------------|---------|------------------|-------------------------------------|
| | <p style="color: red;">別表第 16 固体廃棄物の区分 (続き)</p> <p>(2) α 廃棄物</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 5%;">線量当量率と α 含有量による区分</th> <th style="width: 5%;">性状の区分</th> <th style="width: 15%;">内容物</th> <th style="width: 15%;">容器・包装</th> <th style="width: 50%;">処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">α 廃棄物 (注)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A-1 容器表面が 500 μSv/h 未満で α 含有量が 1.9 Bq/cm³ (3.7 × 10⁴ Bq/20 L) 以上 1.9 × 10³ Bq/cm³ (3.7 × 10⁷ Bq/20 L) 未満の範囲</td> <td style="text-align: center;">可燃性</td> <td>紙、ウエス、木片、酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど</td> <td>ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ更にポリエチレン袋で二重に包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;"> 廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第 1 から第 6 廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する。 将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する廃棄物については必要に応じて 200 L ドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不燃性</td> <td>塩化ビニル、ゴム類</td> <td>ポリエチレン袋収納後、ペール缶に入れ更にポリエチレン袋で包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアフィルタ類</td> <td>HEPA フィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ</td> <td>ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱詰した後、更にポリエチレンで包装する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">含水廃棄物</td> <td>使用済み樹脂など</td> <td>ポリエチレン袋収納後、金属容器に収納し、更にポリエチレンで包装する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特殊廃棄物</td> <td>大型、異形など</td> <td>ポリエチレンで二重に包装する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A-2</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A-3</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> <td style="text-align: center;">同上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm³ (3.7 × 10⁴ Bq/20 L) 以上</td> <td style="text-align: center;">可燃性</td> <td>紙、ウエス、木片など</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> 金属製の廃棄物保管容器 A 型、廃棄物保管容器 B 型または廃棄物保管容器 C 型に収納する。 廃フィルタ缶に収納する。 </td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> 廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものは α 廃棄物 A-1、α 廃棄物 A-2、α 廃棄物 A-3 として取扱うことができる。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不燃性</td> <td>塩化ビニル、ゴム類、鉄、非鉄、など</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアフィルタ類</td> <td>HEPA フィルタ、プレフィルタ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) α 廃棄物 Pu は 5 × 10⁻⁵g/cm³ (1 g/20 L 容器) 未満 又は、核分裂性物質 (U233, U235, Pu239, Pu241) が 2 × 10⁻⁴g/cm³ (4 g/20 L 容器) 未満であること。</p> | | | | | | 区分 | 線量当量率と α 含有量による区分 | 性状の区分 | 内容物 | 容器・包装 | 処理方法 | α 廃棄物 (注) | A-1 容器表面が 500 μSv/h 未満で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁴ Bq/20 L) 以上 1.9 × 10 ³ Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁷ Bq/20 L) 未満の範囲 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片、酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど | ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ更にポリエチレン袋で二重に包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。 | 廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第 1 から第 6 廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する。 将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する廃棄物については必要に応じて 200 L ドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。) | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類 | ポリエチレン袋収納後、ペール缶に入れ更にポリエチレン袋で包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。 | エアフィルタ類 | HEPA フィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ | ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱詰した後、更にポリエチレンで包装する。 | 含水廃棄物 | 使用済み樹脂など | ポリエチレン袋収納後、金属容器に収納し、更にポリエチレンで包装する。 | 特殊廃棄物 | 大型、異形など | ポリエチレンで二重に包装する。 | A-2 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | A-3 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | B | 容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁴ Bq/20 L) 以上 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片など | 金属製の廃棄物保管容器 A 型、廃棄物保管容器 B 型または廃棄物保管容器 C 型に収納する。 廃フィルタ缶に収納する。 | 廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものは α 廃棄物 A-1、α 廃棄物 A-2、α 廃棄物 A-3 として取扱うことができる。 | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類、鉄、非鉄、など | エアフィルタ類 | HEPA フィルタ、プレフィルタ | <p>(4) 記載見直し①</p> <p>(4) 記載見直し⑧</p> |
| 区分 | 線量当量率と α 含有量による区分 | 性状の区分 | 内容物 | 容器・包装 | 処理方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| α 廃棄物 (注) | A-1 容器表面が 500 μSv/h 未満で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁴ Bq/20 L) 以上 1.9 × 10 ³ Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁷ Bq/20 L) 未満の範囲 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片、酢酸ビニル、ゴム手袋、ポリエチレンなど | ポリエチレン袋収納後、紙バケツに入れ更にポリエチレン袋で二重に包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。 | 廃棄物保管場、低レベル廃棄物保管庫、地階の第 1 から第 6 廃棄物保管室、または別施設の低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する。 将来処理に関する環境が整った時に処理施設へ搬出し処理を委託する。 (低レベル廃棄物保管庫 (Ⅲ) に保管する廃棄物については必要に応じて 200 L ドラム缶用圧縮減容装置にて減容する。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類 | ポリエチレン袋収納後、ペール缶に入れ更にポリエチレン袋で包装する。 または、ポリエチレン袋等の内袋を二重にし、金属容器に収納する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | エアフィルタ類 | HEPA フィルタ、プレフィルタ、チャコールフィルタ | ポリエチレン又は塩ビで包装し、段ボール箱詰した後、更にポリエチレンで包装する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 含水廃棄物 | 使用済み樹脂など | ポリエチレン袋収納後、金属容器に収納し、更にポリエチレンで包装する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 特殊廃棄物 | 大型、異形など | ポリエチレンで二重に包装する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | A-2 | 同上 | 同上 | | 同上 | 同上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-3 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B | 容器表面が 2 mSv/h 以上で α 含有量が 1.9 Bq/cm ³ (3.7 × 10 ⁴ Bq/20 L) 以上 | 可燃性 | 紙、ウエス、木片など | 金属製の廃棄物保管容器 A 型、廃棄物保管容器 B 型または廃棄物保管容器 C 型に収納する。 廃フィルタ缶に収納する。 | 廃棄物セルに保管する。保管中放射能レベルが十分に低下したものは α 廃棄物 A-1、α 廃棄物 A-2、α 廃棄物 A-3 として取扱うことができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不燃性 | 塩化ビニル、ゴム類、鉄、非鉄、など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | エアフィルタ類 | HEPA フィルタ、プレフィルタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | 変更理由 |
|---|--|--------|--------|--------------------------------|---|--|---------------------------|--------|--|--|
| 別表第19 核燃料物質の使用等に関する記録 (核燃料物質の使用等に関する規則第2条の11に定める記録) | | | | | 別表第17 核燃料物質の使用等に関する記録 (核燃料物質の使用等に関する規則第2条の11に定める記録) | | | | | (4)記載見直し① (1)新審査基準④(り) (以下本頁では本変更理由のみ) |
| 記録事項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保存期間 | 記録事項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保存期間 | |
| 1. 施設検査の記録 法第55条の2第1項の規定による検査の結果 | 検査の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 同一事項に関する次の検査のときまでの期間 | 1. 使用施設等の施設管理 (規則第2条の11の7に規定するもの)に係る記録 (イ)使用前確認の結果 | 確認の都度 | 安全管理GL、工務GL、ホットラボGL及び総務GL | 保安管理部長 | 同一事項に関する次の確認のときまでの期間 | |
| 2. 放射線管理記録 (イ) 使用施設等の放射線遮蔽物の側壁における線量当量率 | 毎日作業中1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | (ロ) 規則第2条の11の7第4号の規定による施設管理の実施状況及びその担当者の氏名 | 施設管理の実施の都度 | 安全管理GL、工務GL、ホットラボGL及び総務GL | 保安管理部長 | 施設管理を実施した使用施設等の解体又は廃棄をした後5年が経過するまでの期間 | |
| (ロ) 放射性廃棄物の排気口又は排気監視設備及び排水口又は排水監視設備における放射性物質の濃度 | 排気又は排水の都度 (連続して排気又は排水する場合は連続して) | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | (ハ) 規則第2条の11の7第5号の規定による施設管理方針、施設管理目標及び施設管理実施計画の評価の結果及びその評価の担当者の氏名 | 評価の都度 | 安全管理GL、工務GL、ホットラボGL及び総務GL | 保安管理部長 | 評価を実施した使用施設等の施設管理方針、施設管理目標又は施設管理実施計画の改定までの期間 | |
| (ハ) 管理区域及び周辺監視区域における線量当量率((イ)に規定する場合のものを除く。)並びに管理区域における空気中の放射性物質の1週間についての平均濃度及び放射性物質によって汚染された物の表面の放射性物質の密度 | 毎週1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | 2. 放射線管理記録 (イ) 使用施設等の放射線遮蔽物の側壁における線量当量率 | 毎日作業中1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | |
| (ニ) 放射線業務従事者の4月1日を始期とする1年間の線量、女子(妊娠不能と診断された者及び妊娠の意志のない旨を書面で申し出た者を除く。)の放射線業務従事者の4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日を始期とする各3月間の線量並びに本人の申出等により使用者が妊娠の事実を知ることとなった女子の放射線業務従事者にあつては出産までの間毎月1日を始期とする1月間の線量 | 1年間の線量にあつては毎年度1回、3月間の線量にあつては3月ごとに1回、1月間の線量にあつては1月ごとに1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 核燃料物質の使用等に関する規則第2条の11第5項に定める期間 | (ロ) 放射性廃棄物の排気口又は排気監視設備における放射性物質の濃度 | 排気の都度 (連続して排気する場合は連続して) | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | |
| (ホ) 4月1日を始期とする1年間の線量が20ミリシーベルトを超えた放射線業務従事者の当該1年間を含む原子力規制委員会が定める5年間の線量 | 原子力規制委員会が定める5年間において毎年度1回(左欄に掲げる当該1年間に限る。) | 安全管理GL | 保安管理部長 | (ニ)に同じ | (ハ) 管理区域及び周辺監視区域における線量当量率((イ)に規定する場合のものを除く。)並びに管理区域における空気中の放射性物質の1週間についての平均濃度及び放射性物質によって汚染された物の表面の放射性物質の密度 | 毎週1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 5年間 | |
| (ヘ) 放射線業務従事者が緊急作業に従事した期間の始期及び終期並びに放射線業務従事者の当該期間の線量 | その都度 | 安全管理GL | 保安管理部長 | (ニ)に同じ | (ニ) 放射線業務従事者の4月1日を始期とする1年間の線量、女子(妊娠不能と診断された者及び妊娠の意志のない旨を書面で申し出た者を除く。)の放射線業務従事者の4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日を始期とする各3月間の線量並びに本人の申出等により使用者が妊娠の事実を知ることとなった女子の放射線業務従事者にあつては出産までの間毎月1日を始期とする1月間の線量 | 1年間の線量にあつては毎年度1回、3月間の線量にあつては3月ごとに1回、1月間の線量にあつては1月ごとに1回 | 安全管理GL | 保安管理部長 | 核燃料物質の使用等に関する規則第2条の11第5項に定める期間 | |
| (ト) 放射線業務従事者が当該業務に就く日の属する年度における当該日以前の放射線被ばくの経歴及び原子力規制委員会が定める5年間における当該年度の前年度までの放射線被ばくの経歴 | その者が当該業務に就く時 | 安全管理GL | 保安管理部長 | (ニ)に同じ | (ホ) 4月1日を始期とする1年間の線量が20ミリシーベルトを超えた放射線業務従事者の当該1年間を含む原子力規制委員会が定める5年間の線量 | 原子力規制委員会が定める5年間において毎年度1回(左欄に掲げる当該1年間に限る。) | 安全管理GL | 保安管理部長 | (ニ)に同じ | |
| (チ) 事業所の外において運搬した核燃料物質等の種類別の数量、その運搬に使用した容器の種類並びにその運搬の日時及び経路 | 運搬の都度 | 輸送GL | 研究部長 | 1年間 | | | | | | |

| 変更前 | | | | | 変更後 | | | | | 変更理由 |
|--|------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|---|--------------|-------------------|-------------------|------------|---|
| 別表第19 核燃料物質の使用等に関する記録(続き) | | | | | 別表第17 核燃料物質の使用等に関する記録(続き) | | | | | (4)記載見直し① (1)新審査基準④ (以下本頁では本変更理由のみ) |
| 記録事項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保存期間 | 記録事項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保存期間 | |
| (リ) 廃棄施設に保管廃棄した放射性廃棄物に含まれる放射性物質の数量、当該放射性廃棄物を容器に封入し、又は容器に固型化した場合には、当該容器の数量及びその保管廃棄の日時、場所及び方法 | 廃棄の都度 | 工務 GL 及び ホットラボ GL | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | (ヘ) 放射線業務従事者が緊急作業に従事した期間の始期及び終期並びに放射線業務従事者の当該期間の線量 | その都度 | 安全管理 GL | 保安管理部長 | (ニ) に同じ | |
| (ヌ) 放射性廃棄物を容器に封入し、又は容器に固型化した場合にはその方法 | 封入又は固型化の都度 | 工務 GL 及び ホットラボ GL | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | (ト) 放射線業務従事者が当該業務に就く日の属する年度における当該日以前の放射線被ばくの経歴及び原子力規制委員会が定める5年間に於ける当該年度の前年度までの放射線被ばくの経歴 | その者が当該業務に就く時 | 安全管理 GL | 保安管理部長 | (ニ) に同じ | |
| 3. 保守記録 (イ) 使用施設の巡視及び点検の状況並びにその担当者の氏名 | 毎日1回 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 1年間 | (チ) 事業所の外において運搬した核燃料物質等の種類別の数量、その運搬に使用した容器の種類並びにその運搬の日時及び経路 | 運搬の都度 | 輸送 GL | 研究部長 | 1年間 | |
| (ロ) 使用施設等の修理の状況及びその担当者の氏名 | 修理の都度 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 保安管理部長 | 1年間 | (リ) 廃棄施設に保管廃棄した放射性廃棄物の種類及び当該放射性廃棄物に含まれる放射性物質の数量、当該放射性廃棄物を容器に封入し、又は容器に固型化した場合には、当該容器の数量及び比重並びにその保管廃棄の日時、場所及び方法 | 廃棄の都度 | 工務 GL 及びホットラボ GL | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| (ハ) 使用施設等の定期的な自主検査の結果 | 検査の都度 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 保安管理部長、管理部長 | 同一事項に関する次の検査のときまでの期間 | (ヌ) 放射性廃棄物を容器に封入し、又は容器に固型化した場合にはその方法 | 封入又は固型化の都度 | 工務 GL 及びホットラボ GL | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| 4. 警報装置から発せられた警報の内容 (注) | その都度 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 保安管理部長 | 1年間 | 3. 操作記録 (ハ) 警報装置から発せられた警報の内容 | その都度 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 保安管理部長、研究部長及び管理部長 | 1年間 | |
| 5. 使用施設等の事故記録 (イ) 事故の発生及び復旧の時 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | 4. 使用施設等の事故記録 (イ) 事故の発生及び復旧の日時 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| (ロ) 事故の状況及び事故に際して採った処置 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | (ロ) 事故の状況及び事故に際して採った処置 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| (ハ) 事故の原因 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | (ハ) 事故の原因 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| (ニ) 事故後の処置 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | (ニ) 事故後の処置 | その都度 | 研究部長 | 保安管理部長 | 使用の廃止までの期間 | |
| 6. 保安教育の記録 (イ) 保安教育の実施計画 | 策定の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | | | | | | |
| (ロ) 保安教育の実施日時、項目及び保安教育を受けた者の氏名 | 実施の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | | | | | | |
| 7. 品質保証計画 (イ) 保安活動に関わる品質保証計画書 | 策定及び改定の都度 | 品質保証責任者 | 品質保証責任者 | 次の改定の後3年間 | | | | | | |
| <p>(注)：核燃料物質使用許可申請書に記載する警報についても記録を行う。 但し、検査、点検、保守、工事、訓練及び設備の起動・停止に伴う警報で、異常ではないことが明らかなものを除く。</p> | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | | | | | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----------------|----------------|-------------------------------------|--|---------|---------|-------|-------|---------|------------------------------------|-------|--------|--------|-----|-------------------|-------|--------|--------|-----|-------------------------|--------------|---------------|---------------|------------|--|---------------------------|----------------|----------------|-------------------------------------|--|
| | <p><u>別表第17</u> 核燃料物質の使用等に関する記録(続き)</p> <table border="1" data-bbox="1377 247 2608 716"> <thead> <tr> <th data-bbox="1377 247 1801 344">記 録 事 項</th> <th data-bbox="1801 247 2030 344">記録すべき場合</th> <th data-bbox="2030 247 2226 344">記録責任者</th> <th data-bbox="2226 247 2386 344">保存責任者</th> <th data-bbox="2386 247 2608 344">保 存 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1377 344 1801 434"> <u>5. 保安教育の記録</u> (イ) 保安教育の実施計画 </td> <td data-bbox="1801 344 2030 434">策定の都度</td> <td data-bbox="2030 344 2226 434">保安管理部長</td> <td data-bbox="2226 344 2386 434">保安管理部長</td> <td data-bbox="2386 344 2608 434">3年間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1377 434 1801 491">(ロ) 保安教育の実施日時及び項目</td> <td data-bbox="1801 434 2030 491">実施の都度</td> <td data-bbox="2030 434 2226 491">保安管理部長</td> <td data-bbox="2226 434 2386 491">保安管理部長</td> <td data-bbox="2386 434 2608 491">3年間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1377 491 1801 548"><u>(ハ) 保安教育を受けた者の氏名</u></td> <td data-bbox="1801 491 2030 548"><u>実施の都度</u></td> <td data-bbox="2030 491 2226 548"><u>保安管理部長</u></td> <td data-bbox="2226 491 2386 548"><u>保安管理部長</u></td> <td data-bbox="2386 491 2608 548"><u>3年間</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1377 548 1801 716"> <u>6. 品質管理基準規則第4条第3項に規定する品質マネジメント文書及び品質マネジメントシステムに従った計画、実施、評価及び改善状況の記録</u> </td> <td data-bbox="1801 548 2030 716"> <u>当該文書又は記録の作成又は変更の都度</u> </td> <td data-bbox="2030 548 2226 716"> <u>品質管理責任者</u> </td> <td data-bbox="2226 548 2386 716"> <u>品質管理責任者</u> </td> <td data-bbox="2386 548 2608 716"> <u>当該文書又は記録の作成又は変更後3年が経過するまでの期間</u> </td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 記 録 事 項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保 存 期 間 | <u>5. 保安教育の記録</u> (イ) 保安教育の実施計画 | 策定の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | (ロ) 保安教育の実施日時及び項目 | 実施の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | <u>(ハ) 保安教育を受けた者の氏名</u> | <u>実施の都度</u> | <u>保安管理部長</u> | <u>保安管理部長</u> | <u>3年間</u> | <u>6. 品質管理基準規則第4条第3項に規定する品質マネジメント文書及び品質マネジメントシステムに従った計画、実施、評価及び改善状況の記録</u> | <u>当該文書又は記録の作成又は変更の都度</u> | <u>品質管理責任者</u> | <u>品質管理責任者</u> | <u>当該文書又は記録の作成又は変更後3年が経過するまでの期間</u> | <p>(4)記載見直し① (1)新審査基準④ (以下本頁では本変更理由のみ)</p> |
| 記 録 事 項 | 記録すべき場合 | 記録責任者 | 保存責任者 | 保 存 期 間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>5. 保安教育の記録</u> (イ) 保安教育の実施計画 | 策定の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ロ) 保安教育の実施日時及び項目 | 実施の都度 | 保安管理部長 | 保安管理部長 | 3年間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>(ハ) 保安教育を受けた者の氏名</u> | <u>実施の都度</u> | <u>保安管理部長</u> | <u>保安管理部長</u> | <u>3年間</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>6. 品質管理基準規則第4条第3項に規定する品質マネジメント文書及び品質マネジメントシステムに従った計画、実施、評価及び改善状況の記録</u> | <u>当該文書又は記録の作成又は変更の都度</u> | <u>品質管理責任者</u> | <u>品質管理責任者</u> | <u>当該文書又は記録の作成又は変更後3年が経過するまでの期間</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--------------------|---------------------|---|
| <p>別図第1 保安管理組織</p> | <p>別図第1 保安に係る組織</p> | <p>(1)新審査基準①㊦</p> <p>(1)新審査基準①㊦</p> <p>(1)新審査基準①㊦</p> |

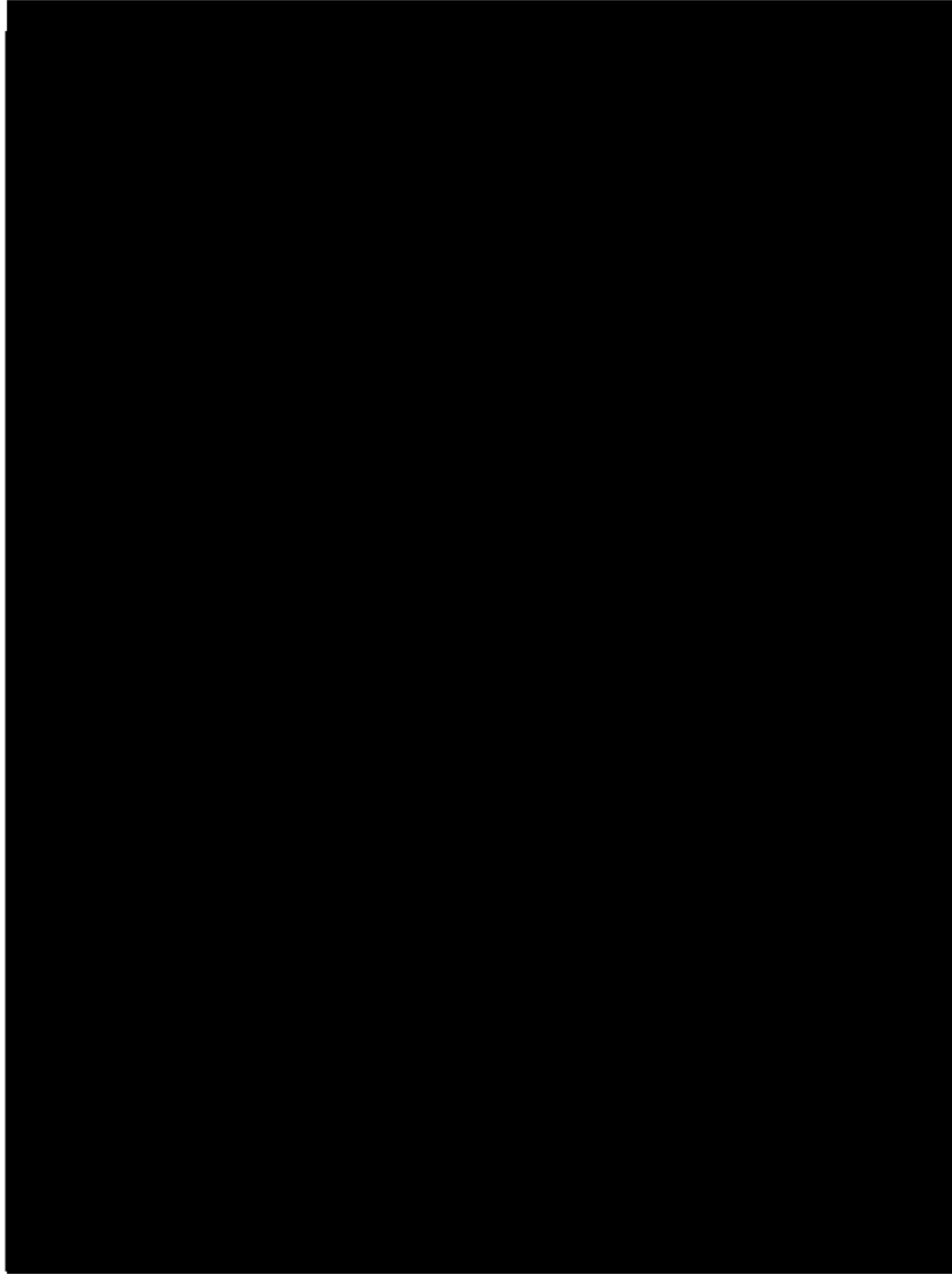
| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|--|
| <p style="text-align: center;">別図第2 品質保証に係る組織</p> | <p style="text-align: center;">(削除)</p> | <p style="text-align: center;">(1)新審査基準②イ)</p> |



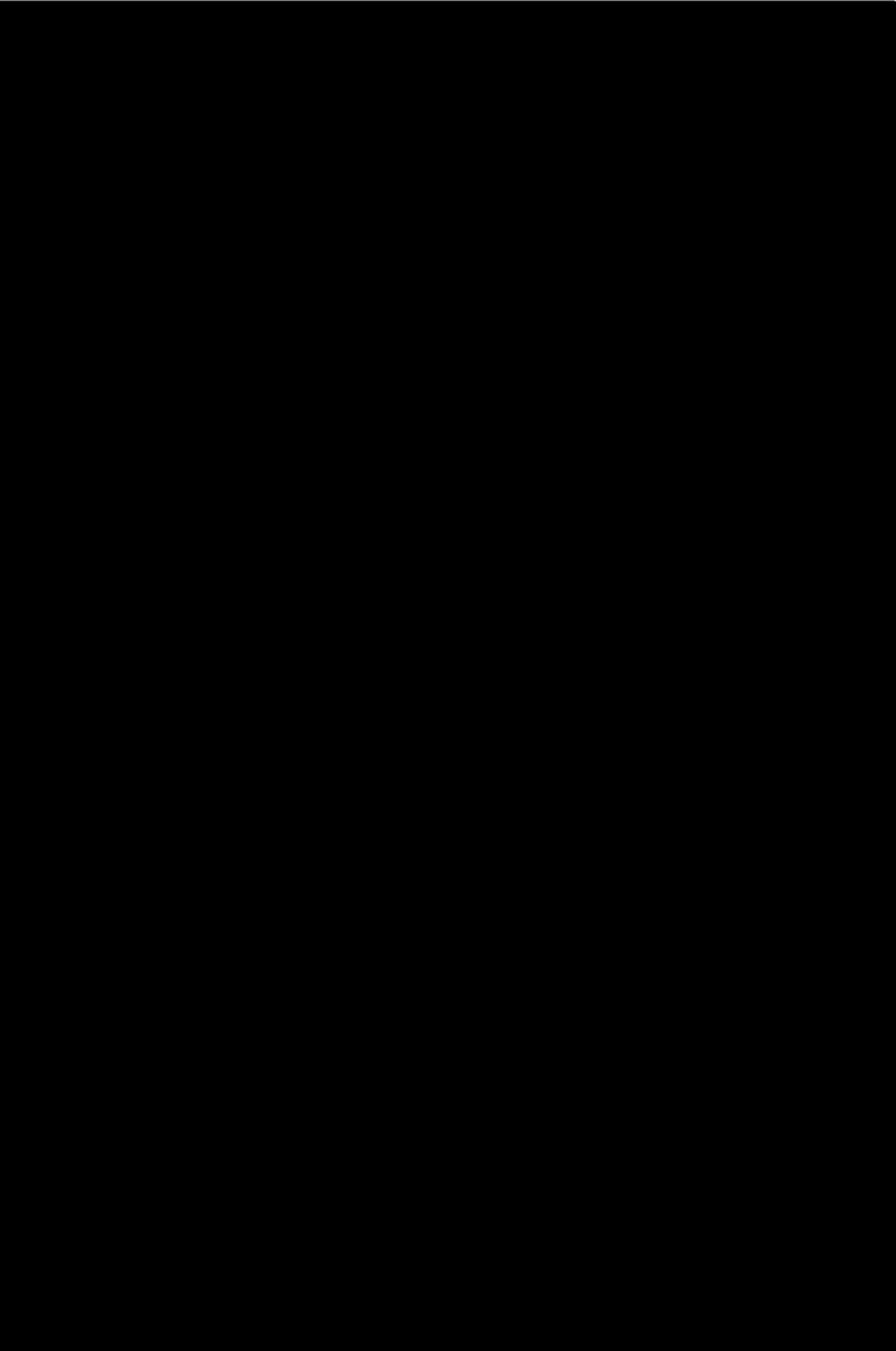
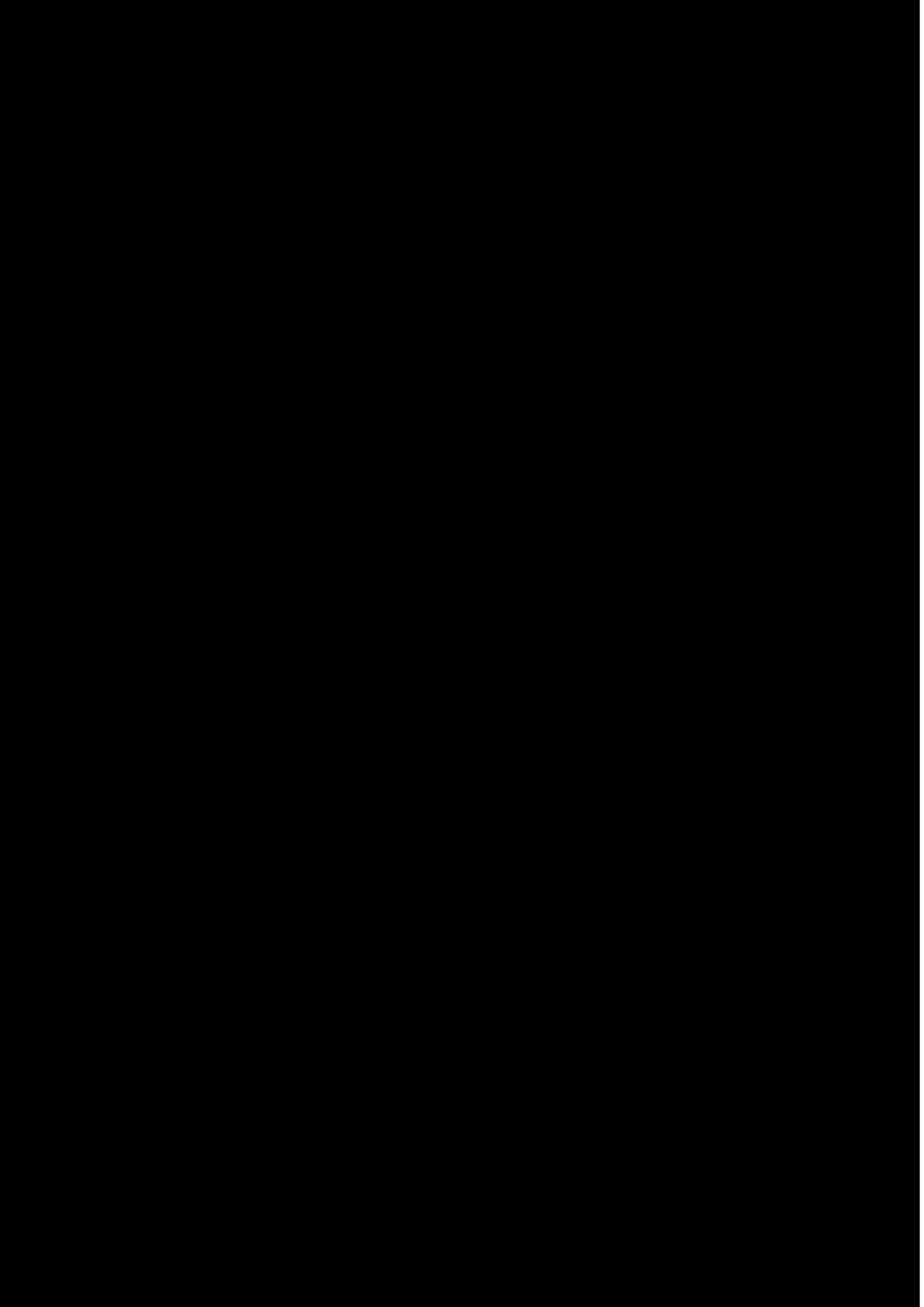
| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|-----|-----|--------------------|
| | | <p>(1)新審査基準②㊦)</p> |

別図第2 QMSに係る文書体系



| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|--|-------------------|
| <div data-bbox="1219 739 1261 1199" data-label="Caption"><p>別図第3 管理区域 (ホットラボ地階)</p></div>  | <div data-bbox="2510 655 2552 1115" data-label="Caption"><p>別図第3 管理区域 (ホットラボ地階)</p></div>  | <p>(4) 記載見直し⑨</p> |



| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|---|------------------------------------|
|  <p>別図第4 管理区域 (ホットラボ1階)</p> |  <p>別図第4 管理区域 (ホットラボ1階)</p> | <p>(4)記載見直し⑨</p> <p>(2)核燃使用変更③</p> |



| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---|---|--|
| <p>第2動力室</p> <p>スタック</p> <p>吹抜</p> <p>2階サービスエリア</p> <p>排気機械室</p> <p>42000</p> <p>19000</p> <p>寸法単位:mm</p> <p>管理区域</p> | <p>第2動力室</p> <p>スタック</p> <p>吹抜</p> <p>2階サービスエリア</p> <p>排気機械室</p> <p>管理区域</p> <p>アンバーゾーン</p> <p>グリーンゾーン</p> <p>ホワイトゾーン</p> | <p>別図第5 管理区域 (ホットラボ2階)</p> <p>別図第5 管理区域 (ホットラボ2階)</p> <p>(4)記載見直し⑨</p> |

| 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|--|--|------------------|
| <p style="text-align: center;">別図第6 周辺監視区域</p> | <p style="text-align: center;">別図第6 周辺監視区域</p> | <p>(4)記載見直し⑩</p> |